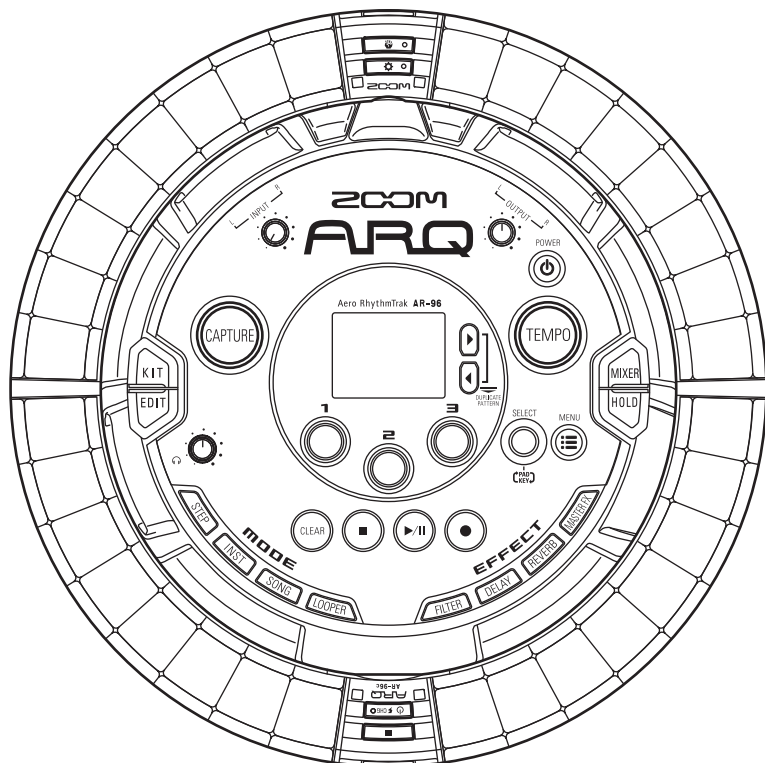


ZOOM®

ARQ

Aero RhythmTrak

AR-96



Version 2.0 オペレーションマニュアル

© 2017 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。


目 次


安全上の注意／使用上の注意	3	ルーパーシーケンスの管理	80
はじめに	6	KIT (音色セット)	
用語の説明	7	KIT の概要	81
概 要		KIT の使用	82
各部の名称	8	KIT の管理	83
AR-96 の使い方	11	EDIT (音色の編集)	
リングコントローラーについて	12	EDIT の概要	85
外部機器との接続	14	音色の編集	87
モードの切り替え	15	SONG モードの EDIT 画面	94
インストールメントについて	16	LOOPER モードの EDIT 画面	95
準 備		エフェクト	
電源の ON/OFF	18	エフェクトの概要	98
SD カードのセット	20	エフェクトの使用	99
文字入力画面の操作	21	ミキサー	
INST モード		ミキサーの概要	100
INST モードの概要	22	ミキサーの使用	101
操作の流れ	25	システムの設定	
パターンのリアルタイム入力	28	各種設定の変更	104
アルペジエーター	32	MIDI メッセージの設定	106
パターンの消去	34	データのバックアップ・オーディオファイル の管理	110
その他の設定	35	SD カードの管理	114
STEP モード		リングコントローラーの設定	118
STEP モードの概要	36	ファームウェアのアップデート	124
操作の流れ	39	MIDI コントローラー	
パターンのステップ入力	40	MIDI コントローラーとして使用する	125
モーションシーケンス	44	MIDI コントローラーのレイアウト	127
パターンの消去	46	その他の機能	128
パターンの設定	47	故障かな？と思う前に	129
パターンの管理	50	製品仕様	130
SONG モード		付 録	
SONG モードの概要	52	プリセットパターン一覧	132
操作の流れ	54	EDIT メニュー・パラメーター一覧	133
ソングの作成	55	エフェクト一覧	141
ソングの設定	58	アルペジエーター・パラメーター一覧	143
ソングシーケンスの管理	60	リングコントローラーの MIDI メッセージ	145
キャプチャー		MIDI インプリメンテーションチャート	155
キャプチャーの概要	61		
操作の流れ	63		
音声をキャプチャーする	64		
キャプチャーの設定	69		
LOOPER モード			
LOOPER モードの概要	71		
操作の流れ	73		
ルーパーシーケンスの作成	75		
ルーパーの設定	77		

安全上の注意／使用上の注意


安全上の注意


このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。

 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。

 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

 「実行しなければならない（強制）内容」です。

 「してはいけない（禁止）内容」です。

警告

AC アダプターによる駆動

- AC アダプターは、必ず ZOOM AD-14 を使用する。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や AC100 V 以外では使用しない。
AC100 V と異なる電源電圧の地域（たとえば国外）で使用する場合は、必ず ZOOM 製品取り扱い店に相談して適切な AC アダプターを使用する。

充電式電池による駆動

- 充電式電池は必ず ZOOM BT-04 を使用する。
- 電池の注意表示をよく見て使用する。
- 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

- ケースの開封や改造を加えない。

注意

製品の取り扱いについて

- 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- 湿度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- 振動の多いところでは使わない。
- 砂やほこりの多いところでは使わない。

AC アダプターの取り扱いについて

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 長期間使用しないときや雷がなっているときは、電源プラグをコンセントから抜く。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ず OFF にしてから接続する。
- 移動するときは、必ずすべての接続ケーブルと AC アダプターを抜いてから移動する。

音量について

- 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

AR-96 は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、**AR-96** と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、**AR-96** も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。
リングコントロール表面が汚れたときは、糸くずの出ない柔らかい布を湿らせて拭き取ってください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

© Windows® / Windows® 10 / Windows® 8 / Windows® 7 は Microsoft® 社の商標または登録商標です。

© Mac, Mac OS, iPad, iOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

© Intel, Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

© SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは商標です。

© Bluetooth と Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、株式会社ズームはライセンスに基づいて使用しています。

© MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

© Ableton, Ableton Live は Ableton AG の商標です。

© 文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

* 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。

著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

安全上の注意／使用上の注意のつづき

認定機器について

■無線の許可認定について

本製品は、電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けた無線設備を搭載しています。

したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・本製品を分解／改造すること

■無線に関する注意事項

本製品の使用周波数帯域は、2.4 GHz 帯です。

この周波数帯域（2.4 GHz 帯）は、電子レンジなど産業・科学・医療機器の他にもさまざまな機器が使っていることがあります。

電波干渉を防止するために、以下の事項に注意して使用してください。

1. 本製品を使い始める前にお近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、本製品の無線に関して不明な点やお困りのことが生じた場合は、弊社まで連絡してください。

2.4 XX2

2.4 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。

XX : その他の方式を表します。

2 : 想定される干渉距離が 20 m 以内であることを表します。

□□□ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。

認証番号 : 001-P00500



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

最適なパフォーマンスのために

AR-96 はリングコントローラーとベースステーションの通信に無線通信である Bluetooth LE を使用しています。見通しの良い室内で 10 m まで通信を行う事ができますが、電波干渉などの要因によってうまく通信ができないときは以下の事をお試しください。

- リングコントローラーとベースステーションを近づける。
- リングコントローラーとベースステーションの間に障害物がある場合、障害物を移動する。
- 不要な 2.4 GHz 通信をやめる、もしくは影響する機器から遠ざける。
 - ・ Wi-Fi アクセスポイント
 - ・ スマートフォンなどの Wi-Fi を使用する機器

- ・ 電子レンジ
- ・ 音声モニターや照明コントロールなど、2.4 GHz 通信を行う機器

電池についての安全上の注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げなやけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

△危険

- リチウムイオン電池 (BT-04) は **AR-96** と **AD-14** の組み合わせ以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。そのような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

△警告

- 電池をハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- 電池が変形・破損した場合は使用しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人 JBRC ホームページ

<http://www.jbrc.com>

を参照してください。



本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

はじめに

このたびは、ZOOM Aero RhythmTrak **AR-96** (以下“**AR-96**”と呼びます)をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。AR-96は、次のような特長を備えた製品です。

●コントローラーにフープ形状を採用

コントローラーをフープ形状にしたことで、ループシーケンスを直感的に打ち込むことが可能になりました。

●リングコントローラーには 32 個 × 3 列のパッドと 32 個 × 5 列の LED を搭載
ステップ入力時には、3 列のパッドを使用して、同時に 3 つのインストゥルメントを入力できます。また、多色発光する LED により、最大で 5 つのインストゥルメントの入力状態を一目で確認することができます。

また、リアルタイム入力時には、各列のパッドを使い分ける多彩な演奏が可能です。

●リングコントローラーをベースステーションから着脱可能

リングコントローラーをベースステーションから取り外し、手持ちスタイルで演奏することが可能です。従来のリズムマシンでは不可能だった、魅せるパフォーマンスを実現できます。

●リングコントローラーに加速度センサーを搭載

リングコントローラーを傾けることにより、エフェクトのパラメーター制御を行うことができます。身体で音をコントロールする新しい感覚を味わえます。

●グリップエリアの自動検出

グリップエリアの設定機能により、リングコントローラーを持って演奏するときの誤操作を防ぐことができます。

ポジションの設定は、自分の持ちやすい位置を握るだけの簡単な操作で行えます。

●リングコントローラーとベースステーションは Bluetooth LE で接続

リングコントローラーとベースステーションは Bluetooth LE で無線接続されます。消費電力が少なく、長時間の使用が可能です。

また、リングコントローラー単体を Mac や iOS 機器と接続し、多機能 MIDI コントローラーとして使うこともできます。

●多彩なエディットが可能な音源を搭載

AR-96 に搭載された音源は、音色表現の幅を広げる多彩な設定パラメーターを持っています。音色の各パラメーターは、アイコンベースのエディター画面で簡単に設定することができます。

また、1 つの KIT につき最大 33 インストゥルメント (同時発音数 16) の音源を使用できるので、多彩な楽曲の作成が可能です。

● 400 種類以上の内蔵 PCM 音源と 70 種類以上のシンセサイザー用オシレーターを搭載

バリエーション豊かな音源の中から、作りたい曲のイメージに合った音を探せます。

音源はカテゴリごとに分類されているため、素早く音を選ぶことができます。

●多彩なクリエイティブモードを搭載

1 ステップ単位でパターンを組んでいく STEP モード、リアルタイムに演奏パターンを打ちこんでいく INST モード、作成したパターンを曲として完成させる SONG モード、キャプチャーしたオーディオをパッドに割り当てて演奏できる LOOPER モードを使い分けて曲の作成ができます。

●最大 5 系統のエフェクトを同時使用可能

各インストゥルメントに対してインサートエフェクト、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトを同時に使用することができます。

音作りの幅がぐっと広がります。

●電子楽器やオーディオ機器を接続可能なインプットを搭載

接続した機器からの入力を聴きながら演奏したり、入力をキャプチャーしてルーパー素材や音源として使うことができます。

●音声ファイルを取り込み可能

パソコンで SD カードに保存した WAV ファイルをルーパー素材や音源として取り込み、使用できます。(別途 SD カードが必要)

●アウトプットとは別系統のヘッドフォンアウトを搭載

2 系統のアウトプットを搭載することで、ヘッドフォンだけにメトロノーム音を出力するなどの使い方が可能です。

パターン

数小節からなる短い曲の部品です。パターンはシーケンス（演奏情報）とKIT（音色セット）から構成されます。また、リングコントローラーを使ったパラメーターのコントロールやクオンタイズの設定などもパターンごとに保存されます。

AR-96には様々な音楽ジャンルを網羅したプリセットパターンが登録されています。

ソング

複数のパターンを組み合わせ、ひとつの楽曲として構成したものをいいます。

ステップ

シーケンスに入力できる最短の音符の長さです。

通常では1小節を16分割した長さになっており、16分音符単位で発音ポイントを設定することができます。設定で長さを変更することも可能です。

シーケンス

さまざまな音を発音するポイントを記録する演奏データです。

AR-96には、シーケンスを1ステップ単位で記録するSTEPモードと、パッドをリアルタイムで演奏して記録するINSTモードがあります。

インストゥルメント

音を構成する最小単位です。ドラムセット、パーカッション、ベース、シンセサイザーなど様々な音源があらかじめ用意されています。また、パソコンでSDカードに保存したWAVファイルもインストゥルメントとして使用できます。

音色の選択に加え、発音するときの音の立ち上がりや持続する時間（エンベロープ）、フィルター、エフェクトなどのさまざまな設定が各インストゥルメントに用意されています。

KIT

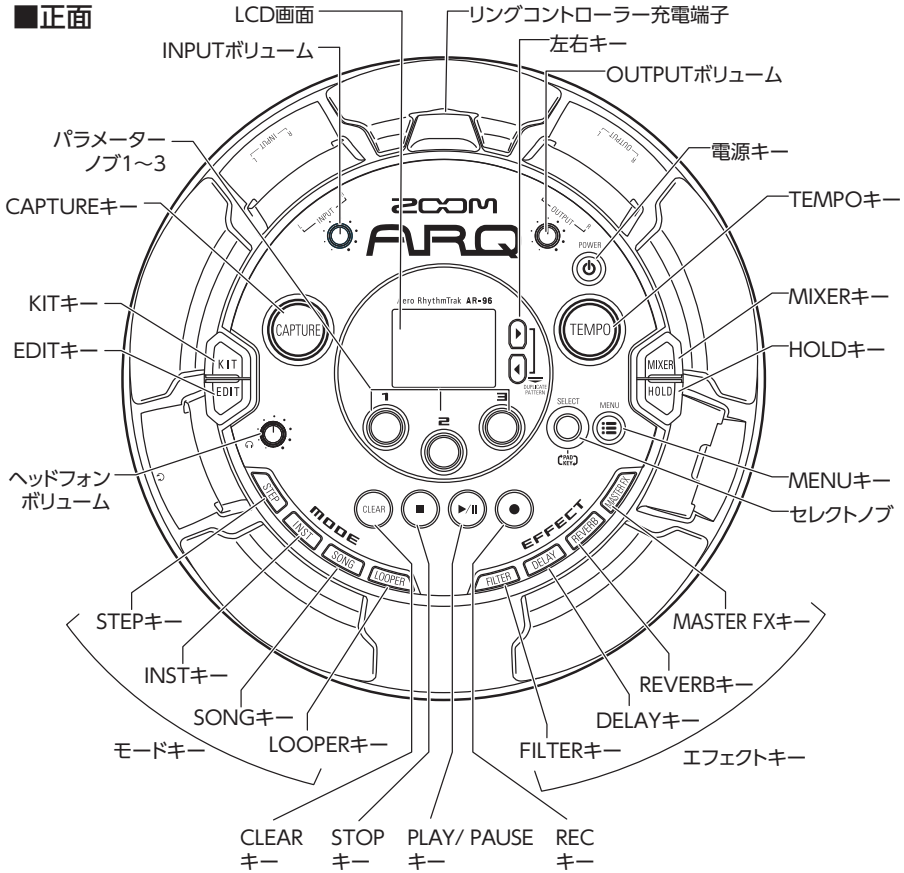
1つのパターンには、最大で33のインストゥルメントを使用することができます。このインストゥルメントの集まりをKITといいます。1つのパターンで作成したKITは、他のパターンにコピーが可能です。

概要

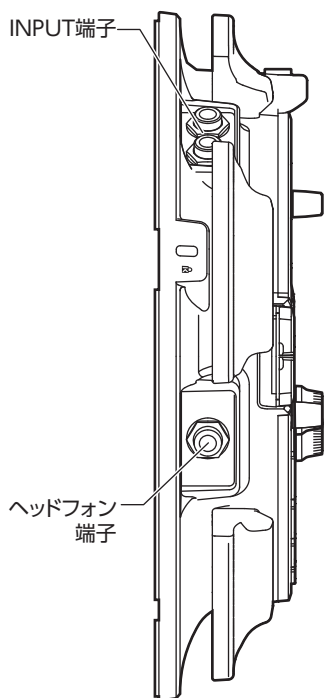
各部の名称

ベースステーション

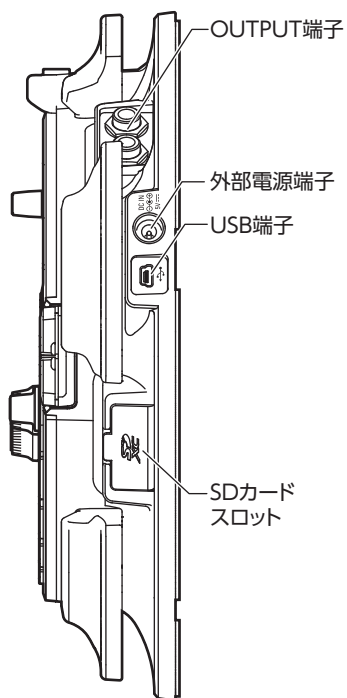
■正面



■左側面

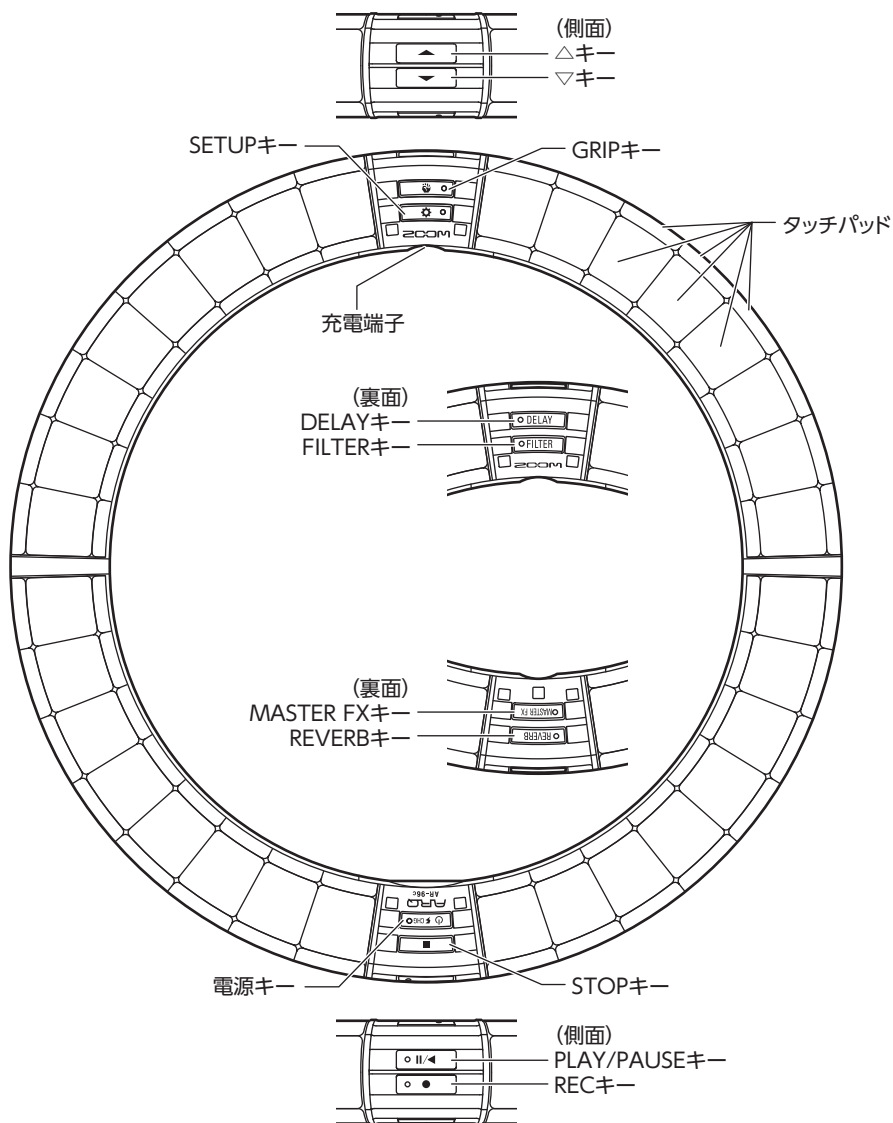


■右側面






各部の名称のつづき

リングコントローラー

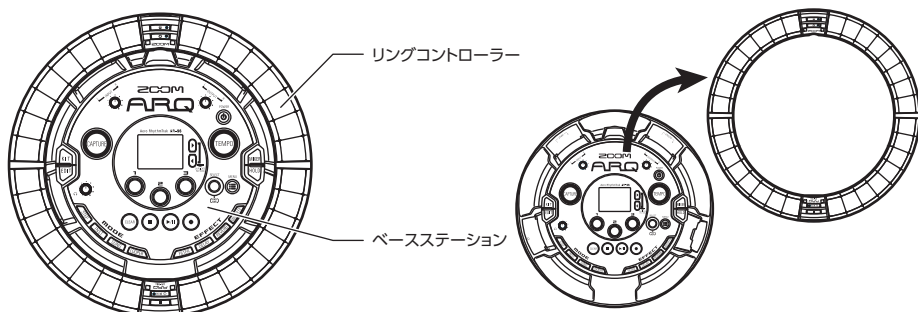


HINT

- ・リングコントローラーのキーを使用して、ベースステーションのキーと同じ操作ができます。
- ・リングコントローラーの  は、ベースステーションの  に対応します。
- ・リングコントローラーの  を押すと、ベースステーションのLCD画面に電池残量が表示されます。

AR-96の使い方

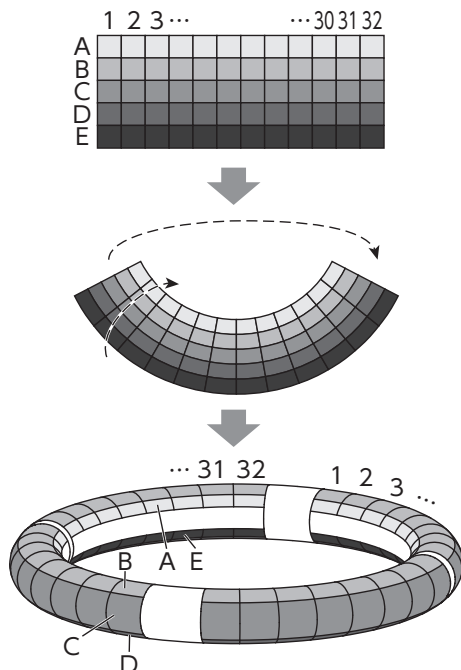
AR-96は、ベースステーションとリングコントローラーから構成されています。



ベースステーションでは、曲の作成や保存、音色の編集などができます。リングコントローラーは曲を作成するときの入力に使用します。

さらにリングコントローラーは着脱可能になっており、手に持って楽器のように演奏したり、MacやiOS機器と無線接続し、MIDIコントローラーとして使用することもできます。(→P.125)

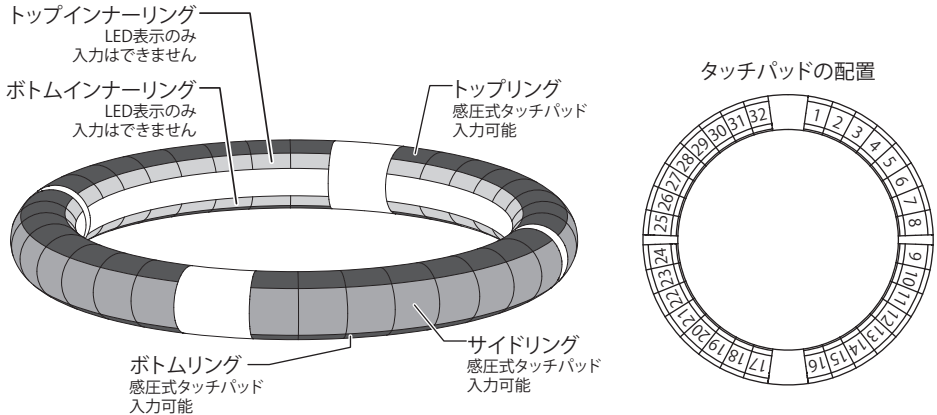
リングコントローラーには、32ブロック×5列のLEDマトリックス（タッチパッド3列、表示のみ2列）を搭載しています。2次元のマトリックスをフープ形状の表面に立体的に配置したことにより、コンパクトなサイズでありながら全体を確認しての操作が可能です。



リングコントローラーについて

AR-96のリングコントローラー表面には5つのリング状のエリアがあり、上面（トップリング）、側面（サイドリング）、底面（ボトムリング）にはそれぞれ32個の感圧式タッチパッドが配置されています。

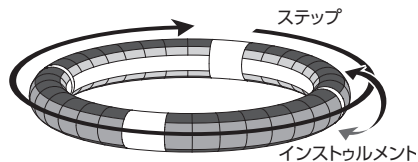
このタッチパッドを使用して、曲の入力や編集、リアルタイム演奏などを行うことができます。



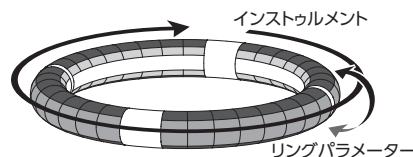
機能の割り当てについて

リングコントローラーのリングやパッドには、操作状況やモードに応じてさまざまな機能が割り当てられます。

例：STEPモードのPADレイアウト：それぞれのリングは5つ（ガイドライン表示時は3つ）のインストゥルメントのシーケンスを表し、各リングのそれぞれのパッドは1～32までのステップに対応します。



例：INSTモードのPADレイアウト：各パッドが1～32までのインストゥルメントに対応し、それぞれのリングには異なるパラメーター設定を割り当てられます。



HINT

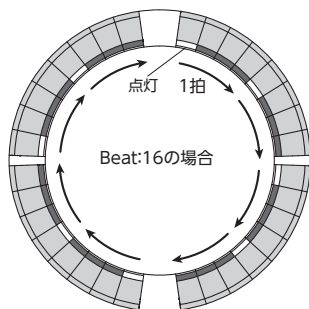
入力方式は各モードによって異なるため、詳細は各操作の説明ページを参照してください。

リングコントローラーについてのつづき

ガイドライン

STEP モードでトップインナーリング・ボトムインナーリングの LED 表示を 1 拍ごとに点灯させ、ステップレコーディングの補助にすることができます。

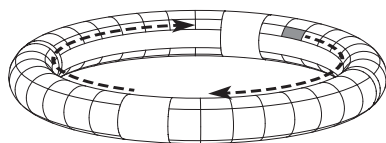
設定方法は「インナーリングの表示を設定する」(→P.104)を参照してください。



プレイバックポジション

ガイドライン表示時、パターンやソングなどを再生する場合は、現在再生中のステップ位置に対応するトップインナーリング・ボトムインナーリングの LED が緑に点灯します。

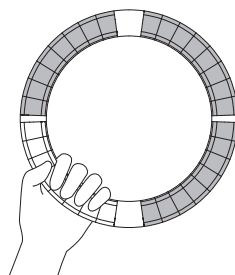
また、INST モードなどでリアルタイム入力を行う場合は、LED が赤く点灯します。



グリップエリア

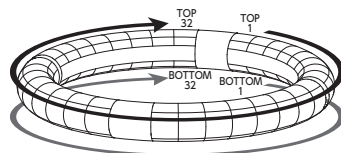
リングコントローラーをベースステーションから取り外して操作するとき、意図せずにパッドが押されてしまうことを防ぐために、タッチに反応しないグリップエリアを設定することができます。グリップエリアの範囲はユーザーが任意に指定できます。

設定方法は「グリップエリアの設定」(→P.119)を参照してください。



リングコントローラーの反転

リングコントローラーの電源キー側とエフェクトキー側を逆向きに置くと、各リングに割り当てられた機能や LED 表示の上下および回転方向が切り替わります。これによって、上から見た場合、リングコントローラーは常に時計回りで、上面側をトップリングとして使用できます。

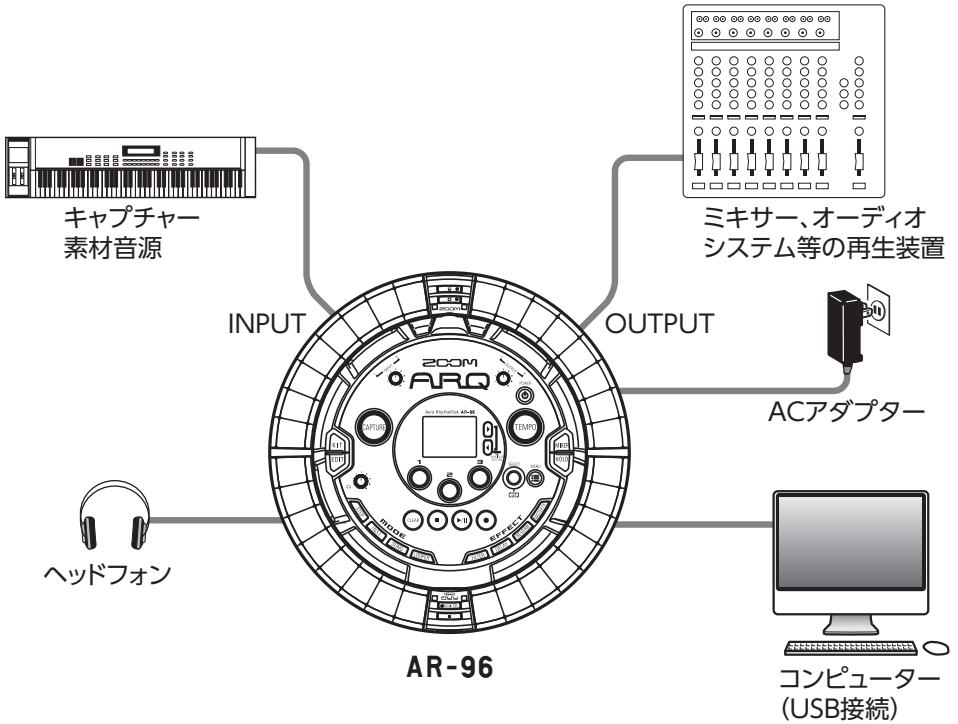


上下を逆に置いても、同様に使用できます

NOTE

グリップエリアが設定されている場合は、リングコントローラーは反転しません。

外部機器との接続



モードの切り替え

AR-96では、パターンを作成し、それらを複数組み合わせることで曲を作成できます。

AR-96での編集作業は、主に下記の4つのモードを使用し、それぞれを切り替えることでパターン作成と曲の作成を行き来しながら行うこととなります。



パターンを作成する方法には、STEPモードとINSTモードの2種類があります。

- STEPモード…ステップ単位でインストールメントの発音ポイントを記録し、パターンを作成します。

- INSTモード…リアルタイムでパッドを叩いて演奏した結果をパターンとして記録します。

一方、曲の作成にはSONGモードまたはLOOPERモードを使用します。

- SONGモード…リアルタイムでパターンを切り替えて演奏し、その結果を記録して曲を作成します。
- LOOPERモード…INPUT端子に接続された機器からの音声入力、パターンやソングなどをオーディオとしてキャプチャーしたデータや、SDカードから読み込んだWAVファイルなどを素材として、ルーパーシーケンスを組み立て、曲を作成します。

パターンの作成

パターンを作り登録します

STEPモード

ステップ単位で入力してパターンを作成します

INSTモード

リアルタイムで演奏してパターンを記録します

SONGモード

作成したパターンを組み合わせて曲を作ります

LOOPERモード

ソングや外部入力をキャプチャーしたオーディオループ、PCMファイルの音声などを使って曲を作ります

曲の作成

パターンなどを組み合わせ曲を構成します


インストゥルメントについて


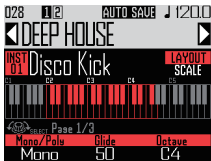
AR-96は、1つのKITにつき最大33の音源を使用できます。その1つずつをインストゥルメントと呼び、ドラムなどの波形データ、SDカードから読み込んだWAVファイル、または内蔵のシンセサイザーを発音できます。インストゥルメントには、音色（オシレーター）だけでなく発音するときの音の立ち上がりや持続する時間（エンベロープ）、フィルターの設定、エフェクト、パッドの色など様々な設定があります。

インストゥルメントには1～33のインストゥルメント番号が割り当てられます。EDITモードやSTEPモードでは、選択された番号のインストゥルメントに対して音色やシーケンスの編集ができます。

HINT

インストゥルメント番号33は**AR-96** Version 1.00のKEYレイアウトで使用していたインストゥルメントです。STEPモードでのみ編集することができます。

AR-96のリングコントローラーには以下の2つのレイアウトがあり、STEPモード及びINSTモードで  を押すと切り替えることができます。どちらのレイアウトの場合も、16音まで同時発音できます。

PADレイアウト	<p>最大で32のパッドそれぞれに異なるインストゥルメントを割り当てて演奏できるモードです。パッド1～32にはそれぞれ番号1～32のインストゥルメントが割り当てられます。</p> <p>また、LCD画面には選択されたインストゥルメントが表示され、対応したパッドは白く点灯します。</p>	
SCALEレイアウト	<p>PADレイアウトで選択したインストゥルメントを、音階をつけて演奏するモードです。パッドの並びがキーボードのように音階順になり、リングコントローラーのLEDは白鍵が淡い色、黒鍵が濃い色で点灯します。</p> <p>また、メジャー、マイナーなどのスケールを設定することも可能です。</p> <p>AR-96 Version 1.00とは異なり、1～32のいずれのインストゥルメントも、SCALEレイアウトに切り替え可能です。</p> <p>PADレイアウトでパッドを叩いた時に発音するノート（音階）はC4になります。</p>	

インストゥルメントについてのつづき

インストゥルメントのリングコントローラーへの割り当ては、STEP モードと INST モード、PAD レイアウトと SCALE レイアウトでそれぞれ異なります。

	STEP モード	INST モード
PAD レイアウト	<p>インストゥルメントNo.</p>	<p>インストゥルメントNo.</p>
SCALE レイアウト	<p>ノート</p>	<p>ノート</p>

※クロマティックの場合

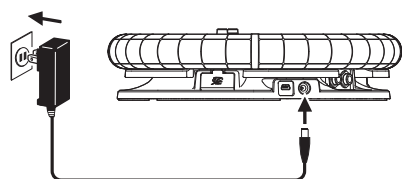
※サイドリング、ボトムリングにも同じノートが割り当てられます。

準備

電源の ON/OFF

ベースステーションの電源

1. ベースステーションに、付属の AC アダプターを接続する



2. ベースステーションの **POWER** を長押しする

3. 電源を OFF にするには、**POWER** を長押しする

HINT

リングコントローラーがスリープ状態でベースステーションに接続されている場合は、ベースステーションの電源 ON/OFF にリングコントローラーの電源が連動します。

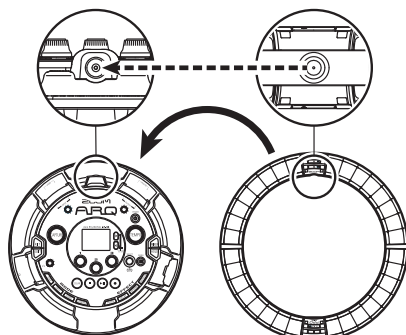
NOTE

AR-96 をパソコンなどと USB 接続する場合も、電源供給には AC アダプターを使用してください。

リングコントローラーの電源

■リングコントローラーを充電する

1. リングコントローラーをベースステーションに設置する



それぞれの充電端子の向きを合わせて設置してください。

充電が開始され、リングコントローラーの **CHG** の LED が点灯します。

充電中 (電源 OFF・スリープ)	赤
充電しながら使用中	オレンジ
バッテリーで使用中 (電池残量 12%以上)	緑
バッテリーで使用中 (電池残量 12%未満)	緑点滅

HINT

- ・ベースステーションが OFF になっていても、電源に接続された状態であればリングコントローラーを充電できます。
- ・リングコントローラーの **CHG** を押しと LCD 画面にリングコントローラーの電池残量が表示されます。

電源の ON/OFF のつづき


■リングコントローラーをスリープ状態にする

リングコントローラーが充電されているときは、電源が OFF にならず、スリープ状態になります。

1.  **CONTROLLER**  を長押しする

2.  **CONTROLLER** スリープ状態を解除するには、 を長押しする

HINT

スリープ中は、リングコントローラーの  の LED が赤点灯 (充電中) / 赤点滅 (充電していないとき) します。


■リングコントローラーの電源を OFF にする

リングコントローラーの電源を OFF にするには、リングコントローラーが充電されていない状態で操作を行います。

1.  **CONTROLLER** 充電していないときに 7 秒以上  を長押しする

2.  **CONTROLLER** 電源を ON するには、 を長押しする

NOTE

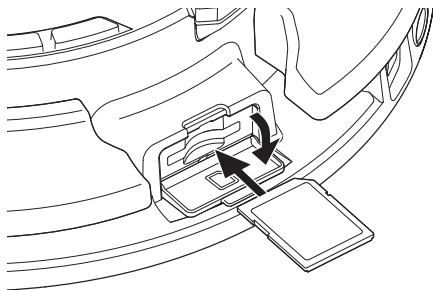
- ・電源が OFF になると  の LED が消灯します。
- ・電源 OFF 状態のリングコントローラーを電源に接続されたベースステーションに設置すると、自動的に充電が開始され、リングコントローラーは次の状態になります。
 - 起動 (ベースステーション ON の場合)
 - スリープ (ベースステーション OFF の場合)

SD カードのセット

■SD カードの取り付け・取り外し

1. 電源を OFF にする
2. ベースステーションの SD カード
スロットカバーを開ける
3. スロットに SD カードを挿し込む

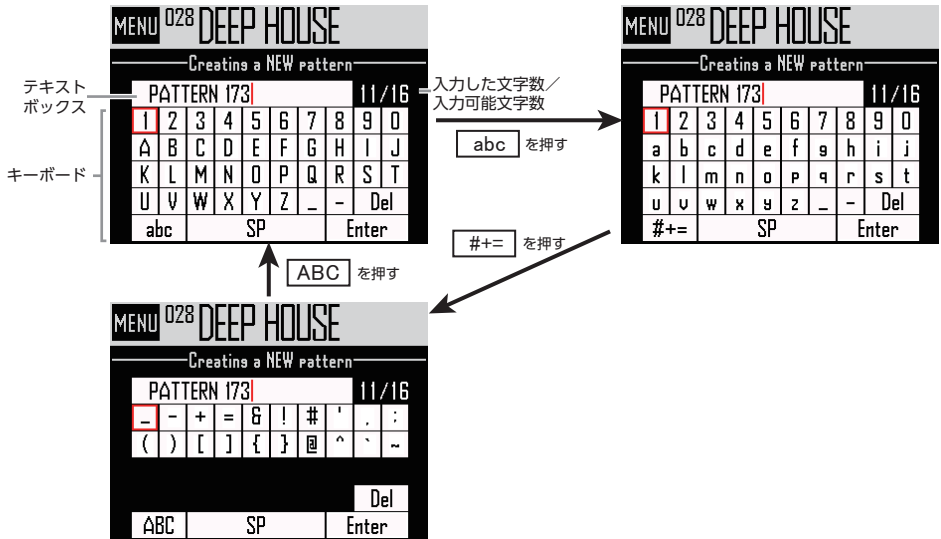
取り出したいとき：
SD カードを一度スロットの奥に押し込
んでから、引き抜く



NOTE

- ・ **AR-96** に SD カードを取り付けない場合、キャプチャーデータの保存や、作成したパターンやソングのバックアップ作成ができません。
- ・ SD カードを抜き挿しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- ・ 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **AR-96** で初期化する必要があります。
- ・ SD カードを初期化するには (→ P.114)

文字入力画面の操作



■変更時の操作

テキストボックス内カーソル移動：

文字の選択： を回す

文字の確定： を押す

変更を終了する：「Enter」にカーソルを合わせ
 を押す

変更をキャンセルする： を押す

HINT

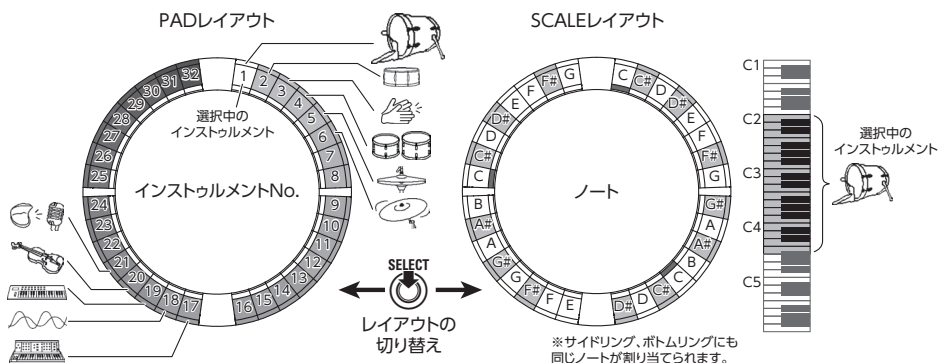
- ・使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !#&'()+,-0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMN O P Q R S T U V W X Y Z [^ _ ` abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
- ・入力対象によっては、一部の文字が使用できない場合があります。

INST モード

INST モードの概要

パッドを叩いて自由に演奏することができます。また、その演奏をリアルタイムに記録してパターンを作成することもできます。

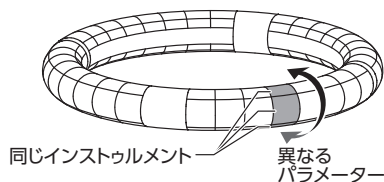
このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのインストゥルメント (PAD レイアウト) / ノート (SCALE レイアウト) に対応します。



HINT

PAD レイアウトのときは、C4 のノート (音階) で発音します。

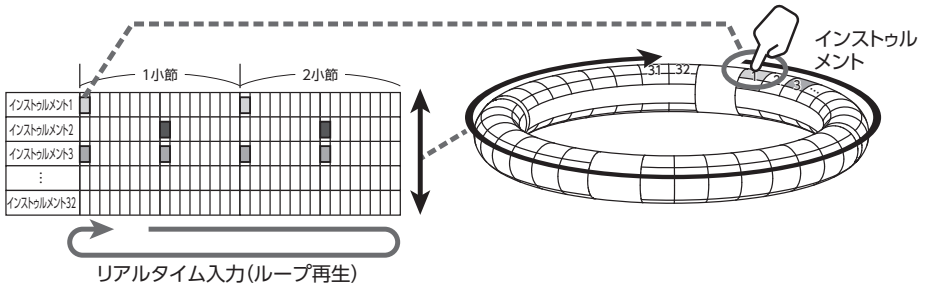
また、サイドリング、ボトムリングにそれぞれ異なるパラメーター設定を割り当て、音色を使い分けることができます。(→ P.93)



INST モードの概要のつづき

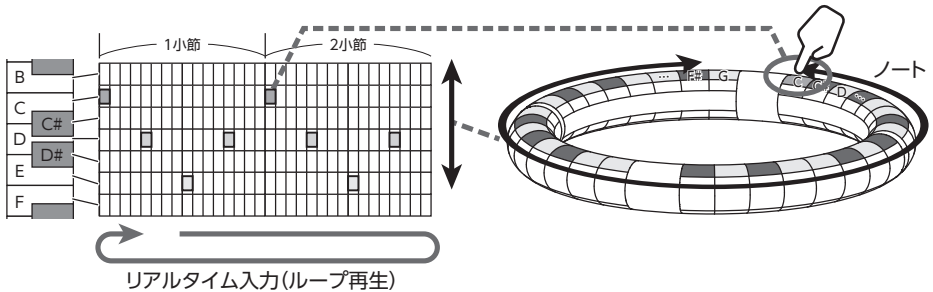
パターン作成…PAD レイアウトの場合：

リアルタイム入力を開始したら、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。
パターンはループ再生され、何度でも重ね録りが可能です。



パターン作成…SCALE レイアウトの場合：

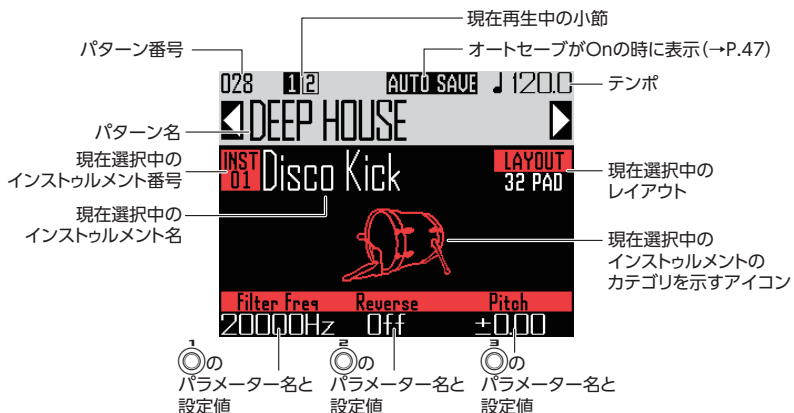
リアルタイム入力を開始したら、入力するノートのパッドを叩きます。
インストゥルメント番号 1～32 のすべてに対して、音階をつけて入力することができます。



INST モードの概要のつづき

画面の説明

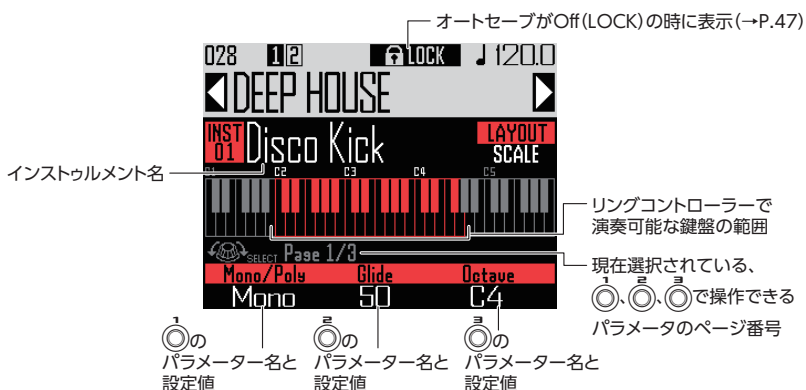
■ PAD レイアウト時



HINT

- ・パッドを叩いてインストゥルメントを選択するときに **INST** を押しながらパッドを叩くと、発音させずに選択できます。
- ・、、 に割り当てるパラメータは選択できます (クイックアクセス機能 → P.92)

■ SCALE レイアウト時



HINT

- 、、 に割り当てるパラメータは、 で次の中から選択できます。
- Page1 : Mono/Poly, Glide, Octave
- Page2 : PAD レイアウトのクイックアクセス機能 1 ~ 3
- Page3 : Scale, Key

操作の流れ

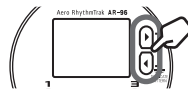
INSTモードに入る

INST を押して、INSTモードに入ります。



パターンを選ぶ

0 でパターン番号を選びます。

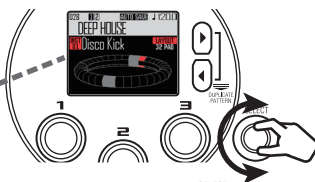
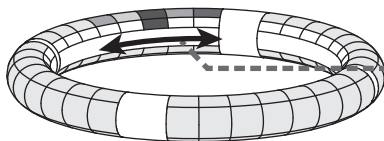


入力するインストゥルメントを確認する

パッドを叩いて、入力するインストゥルメントの音色を試聴することができます。

叩いたパッドのインストゥルメントは「選択された状態」となり、パッドが白く点灯します。LCD画面にはインストゥルメントの名前やパラメータが表示されます。

パッドを叩いてインストゥルメントの選択のみを行いたい場合、**INST** キーを押しながらパッドを叩くと発音しません。



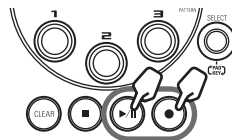
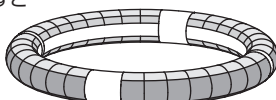
選択中のインストゥルメントをSCALEレイアウトで演奏する場合は

SELECT を押してレイアウトを切り替えます。

インストゥルメントは **0** でも
選択できます。

入力を開始する

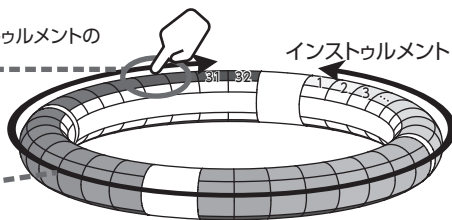
0 を押すとスタンバイ状態になり、**▶||** を押すとリアルタイム入力が始まります。



リアルタイム入力を開始する

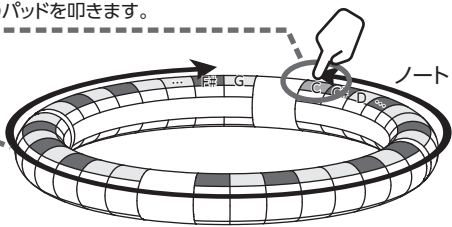
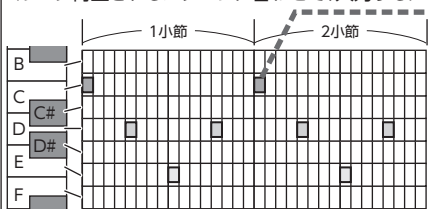
PADレイアウトの場合:

ループ再生されるパターンに合わせて、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。



SCALEレイアウトの場合:

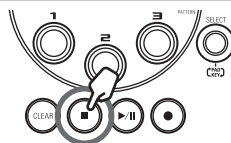
ループ再生されるパターンに合わせて、入力するノートのパッドを叩きます。



リアルタイム入力(ループ再生)

入力を終了する

◻ を押すとリアルタイム入力が終了します。



準備

■モードに入る

1. **INST** を押す

■パターンの選択

入力するパターンを選びます。

1. **0** でパターンを選択する

選択したパターン名が LCD 画面に表示されます。



HINT

パターンを再生中の場合、現在再生されているパターンの再生後に切り替わります。切り替わるまでの間は、パターン名が点滅します。

■音色の選択

必要に応じて、レイアウトを切り替えたり、インストゥルメントを確認します。



0 でピッチを変更した例

HINT

音色を編集することもできます。(→ P.85)

■テンポの設定

1. **TEMPO** を押す

テンポの設定が画面に表示されます。



2. **SELECT** でテンポを設定する

テンポはBPM 40.0～250.0の範囲で、0.1刻みで変更できます。

HINT

設定するテンポの4分音符と同じタイミングで **TEMPO** を数回叩いても変更できます。

パターンのリアルタイム入力

パターンの入力

■パターンの入力

1. を押す


 が点灯し、録音待機状態になります。



2. を押す

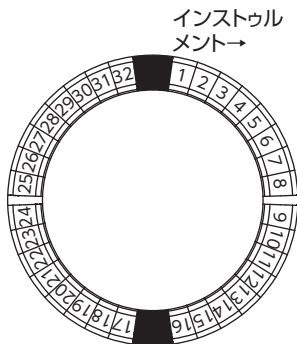
プリカウントが開始されます。
プリカウントが終わるとインストゥルメントを入力できるようになり、LCD画面に表示されている Bar (小節)、Beat (拍)、Tick (記録できる最短の時間単位) の表示が動き出します。

HINT

- ・プリカウントの種類を変更する (→ P.35)
- ・パターンの再生中に  を押しても入力を開始できません。この場合、プリカウントは行われません。

3. CONTROLLER 入力するインストゥルメントに対応したパッドを叩く

メトロノーム音に合わせて演奏を行います。





HINT

- ・クオンタイズを設定することで、入力リズムとずれたときに自動補正ができます。(→ P.47)
- ・メトロノームの設定を変更する (→ P.35)

4. 入力を終了するには、 を押す 録音が終了します。

HINT

-  を押すと録音待機状態になります。
-  を押すと録音は終了しますが、再生は継続されます。この状態でパッドを叩くと、音色を確認することができます。

■1 ステップずつ移動し、パッドを叩いてパターンを入力する


手動で 1 ステップずつパターンを移動し、入力したいステップでパッドを叩くことによりパターンを入力することもできます。(ステップバイステップ入力)

1. を押す

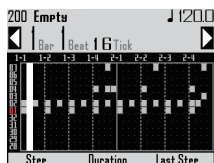
 が点灯し、録音待機状態になります。



2. を押す

設定されている Step の値 (→ P.43) に応じて 1 ステップずつ移動します。移動中は LCD 画面が切り替わり、現在のステップ位置が表示されます。
 を操作してステップの単位を変更することもできます。

パターンのリアルタイム入力 のつづき



HINT

現在のステップ位置にインストゥルメントが入力されていた場合、そのパッドは明るく点灯し、入力されていないパッドは暗い色で点灯します。

3. **CONTROLLER** 入力するインス

トゥルメントに対応したパッドを叩く

入力したパッドは明るく点灯します。明るく点灯しているパッドを叩くと入力はキャンセルされ、パッドは暗い色で点灯します。

HINT

- ・パッドを押し続けたまま **Q** を押してステップを移動し、パッドから手を離すと、パッドから手を離れた位置までのステップ範囲が入力された音の長さ（ノート長）になります。
- ・ステップバイステップ入力中に **▶/||** を押すとリアルタイム入力に切り替わります。

4. 入力を終了するには、**■** を押す

録音が終了します。

■パターンの再生

1. **▶/||** を押す

再生が開始され、**▶/||** が点灯します。

2. 一時停止するには、**▶/||** をもう一度押す

再生が一時停止し、**▶/||** が点滅します。

3. 再生を終了するには、**■** を押す

再生が終了し、**▶/||** が消灯します。

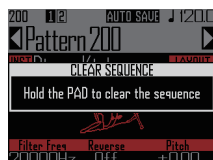
■パターンの一部を消去

1. **▶/||** を押す

パターンを再生します。

2. **CLEAR** を押す

CLEAR が点滅します。



3. **CONTROLLER** 消去したい部分が

再生されている間、消去するインストゥルメントのパッドを押し続ける押し続けている間のシーケンス（演奏情報）が消去されます。

4. **CONTROLLER** 消去する部分の再生が終わったら、パッドから手を離す

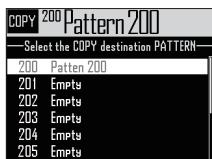
5. 消去を終了するには、**CLEAR** を押す

クイックコピー

編集中のパターン内容を別のパターンにコピーして、コピー先のパターン編集に移行します。パターンのバリエーション展開が簡単に作成できます。

1. を同時に押す

Duplicate Pattern 画面が表示されます。



2. でコピー先のパターンを選択

して、 を押す

コピー先が空のパターンではない場合、確認の画面が表示されます。

3. で Yes を選択して、 を押す

パターンがコピーされ、コピー先のパターン編集に移動します。

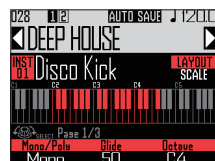
SCALE レイアウトの設定

リングコントローラーが SCALE レイアウトの場合、オクターブやスケールの設定、発音を単音 (モノフォニック) か複数音 (ポリフォニック) で行うかの設定などが行えます。

■発音方法の設定 (Mono/Poly)

複数のパッドが押されたときに、発音を単音 (モノフォニック) か複数音 (ポリフォニック) で行うかを設定します。

1. SCALE レイアウトに切り替えた状態で、 で LCD 画面下部にページ 1 を表示させる



2. で発音方法を選択する

Mono, Poly から選択できます。

■グライドの設定 (Glide)

異なるノートを発音させるとき、音階の変化を瞬間的に行うか、時間とともに滑らかに変化させるかを設定します。

1. SCALE レイアウトに切り替えた状態で、 で LCD 画面下部にページ 1 を表示させる

HINT

Glide は発音方法をモノフォニックにした場合にのみ有効になります。

2. でグライド値を変更する

0 ~ 100 の範囲で選択できます。
値が大きいほど音階は滑らかに変化します。

■オクターブ設定 (Octave)

リングコントローラーで演奏できるノート範囲を変更できます。

1. SCALE レイアウトに切り替えた状態で、 で LCD 画面下部にページ 1 を表示させる

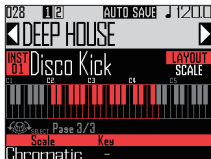
2. でオクターブを変更する

表示されているオクターブがパッド 1 の音階になります。

■スケールの変更 (Scale)

設定したスケール (音階) に応じてリングコントローラーの音階の並びが変化します。必要な音階のみをリングコントローラーに割り当てることができます。

1. SCALE レイアウトに切り替えた状態で、 で LCD 画面下部にページ 3 を表示させる



2. でスケールを選択する

次の中から選択できます。
Chromatic、Major(Ionian)、Harmonic Minor、Melodic Minor、Dorian、Phrygian、Lydian、Mixolydian、Aeolian、Locrian、Super Locrian、Major Blues、Minor Blues、Diminished、Com Dim、Major Pentatonic、Minor Pentatonic、Raga 1(Bhairav)、Raga 2、Raga 3、Arabic、Spanish、Gypsy、Minor Gypsy(Hungarian Minor)、Egyptian、Hawaiian、Pelog、Hirojoshi、In-Sen、Iwato、Kumoi、Miyakobushi、Ryukyu、Chinese、Whole Tone、Whole Half、5th Interval

■キーの変更 (Key)

スケールを Chromatic 以外に設定したときのキー (調) を変更できます。

1. SCALE レイアウトに切り替えた状態で、 で LCD 画面下部にページ 3 を表示させる

2. でキーを変更する

C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B から選択できます。

NOTE

キーの変更に合わせて、リングコントローラーのレイアウトも変わります。

アルペジエーター

パッドを押すと自動的にインストゥルメントを演奏する機能です。複数のパッドを押すと複数のインストゥルメントを順番に発音します。

SCALE レイアウトで和音を押さえることにより、和音を構成する音を一音ずつ発音させることができます。

1. を押す

アルペジエーターの設定画面が表示されます。




2. で OFF 以外を選択する

ON を選択した場合、パッドを押さえ続けている間は自動的に演奏します。



ON (Latch) を選択した場合、パッドを押すと自動的に演奏し、もう一度パッドを押すと演奏を停止します。

HINT

ON(Latch) で自動演奏した場合、 でも演奏を止めることができます。

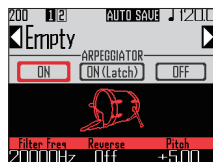
3. 演奏の種類を変更するには、 を 回す


Repeat, Sequence, Up, Down, Up & Down, Random の中から Style を選択できます。

選択された Style により、演奏の種類や 、 の役割が次ページの表のように変化します。

4. アルペジエーターの設定を終了するには、 を押す



アルペジエーターが有効な場合、パッドを叩くと画面が切り替わります。



このとき、 でアルペジエーターを OFF にすることも可能です。


アルペジエーターのつづき


アルペジエーター一覧

Style	効果	パラメーター 2 ( で設定可能)	パラメーター 3 ( で設定可能)
Repeat	押されているパッドを繰り返し発音します。 複数のパッドが押されている場合、押されているパッドが同時に繰り返し発音されます。	Number of note パッドの音の音階に加えて発音する音階の数を設定します。 1の場合、パッドの音のみを発音し、数字が増えるとともに5度上の音階、1オクターブ上の音階と、発音する音階が増えていきます。数字が2以上の場合、発音する音の順番を Up、Down、UpDown、Random から選択できます。 (アルペジエーター・パラメーター一覧→P.143)	Pattern アルペジエーターの発音するタイミングを設定します。 1/32、1/16Tri、1/16、1/8Tri、1/8、1/4、1/2、1/1のような、固定のタイミングでの単純な繰り返しや、Seq 1～32のようなあらかじめ決められたシーケンスから選択できます。 (アルペジエーター・パラメーター一覧→P.144)
Sequence	押されたパッドにシーケンスが記録されていた場合、そのシーケンスでインストゥルメントを発音します。 シーケンスが記録されていないパッドの場合は、繰り返しせずにそのまま発音します。複数のパッドが同時に押されている場合、押されているパッドが同時に繰り返し発音されます。	/	/
Up	複数のパッドを同時に押した場合、インストゥルメント番号が小さいパッドから順番に発音します。	Octave 1～4の範囲で選択できます。Octave が1の場合、パッドの音の音階のみを発音します。 2の場合、パッドの音の音階に加え、1オクターブ上の音階を発音します。 同様に3～4に設定するとさらに3、4オクターブ上の音階を発音します。	Pattern アルペジエーターの発音するタイミングを設定します。 1/32、1/16Tri、1/16、1/8Tri、1/8、1/4、1/2、1/1のような、固定のタイミングでの単純な繰り返しや、Seq 1～32のようなあらかじめ決められたシーケンスから選択できます。 (アルペジエーター・パラメーター一覧→P.144)
Down	複数のパッドを同時に押した場合、インストゥルメント番号が大きいパッドから順番に発音します。		
Up & Down	複数のパッドを同時に押した場合、インストゥルメント番号が小さいパッドから順番に発音し、一番大きな番号が発音されたら今度は大きいパッドから順番に発音します。		
Random	複数のパッドを同時に押した場合、それぞれのパッドをランダムに発音します。		


パターンの消去

インストゥルメント全体の消去

1.  で消去するインストゥルメントを選択する


2. 再生を停止している状態で、 を押す

CLEAR 画面が表示されます。

キャンセルする場合は、もう一度  を押します。





HINT

- CLEAR 画面で  を回して、消去するインストゥルメントを選択することもできます。ここで「All Instruments」を選択すると、シーケンス全体を消去します。
- SCALE レイアウトの場合、消去の対象はノートになります。ここで「All Notes」を選択すると、SCALE レイアウトのシーケンス全体を消去します。
- PAD レイアウトでインストゥルメントを消去した場合、SCALE レイアウトで入力したノートもすべて消去されます。

3.  を押す

確認のメッセージが表示されます。

4.  で Yes を選択して、 を押す



選択したインストゥルメントに登録したシーケンスがすべて消去されます。

その他の設定

メトロノームの設定

録音中にガイドとして再生されるメトロノームについて設定します。



1.  を押す


2.  で Settings を選択して、 を押す

各種設定画面が表示されます。

3.  で METRONOME を選択して、 を押す

メトロノーム設定画面が表示されます。

4.  でメニュー項目を選択して、 で決定する

 を押すとメニュー階層が1段階戻ります。

■プリカウントの設定 (Prcount)


-  でプリカウントを選択する
OFF、1～8、Special から選択できます。

HINT


Special を選択すると、次のようなカウントが鳴ります。




■音色の設定 (Sound)

-  でメトロノームの音色を選択する
Bell、Stick、Click、Cowbell、Hi-Q の中から選択できます。


■パターンの設定 (Guide Click)

-  でメトロノームのパターンを選択する
メトロノームが鳴る間隔を、1小節の分割数で設定します。1/16、1/8、1/4、1/2 の中から選択できます。

■音量の設定 (Volume)

-  でメトロノームの音量を設定する
音量は0から10の間で選択できます。

■出力先の選択 (Output Routing)

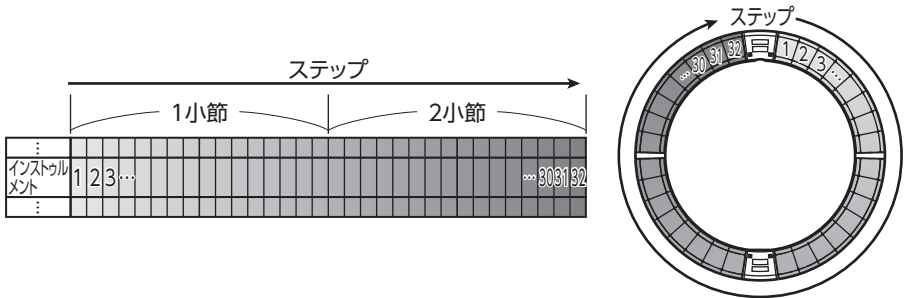
-  でメトロノームの出力先を選択する
PHONES、OUTPUT、PHONES+OUTPUT から選択できます。

STEP モード

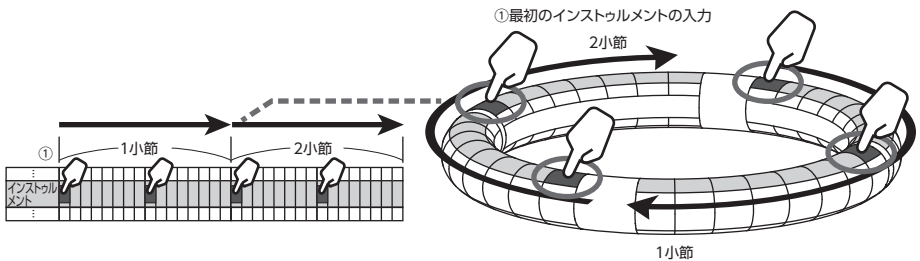
STEP モードの概要

STEP モードでは、パターンをステップ単位で入力して作成します。

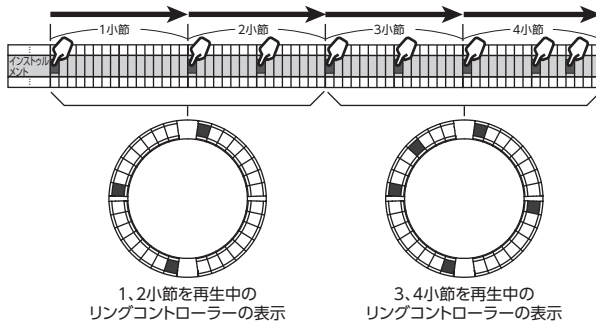
このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのステップに対応します。



リングコントローラーの 1 周は 32 ステップに分割されているため、2 小節分のステップ入力をまとめて行うことができます (①) (最小ステップを 16 分音符にした場合)。




2 小節を超えるパターンの場合、リングコントローラーの表示は 2 小節ごとに切り替わります (最小ステップを 16 分音符にした場合)。

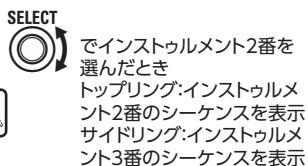
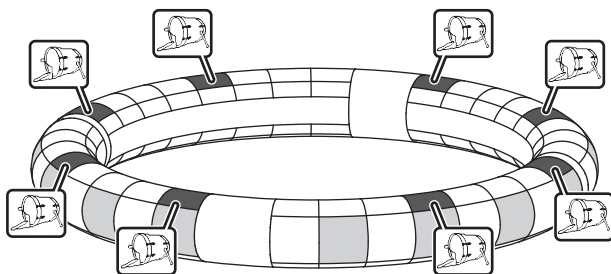
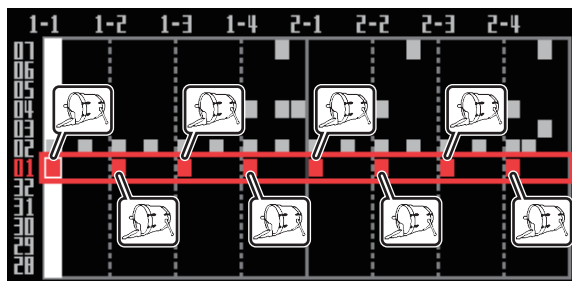


STEP モードの概要のつづき


PAD レイアウトの場合：

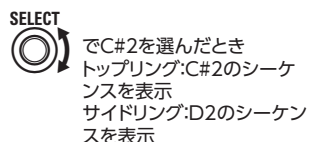
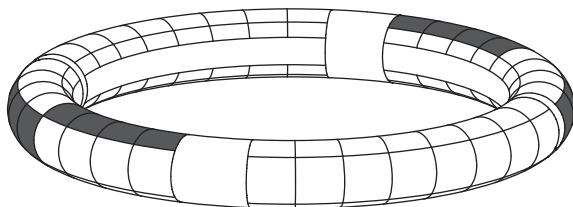
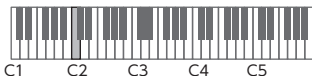
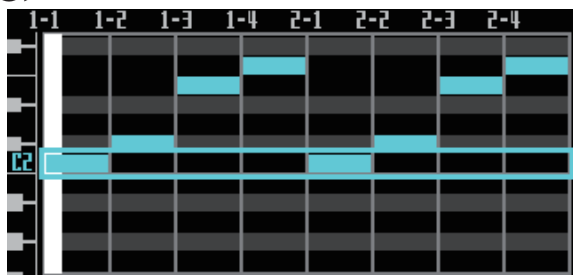
リングコントローラーの5つ（ガイドライン表示時は3つ）のリングはそれぞれ異なるインストールメントを表示します。どのリングにどのインストールメントを表示させるかは、 で切り替えることができます。

複数のインストールメントをリングコントローラーに表示できるので、入力済みのインストールメントを確認しながら、次のインストールメントの入力を進められます。



SCALE レイアウトの場合：

 で入力するノートを選ぶことができます。



STEP モードの概要のつづき

画面の説明

■ PAD レイアウト時

パターン番号

現在再生中の小節
オートセーブがOnの時に表示(→P.47)

テンポ

現在選択中のレイアウト

トップリングに表示されるインストールメントの番号と名前

選択中のインストールメントの1つ先のインストールメントのシーケンス
リングコントローラーのサイドリングに表示されます

選択中のインストールメントのシーケンス
リングコントローラーのトップリングに表示されます

選択中のインストールメントに加え、5つ前から6つ先までのインストールメントのシーケンスが表示されます

①でインストールメントを入力できる位置を設定できます。拍単位や三連符単位で入力できます。
設定によりリングコントローラーの1周に対応する小節数が変わります(→P.41)

②でこれから入力するインストールメントの音の長さを設定できます(→P.42)

③でリングコントローラー1周分のステップ数を選択できます(→P.41)

HINT

①、②、③の設定時は、ノブを操作している間だけ表示されます。

■ SCALE レイアウト時

2小節を超えるパターンなど、リングコントローラーの1周ではシーケンスの最後まで表示できない場合に表示
オートセーブがOff(LOCK)の時に表示(→P.47)

選択中のノットの半音上のノットのシーケンス
リングコントローラーのサイドリングに表示されます

選択中のノットのシーケンス
リングコントローラーのトップリングに表示されます

選択中のインストールメントに加え、1オクターブ分のノットのシーケンスが表示されます

操作の流れ

パターンを選ぶ

0でパターン番号を選びます。



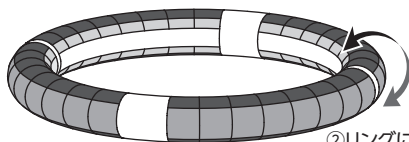
STEPモードに入る

STEPを押して、STEPモードに入ります。

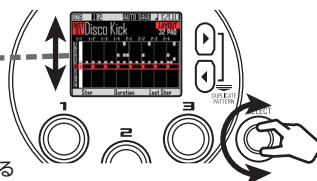


入力するインストゥルメントを選ぶ

SELECTで32のインストゥルメントの中から、入力に使用するインストゥルメントを選び、リングコントローラーのトップリングに移動させます。



②リングに表示される
インストゥルメント色が移動する



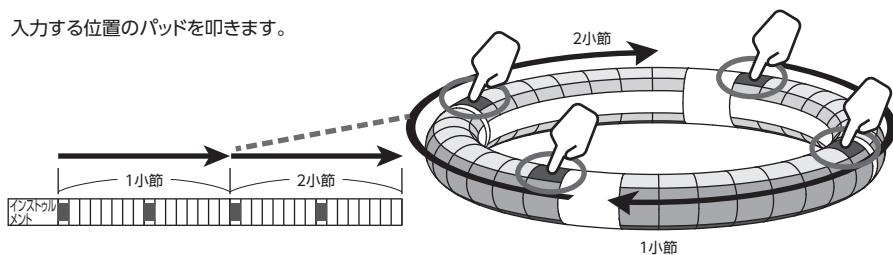
SCALEレイアウトで入力する場合は、SELECTを押してモードを切り替えます。

①入力するインストゥルメントを
SELECTで選択する

1つの入力が終わったら、別のインストゥルメントに切り替える

ステップ入力

入力する位置のパッドを叩きます。



準備

■パターンの選択

入力するパターンを選びます。

1. 0でパターンを選択する

選択したパターン名が LCD 画面に表示
されます。




■モードに入る

1. STEPを押す

パターンのステップ入力


パターンの入力

■インストゥルメントの選択

1.  で入力するインストゥルメントを選択する

入力するインストゥルメントを、LCD画面の中央に表示させます。

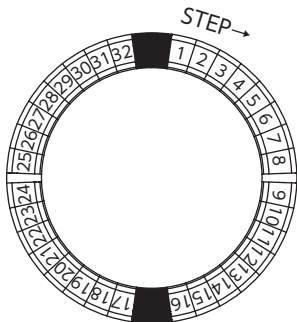


 **CONTROLLER** 入力するインストゥルメントはリングコントローラーのトップリングに表示されます。

■パターンの入力


1.  入力するステップに対応したパッドを叩く

叩いたパッドのLEDがインストゥルメント色に点灯します。



HINT

叩く強さに応じてベロシティが変わるように設定できます。(→P.121)

2.  **CONTROLLER** 入力したステップを消去するには、そのパッドをもう一度叩く
ステップが消去され、LEDが消灯します。

■パターンの再生

1.  を押す
再生が開始され、 が点灯します。
2. 一時停止するには、 をもう一度押す
再生が一時停止し、 が点滅します。
3. 再生を終了するには、 を押す
再生が終了し、 が消灯します。

パターンのステップ入力 の つづき

ノートの選択

SCALE レイアウトの場合、入力するノートを
選択できます。

1. SCALE レイアウトを選択中に を 回す

入力するノートを、LCD 画面の中央に
表示させます。

リングコントローラーの最終 ステップ位置の変更

リングコントローラー 1 周分の最終ステップ
位置を変更することができます。

1 周を 24 ステップとすることで三拍子のパ
ターンを作成することもできます。

1. を操作し、Last Step の値を表 示させる

リングコントローラー上の最終ステッ
プ数が表示されます。

1 から 32 までの範囲で指定できます。

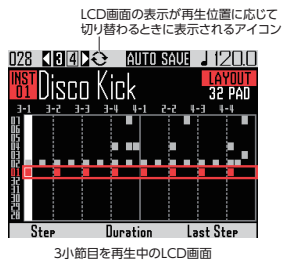


NOTE

- Last Step を 32 より少なくしても、それ
まであったシーケンスは消去されません。
- Step の設定が 1/32、1/16Tri の時は 1
小節を 32 分割した時間が 1 ステップ、
1/16、1/8Tri の時は 2 小節を 32 分割し
た時間が 1 ステップとなり、Last Step を
設定したときの時間の変化が異なります。

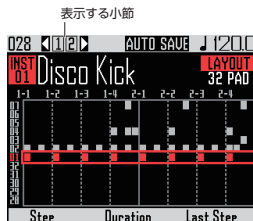
リングコントローラーの 1 周 を超える長さを持つパターン のステップ入力

Step の設定が 1/16 で 2 小節を超えるパターン
や、Step の設定が 1/32 で 1 小節を超える
パターンの場合、リングコントローラーの 1
周ではすべてのシーケンスを表示できないた
め、再生位置に応じてシーケンスの表示が切
り替わります。



1. を押して、ステップ入力する小 節を表示させる

異なる小節を再生していても、表示は
変化しません。




パターンのステップ入力 のつづき

音の長さの変更


入力する音の長さ（ノート長）を2つの方法で設定できます。

■あらかじめ音の長さを設定して入力する

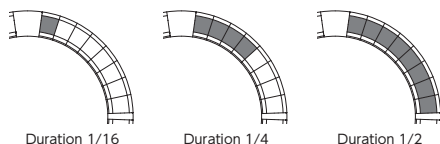
1.  を操作し、Duration の値を表示させる

これから入力するインストゥルメントの音の長さが表示されます。



2.  **CONTROLLER** Duration の値を設定し、入力するステップに対応したパッドを叩く


設定された Duration で音が入力されます

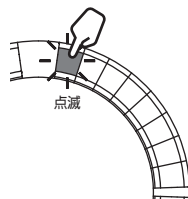


NOTE

Duration の設定は、オシレーター一覧（→P.133）で LOOP が×の項目については無効になります。

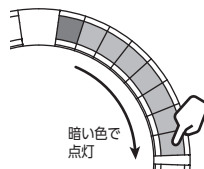
■発音位置と音の終了位置を指定する

1.  **CONTROLLER** 入力するステップに対応したパッドを長押しする
押ししたパッドが点滅します。



2.  **CONTROLLER** 音の終了位置のパッドを叩く

ノート長が変更されます。



HINT

ノート長を変更したステップ範囲は、暗い色で点灯します。

NOTE

オシレーター一覧（→P.133）で LOOP が×の項目については、ノート長が変更できません。

パターンのステップ入力 のつづき

■音を入力する位置の変更

インストゥルメントを入力できる位置を変更できます。拍単位で入力したり、3連符単位で入力することができます。

1. を操作し、Step の値を表示させる

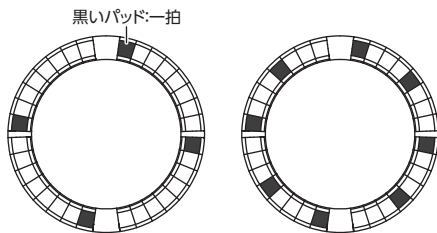
これから入力する音の位置が変更されます。

Step は 1/32 (32 分音符単位)、1/16Tri (16 分音符の 3 連符単位)、1/16 (16 分音符単位)、1/8Tri (8 分音符の 3 連符単位) から選択できます。



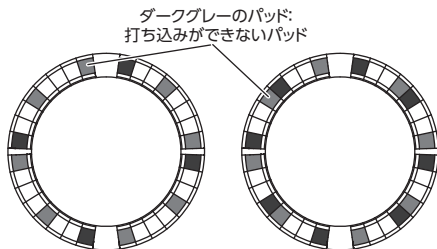
Step の設定によりリングコントローラーの 1 周に対応する小節数が変わります。

LCD 画面に表示されるシーケンスの長さも同様に変化します。



Step設定:1/32
リングコントローラー
の1周:1小節

Step設定:1/16
リングコントローラー
の1周:2小節






Step設定:1/16Tri
リングコントローラー
の1周:1小節

Step設定:1/8Tri
リングコントローラー
の1周:2小節



Step 設定を 1/32 もしくは
1/16Tri にした時の LCD 画面

モーションシーケンス

エフェクトのパラメーターや、INST モードで 、、 によりコントロール可能なパラメーター（クイックアクセス機能→P.92）の設定の変更をシーケンスとして記録することができます。

パターンを再生しながらリアルタイムに変更を記録したり、ステップごとにパラメータの設定値を記録したりすることができます。記録した内容はパターンの一部として保存され、再生時に再現されます。

リアルタイムにモーションシーケンスを記録する


1. モーションシーケンスを記録する

パターンを選択する



2. を押す

3. を押す

 が点灯し、プリカウントに続いてパターンの再生が始まります。

4. エフェクトキーの操作や、クイックアクセス機能のパラメーターの変更などを行う

操作内容が、モーションシーケンスとして記録されます。



- ・エフェクトの設定（→P.98）
- ・クイックアクセス機能の設定（→P.92）

HINT



- ・最初にパラメーターが操作された時点で記録が始まり、記録されているパラメータの値は赤く表示されます。
- ・一度記録したパラメーターを再記録すると、新しい内容で上書きされます。

5. 記録が終わったら、 または を押す


ステップごとにモーションシーケンスを記録する

1. モーションシーケンスを記録するパターンを選択する
2.  を押す
3.  でパラメータを変更するステップに移動する
4. エフェクトキーの操作や、ウィックアクセス機能のパラメータの変更などを行う
変更が記録され、パラメータの値は赤く表示されます。





5. 記録が終わったら、 または  を押す

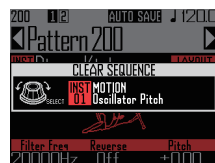
モーションシーケンスの消去




1. モーションシーケンスを消去するパターンを選択する
2.  でモーションシーケンスを記録したインストゥルメントを選択する

HINT

エフェクトパラメーターのモーションシーケンスを削除したい場合、この操作は必要ありません。


3.  を押す
選択されたインストゥルメントのシーケンスを消去する画面が表示されます。
4.  で削除したいモーションシーケンスを選択する
エフェクトパラメーターのモーションシーケンスは“All Instruments”、“All Notes”の隣にあります。



5.  で決定する
確認画面が表示されます。
6.  で Yes を選択して、 を押す
選択したパラメーターのシーケンスが消去されます。

パターンの消去

インストゥルメント全体の消去

1.  で消去するインストゥルメントを選択する


2.  を押す

CLEAR 画面が表示されます。

キャンセルする場合は、もう一度  を押します。





HINT

- CLEAR 画面で  を回して、消去するインストゥルメントを選択することもできます。ここで「All Instruments」を選択すると、シーケンス全体を消去します。
- SCALE レイアウトの場合、消去の対象はノートになります。ここで「All Notes」を選択すると、SCALE レイアウトのシーケンス全体を消去します。
- PAD レイアウトでインストゥルメントを消去した場合、SCALE レイアウトで入力したノートもすべて消去されます。

3.  を押す

確認のメッセージが表示されます。

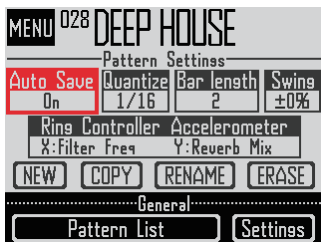
4.  で Yes を選択して、 を押す

選択したインストゥルメントに登録したシーケンスがすべて消去されます。

パターンの設定

パターンにはオートセーブ、クオンタイズ、パターンの長さ、Swing、リングコントローラーの加速度センサーの使用方法などの設定があります。

これらの設定はパターンごとに記録されます。








オートセーブの設定

音色やエフェクトを編集した結果を、パターンに記録するかどうかを設定することができます。

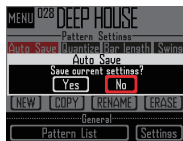
オートセーブが Off (LOCK) の場合、音色やエフェクトを編集しても結果はパターンに記録されず、ソングやルーパーモードに移動したり、別のパターンを選択すると編集内容は破棄されます。また、シーケンスの記録はできなくなります。

ライブパフォーマンスなどで音色を変えたいが記録したくない場合や、パターンの設定を変えたくない場合に便利です。

1.  を押す
2.  で Auto Save を選択して、 を押す
3.  でオートセーブの設定を行い、 で決定する

NOTE

オートセーブを Off (LOCK) から On にすると、現在の設定を保存するかどうかの確認画面が表示されます。No を選んだ場合、現在の設定は保存されず、次の変更から保存されます。



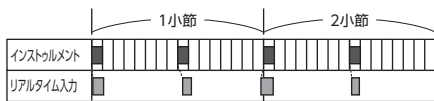
クオンタイズの設定

シーケンスに入力できる最短の音符の長さを設定します。

リアルタイム入力のタイミングを揃えるタイミングがここで設定されます。

キャプチャー機能を使用するとき、Capture with metronome 機能が有効であれば、ここで設定したクオンタイズのタイミングでキャプチャーが開始されます。

クオンタイズ 1/16 の場合



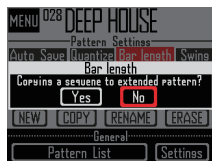
※タイミングがずれていても16分音符単位に揃えられます

パターンの長さの設定

パターンの長さを変更することができます。2から8小節の範囲で指定できます。

パターンを長くする場合、今まで入力していたシーケンスを、延長した部分にコピーすることもできます。

パターンを短くした場合、入力済みのシーケンスは消去されません。



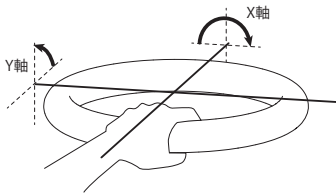
Swing の設定

スウィング量（リズムの跳ね具合）を設定することができます。

± 50%の範囲で指定できます。

リングコントローラーの加速度センサーの設定

リングコントローラーの加速度センサーを使用して、エフェクトのパラメーターや、INSTモードで、、、によりコントロール可能なパラメーター（クイックアクセス機能 → P.92）、アルペジエーターで発音する音階や繰り返しのスピードをコントロールすることができます。リングコントローラーを傾ける操作に合わせてパラメーターが変化します。



NOTE

- ・リングコントローラーのグリップエリアを設定した場合に使用できます。（→ P.119）
- ・X軸・Y軸の方向は、グリップエリアの位置を基準にして自動的に設定されます。
- ・リングコントローラーに強い衝撃を与えないようにしてください。

■パラメーターの割り当て

1. Ring Controller Accelerometer

を選択する。

X軸に割り当てるパラメーターの設定画面が表示されます。



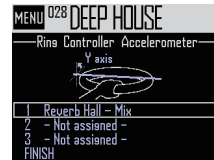
2. で X 軸に割り当てるパラメーター 1～3 を選択して、 を押す

3. で割り当てるパラメーターを選択して、 を押す

4. X 軸に割り当てるパラメーターを設定したら、NEXT を選択して、

を押す

Y 軸に割り当てるパラメーターの設定画面が表示されます。



5. X 軸と同様に、Y 軸に割り当てるパラメーターを設定したら、FINISH

を選択して を押す

リングコントローラーを使用してコントロールするパラメーターの設定が終了します。

NOTE

パターンセッティング画面では割り当てたパラメーターのうち一番小さい番号のパラメーターが表示されます。

2つ以上のパラメーターを割り当てた場合、パラメーター名の隣に“+”が表示され、複数のパラメーターが割り当てられていることを示します。

パターンの設定のつづき

■リングコントローラーを使った操作


1. リングコントローラーをベースステーションから取り外す

2. リングコントローラーのグリップエリアを設定する

グリップエリアの設定 (→ P.119)

3. リングコントローラーを傾けて、割り当てたパラメーターをコントロールする

エフェクトのパラメーターを割り当てた場合は、エフェクトのキーを押して ON にしてください。

アルペジエーターのパラメーターを割り当てた場合は、 を押してアルペジエーターを ON にしてください。角度や方向に応じて、パラメーターが変化します。

リングコントローラーに割り当て可能なパラメーターの一覧

Filter - Frequency
Filter - Resonance
Filter - Level
Mono Delay - Time
Mono Delay - Feedback
Mono Delay - Mix
Stereo Delay - Time
Stereo Delay - Feedback
Stereo Delay - Mix
Reverse Delay - Time
Reverse Delay - Feedback
Reverse Delay - Mix
Reverb Hall - Decay
Reverb Hall - Tone
Reverb Hall - Mix
Reverb Room - Decay
Reverb Room - Tone
Reverb Room - Mix
Reverb Plate - Decay
Reverb Plate - Tone
Reverb Plate - Mix
nn Quick Access 1 *
nn Quick Access 2 *
nn Quick Access 3 *
Arpeggiator - Note Shift
Arpeggiator - RepeatRate

ルーパーモードの時には割り当てられません。

HINT


- ・ “nn” にはインストゥルメント番号が入ります (1 ~ 32)
- ・ Arpeggiator - Note Shift を割り当てると、アルペジエーターで発音中のノートがリングコントローラーの傾きに応じて変化します。ノートはそれぞれのインストゥルメントの SCALE レイアウトで設定されているスケールに応じた音階で変化します (→ P.31)。
- ・ Arpeggiator - Repeat Rate を割り当てると、アルペジエーターの発音タイミングの速さがリングコントローラーの傾きに応じて変化します。アルペジエーターの Style が “Sequence” 以外の時で、“Pattern” が 1/1 ~ 1/32 の設定の時のみ有効になります。

パターンの管理

新しいパターンの作成や、選択中のパターンのコピー、消去などを行います。

パターンの管理



1.  を押す

2.  で実行したい内容を選択して、

 を押す

NEW、COPY、RENAME、ERASE が
選択できます。


■ パターンの新規作成 (New)

-  で NEW を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。



HINT



文字入力画面の操作 (→ P.21)

- パターン名を編集してから [Enter] を選択して、 を押す
編集した名前新しいパターンが作成されます。
新規作成後は作成したパターンが選択されます。





NOTE

パターンは空いているパターン番号のうち一番小さい番号に作成されます。
空のパターンがない場合、新規作成を行うことはできません。



■ パターンのコピー (Copy)

-  で COPY を選択して、 を押す
コピー先のパターンの選択画面が表示されます。




-  でコピー先のパターンを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したパターンの内容を、後で選択したパターンに上書きコピーします。
コピー後はコピーしたパターンが選択されます。

■ パターン名の変更 (Rename)





-  で RENAME を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→ P.21)

- パターン名を編集してから [Enter] を選択して、 を押す
パターン名が変更されます。

■ パターンの消去 (Erase)



-  で ERASE を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
パターンを消去します。

■パターンリストからパターンを読み込む

み込む

-  を押す
-  で Pattern List を選択して、 を押す



-  で読み込みたいパターンを選択して、 を押す
- 選択されたパターンが読み込まれます。

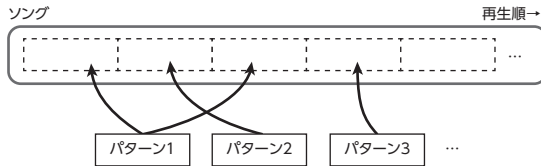
HINT

パターンを再生中の場合、現在再生されているパターンの再生後に切り替わります。

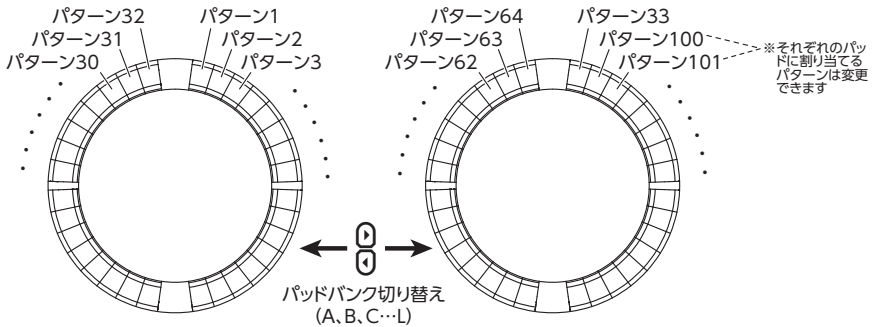
SONG モード

SONG モードの概要

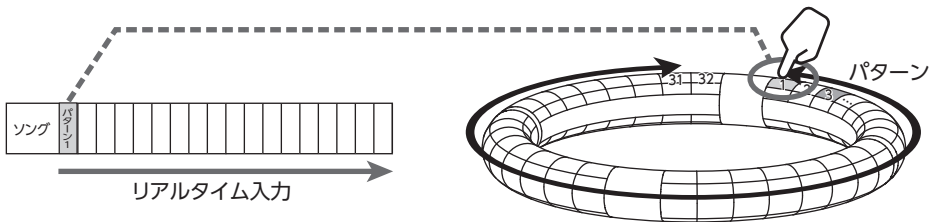
SONG モードでは、作成した複数のパターンを組み合わせることで一つの曲（ソング）を完成させます。



リングコントローラーのパッドには 32 のパターンを割り当てられます。
トップリング、サイドリング、ボトムリングはそれぞれ同じパターンが割り当てられます。
それぞれのパッドに割り当てるパターンは変更することが可能です。
また、SONG モードには A から L のパッドバンクが用意されており、バンクを切り替えることで異なる 32 のパターンをリングコントローラーに割り当てることができます。

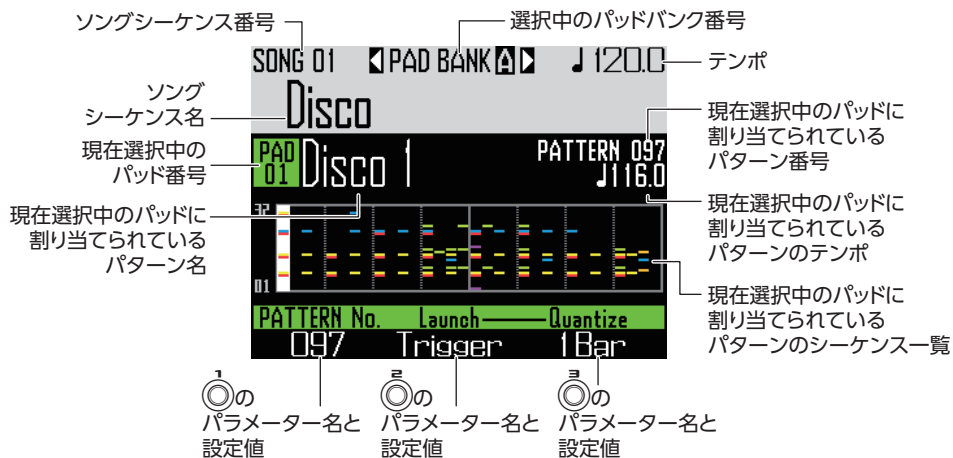


準備ができればリアルタイム入力を開始し、再生するパターンのパッドを叩きます。



SONG モードの概要のつづき

画面の説明



操作の流れ

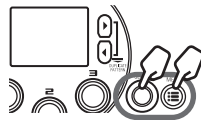
SONGモードに入る

SONGを押して、SONGモードに入ります。



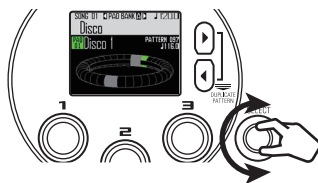
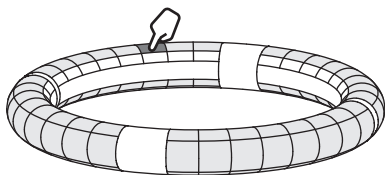
ソングを選ぶ

MENUを押して、**SELECT**でSong Sequence Listを選択します。ソングシーケンスリストの中から**SELECT**と**SELECT**でソングシーケンスを選びます。



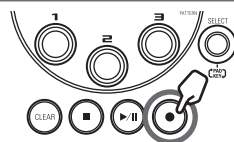
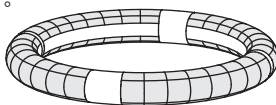
再生するパターンを選ぶ

必要に応じて、**0**を押してパッドバンクを切り替えます。



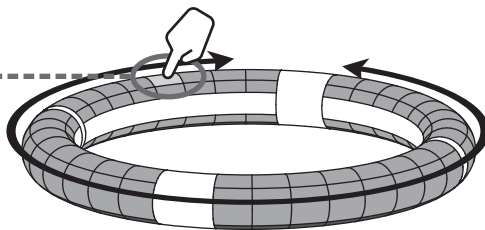
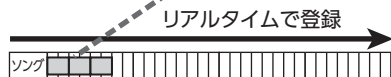
入力を開始する

0を押すとリアルタイム入力が始まります。



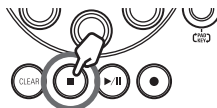
ソング作成

再生するパターンのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。




入力を終了する

0を押すとソングの入力が終了します。

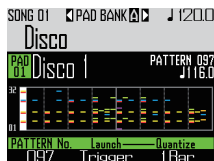


ソングの作成


パッドへのパターンの登録


1. パッドを叩くか、 でパッドを選択します。

選択されたパッドに割り当てられているパターンがLCD画面に表示され、パターンが再生されます。



HINT

- ・リングコントローラーのパッドを叩くと、パターンの選択と試聴を同時に行えます。
- ・**SONG** を押しながらパッドを叩くと、パターンを再生せずにパッドを選択することができます。
- ・パッドを選択した状態で  を押しと、そのパターンの設定画面を表示できます。(→ P.47)

2.  で、パターン番号を選択する

選択した番号のパターンがパッドに割り当てられます。

パッドバンクを切り替える

パッドバンクを切り替えて、32のパターンのパッドへの割り当てを変更することができます。

1.  を押す

パッドバンクが切り替わり、そのパッドバンクに登録された32のパターンがリングコントローラーに割り当てられます。



リアルタイム入力


1. を押す

カウントが開始されます。

2. CONTROLLER パッドを叩き、再生するパターンを指定する

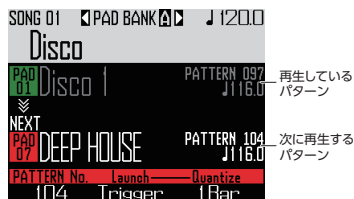
叩いたパッドは、パターンのアニメーションタイプの設定 (→ P.59) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、叩いたパッドは明るく点灯します。
- ・アニメーションが1つでも設定されている場合、叩いたパッドはアニメーション表示されるか、パターン色で点灯します。
- ・ のパターン再生方法の設定 (→ P.59) によって、パターン再生後の動作が異なります。

3. CONTROLLER 続けてパッドを叩き、パターンを切り替える

パターンが切り替わるまで以下の画面が表示されます。



HINT

- ・パターンの切り替わるタイミングは、パターンのクオンタイズ設定とパターンの再生方法の設定 (→ P.59) によって異なります。
- ・ソングの小節数は最大 999 です。これを超えるとソングの作成は停止します。

4. すべてのパターン再生が終わったら、 を押す


ソングの作成が終了します。

ソングの再生

1. を押す

ソングの再生が開始されます。

HINT

- ・ソングの再生中、リングコントローラーで再生中のパターンのインストゥルメントを演奏することができます。
- ・ で PAD レイアウト、SCALE レイアウトを切り替えることもできます。



2. 一時停止するには、 を押す

 が点滅します。

再開するには、再度  を押します。

3. 再生を終了するには、 を押す

再生が終了し、再生位置が先頭に戻ります。


NOTE

ソングの再生中に変更したサウンドパラメーターはパターンに記録されません。

ソングシーケンスの消去

1. を押す

LCD画面に確認メッセージが表示され、

 が点灯します。

2. で Yes を選択する

ソングシーケンスが消去されます。

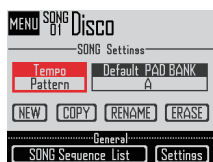
ソングの設定



テンポの同期設定

ソングを再生する時のテンポを、パターンごとの設定に合わせるか、ソング全体で統一するかを設定します。

1.  を押す

2.  で Tempo を選択して、 を押す



3.  で同期の種類を選択して、 を押す



Song : 全体のテンポを統一します。
Pattern : パターンごとのテンポを使用します。

最初に選択されるパッドバンクの設定

ソングモードに移動したときやソングシーケンスを読み込んだときに、最初に選択されるパッドバンクを選択します。

1.  を押す

2.  で Default PAD BANK を選択して、 を押す

3.  でパッドバンクを選択して、 を押す
A ~ L の中から選択できます。

ミキシング

1.  を押す



ミキサー画面が表示されます。
INPUT 端子から入力された音声のセンドエフェクトおよび STEREO/MONO の設定ができます。

HINT


ミキサー (→ P.100)

パターンの設定

■パターン再生方法の設定

パターン再生後の動作を設定できます。

1.  **CONTROLLER** パッドを選択する



2.  で再生方法を変更する

One Shot: 1 回だけパターンを再生し、停止します。

Trigger: 次のパターンを選択するか、STOP キーを押すまで同じパターンをループ再生し続けます。

Toggle: パッドを叩くたびにパターンの再生・停止を交互に行います。パターンの停止中は、無音の状態が録音が継続されます。

■パターンを切り替えるときのクオンタイズ設定

1.  **CONTROLLER** パッドを選択する
2.  でクオンタイズを変更する

HINT

クオンタイズは以下の場合にかかります。

- ・パターンを切り替えたとき (切り替え先のクオンタイズが有効)
- ・Toggle を停止したとき

■パッドカラーの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■LED アニメーションタイプの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)



■LED アニメーションタイミングの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

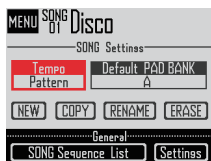
ソングシーケンスの管理

ソングシーケンスの管理



1.  を押す

2.  で実行したい内容を選択して、
 を押す

NEW、COPY、RENAME、ERASE が
選択できます。




■ソングシーケンスの新規作成 (New)

•  で NEW を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。

HINT



文字入力画面の操作 (→ P.21)



• シーケンス名を編集してから [Enter] を選
択して、 を押す
編集した名前での新しいソングシーケンスが
作成されます。
新規作成後は作成したソングシーケンスが
選択されます。



NOTE

ソングシーケンスは空いているソングシーケ
ンス番号のうち一番小さい番号に作成されま
す。
空のソングシーケンスがない場合、新規作成
を行うことはできません。



■ソングシーケンスのコピー (Copy)

•  で COPY を選択して、 を押す
コピー先のソングシーケンスを選択する画
面が表示されます。

•  でコピー先のソングシーケンスを選択
して、 を押す
確認画面が表示されます。


•  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したソングシーケンスの内容を、
後で選択したソングシーケンスに上書きコ
ピーします。
コピー後はコピー先のソングシーケンスが
選択されます。

■ソングシーケンス名の変更 (Rename)



•  で RENAME を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。



HINT

文字入力画面の操作 (→ P.21)

• ソングシーケンス名を編集してから [Enter]
を選択して、 を押す
ソングシーケンス名が変更されます。

■ソングシーケンスの消去 (Erase)

•  で ERASE を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。

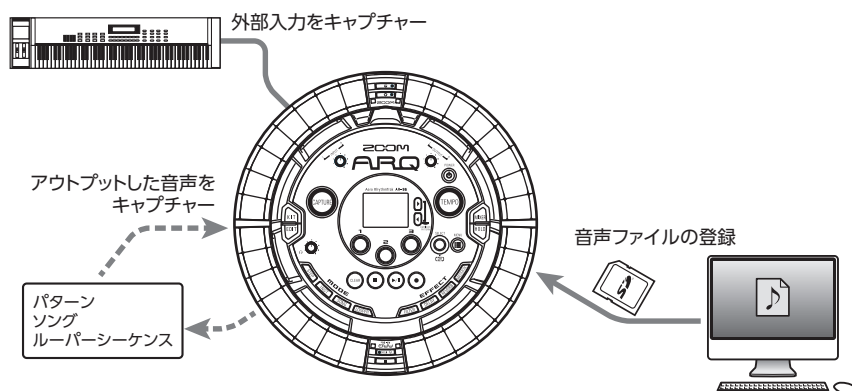
•  で Yes を選択して、 を押す
ソングシーケンスを消去します。

キャプチャー

キャプチャーの概要

AR-96 の各モードで再生中の音声や、INPUT 端子からの入力をキャプチャー（録音）できます。キャプチャーした音声はインストゥルメントとして使用したり、LOOPER モードで使用することができます。

また、SD カードに保存した WAV ファイルを、キャプチャーした音声と同様に使用することもできます。



HINT

- ・ LOOPER モードでは 96 個までのキャプチャーをパッドに割り当てて演奏することができます。
- ・ インストゥルメントとして使用できるキャプチャーは合計で 6 分（モノラルの場合 12 分）までとなります。

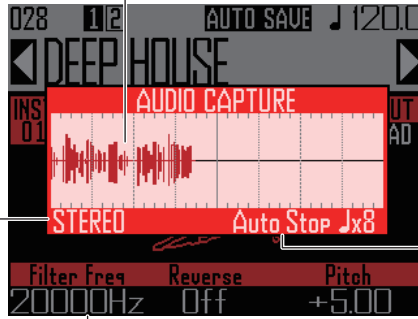
NOTE

キャプチャーした音声のデータは SD カード内に保存されます。SD カードを取り外したり、別の SD カードと入れ替えるとキャプチャーが使用できなくなりますのでご注意ください。

キャプチャーの概要のつづき

画面の説明

キャプチャー中の波形



ステレオ/モノラル設定

オートストップ
設定時に表示

キャプチャー中でもパラメーター
を操作したりパターンを切り替え
することができます

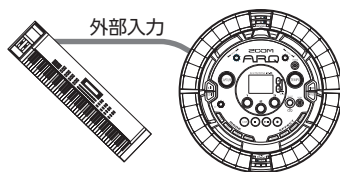
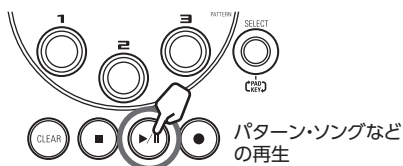
操作の流れ

キャプチャーの設定をする

- ステレオ/モノラルの設定をする
……ステレオ/モノラルの切り替え(→P.69)
- あらかじめ決められた拍数でキャプチャーを自動的に終了させる
……オートストップを使用する(→P.69)
- プリカウントやガイドフリックを聴きながらキャプチャーを行う
……Capture with METRONOMEを使用する(→P.70)

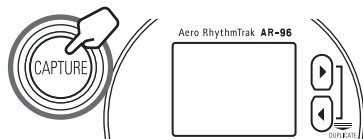
キャプチャー素材を再生する

- キャプチャー素材として使用するパターンやソングなどを再生します。
- INPUT 端子に接続した音源から入力します。




キャプチャーを開始する

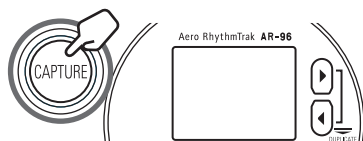
を押してキャプチャーを開始します。



キャプチャーを終了する

もう一度 を押してキャプチャーを終了します。

キャプチャー終了後に表示される設定画面で、パッドに割り当てて発音させる範囲などの設定を行うこともできます。



保存する

キャプチャーした音声をインストゥルメントとして使用するか、LOOPERモードで使用するかを選択し、保存します。キャプチャー名の変更や、インストゥルメントやLOOPERモードで使わずにSDカードへの保存のみを行うこともできます。



音声をキャプチャーする

内蔵音源のキャプチャー


1. キャプチャーするパターン、ソングなどを再生する

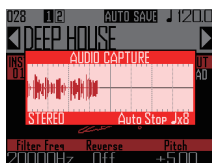
HINT

INPUT 端子に音声を入力しながら行うことで、両方の音をミックスしたキャプチャーができます。

2.  を押す


キャプチャー画面が表示され、キャプチャーが開始されます。

 を押すとキャンセルします。



HINT

- ・最大でステレオ 6 分間、モノラル 12 分間のキャプチャーが可能です。
- ・Capture with METRONOME の設定を行うと、キャプチャーが始まるタイミングを、拍などのタイミングに補正することができます。(→P.70)
- ・キャプチャー中にエフェクトの ON/OFF やパラメーターの操作、パッドでの演奏、パターンの変更などを行うと、その変化を記録することができます。

3. 音声をキャプチャーしたら、 を押す

キャプチャー設定画面が表示され、キャプチャーの調整と保存を行うことができます。(→P.65)

外部入力 of キャプチャー

1. ベースステーションの INPUT 端子に、キャプチャー素材の楽器やオーディオ機器などを接続する


HINT

外部入力 that モノラル音源の場合、外部入力のステレオ/モノラル設定を確認してください。(→P.103)

2. 接続した機器で演奏や再生を開始する

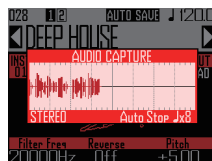
INPUT ボリュームを操作して入力レベルを調整してください。

NOTE

入力レベルが大きすぎる場合は、 が素早く点滅します。


3.  を押す

キャプチャー画面が表示され、キャプチャーが開始されます。



HINT

Capture with METRONOME を使用することでプリカウントを設定したり、ガイドリックを設定することができます。(→P.70)

4. 音声をキャプチャーしたら、 を押す

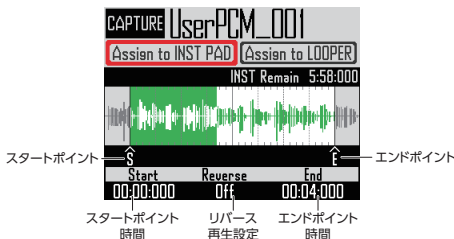
キャプチャー設定画面が表示され、キャプチャーの調整と保存を行うことができます。

音声をキャプチャーするのつづき

キャプチャーの調整と保存

音声のキャプチャーが終了すると、キャプチャー設定画面が表示され、キャプチャーした音声が入力再生されます。

ここで、キャプチャーした音声の編集を行います。



HINT

- で再生と一時停止を切り替えます。
- で再生を停止し、再生位置をスタートポイントに戻します。
- リングコントローラーの1周はスタートポイントからエンドポイントに対応します。
- で再生中にパッドを叩くと、叩いた位置からループ再生を行います。停止中にパッドを叩くと、叩いた位置に割り当てられている範囲のみを再生します。
- 再生時には、キャプチャーの再生位置に対応してプレイバックポジションが点灯します。

■キャプチャーした音声をインストゥルメントとしてパッドに割り当てるために編集する

キャプチャーした音声を INST モードなどで使用するためには以下の設定を行います。

1. で Assign to INST PAD を選択する

2. 、 でパッドに割り当てるキャプチャーの範囲を決める

: スタートポイント

キャプチャーの再生開始位置を変更します

: エンドポイント

キャプチャーの再生終了位置を変更します

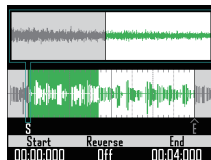
NOTE

画面に表示されている INST remain はパッドに割り当てることができる残り時間です（ステレオで最大6分、モノラルで最大12分）。この時間を超えるキャプチャーをパッドにアサインすることはできません。

他のパッドに割り当てられているキャプチャーを選択から外すか、スタートポイントからエンドポイントの間を短くしてください。



スタートポイントやエンドポイントを設定している間、画面にはそれぞれのポイントの波形が拡大して表示されます。





HINT

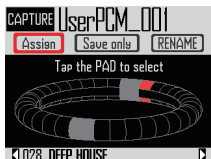
- いずれかのモードキー、、 を押すとキャプチャーの編集を中止し、元の画面に戻ります。
- キャプチャーの開始、終了時点の前後500msの範囲からスタートポイント、エンドポイントを設定することができます。

3. でキャプチャーの再生方向を決める

パラメータが On の場合、逆再生を行います。

4. で Assign to INST PAD を選択して、 を押す

キャプチャーした音声を割り当てるパッドを選択する画面が表示されます。
MENU  または CLEAR  を押すと直前の画面に戻ります。



5. キャプチャーした音声の名前を変えるには で RENAME を選択して、 を押す

キャプチャーした音声の名前を編集することができます。

6. キャプチャーした音声を割り当てるパターンを選択するには を押す

画面下部に表示されているパターン名が変化します。

7. パッドを叩き、割り当てるパッドを選択する

パッドを叩くと現在のインストゥルメントを試聴できます。

8. パッドに割り当てずに SD カードに保存する場合は、 で Save only を選択して、 を押す

キャプチャーした音声は SD カードに WAV ファイルとして保存されます。あとからインストゥルメントとして使用したり、LOOPER モードで使用することも可能です (→ P.71)。

9. パッドに割り当てる場合は、 で Assign を選択して、 を押す

選択されたパッドにキャプチャーした音声割り当てられます。同時に SD カードに WAV ファイルとして保存されます。

HINT



- ・キャプチャーした音声は SD カードの“AR-96”フォルダ内の“Capture”フォルダに保存されます。
- ・キャプチャー名がそのままファイル名になります。
- ・パッドに割り当てたキャプチャーは、内蔵のインストゥルメントと同じようにエンベロープやフィルターなどの設定ができます。


音声をキャプチャーするのつづき

■キャプチャーした音声を LOOPER モードで使用するために編集する

キャプチャーした音声を LOOPER モードで使用するためには以下の設定を行います。

1.  で Assign to LOOPER を選択する

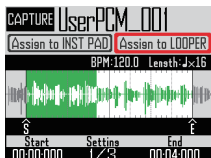
2. 、 でパッドに割り当てるキャプチャーの範囲を決める

 : スタートポイント


キャプチャーの再生開始位置を変更します

 : エンドポイント

キャプチャーの再生終了位置を変更します



スタートポイントやエンドポイントを設定している間、画面にはそれぞれのポイントの波形が拡大して表示されます。

3.  を使用して次のセッティングを表示させる

以下の設定を行うことができます。

BPM: キャプチャーのテンポを Setting 2 画面の  で設定します。



Length: キャプチャーの長さを Setting 2 画面の  で設定します。

Reverse: キャプチャーの再生方向を Setting 3 画面の  で設定します。



NOTE

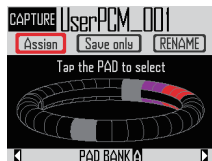
BPM、Length が設定されていない場合、LOOPER モードのテンポシンク機能(→P.95)は使用できません。

この設定は後から行うこともできます。

4.  で Assign to LOOPER を選択して、 を押す


キャプチャーした音声を割り当てるパッドを選択する画面が表示されます。

 または  を押すと直前の画面に戻ります。



5. キャプチャーした音声の名前を変えるには  で RENAME を選択して、 を押す

キャプチャーした音声の名前を編集することができます。

6. キャプチャーした音声を割り当てるパッドバンク(→P.71)を選択するには  を押す

画面下部に表示されているパッドバンクが変化します。

7. パッドを叩き、割り当てるパッドを選択する


すでにキャプチャーが割り当てられているパッドは設定された色で点灯します。点灯していないパッドが選択可能で、選択したパッドは白く点灯します。

8. パッドに割り当てずに SD カード

に保存する場合は、 で Save
only を選択して、 を押す

キャプチャーした音声は SD カードに
WAV ファイルとして保存されます。
あとからインストゥルメントととして
使用したり、LOOPER モードで使用す
ることも可能です (→P.71)。

9. パッドに割り当てる場合は、

で Assign を選択して、 を押す

選択されたパッドにキャプチャーした
音声は割り当てられます。
同時に SD カードに WAV ファイルと
して保存されます。

NOTE



パッドが選択されていない場合、Assign は選
択できません。



キャプチャーの設定


オートストップの設定



キャプチャを開始後、一定のタイミングで自動終了するように設定できます。

1. を押す

2. で Settings を選択して、を押す

3. で CAPTURE を選択して、を押す

4. で Auto Stop を選択して、を押す

5. で タイミング を選択して、を押す

OFF、四分音符×1～32 から選択できます。







ステレオ／モノラルの切り替え



保存するキャプチャ音声のステレオ／モノラルを切り替えます。



ステレオで最大6分、モノラルで最大12分のキャプチャーを行うことができます。

1. を押す

2. で Settings を選択して、を押す

3. で CAPTURE を選択して、を押す

4. で Stereo/Mono を選択して、を押す

5. で設定を切り替え、を押す
Stereo、Mono から選択できます。





キャプチャーの設定のつづき



メトロノーム音に合わせて キャプチャーを行う



プリカウントやガイドクリックを聴きながら
キャプチャーを行うことができます。



再生中のパターンをキャプチャーするときなど、
パターンの先頭とキャプチャーの開始タイ
ミングを揃えるときに便利です。

1. を押す

2. で Settings を選択して、
を押す

3. で CAPTURE を選択して、
を押す

4. で Capture with
METRONOME を選択して、
を押す

5. で On を選択して、を押
す

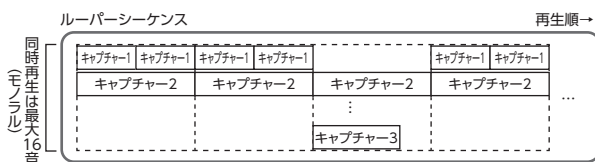
キャプチャーを行うときにメトロノ
ーム機能が有効になります。(メトロノ
ームの設定→P.35)

この機能が有効になると、CAPTURE
キーを押してから実際にキャプチャー
が始まるタイミングはパターンセッ
ティングのクオンタイズに揃えられま
す。(→P.47)

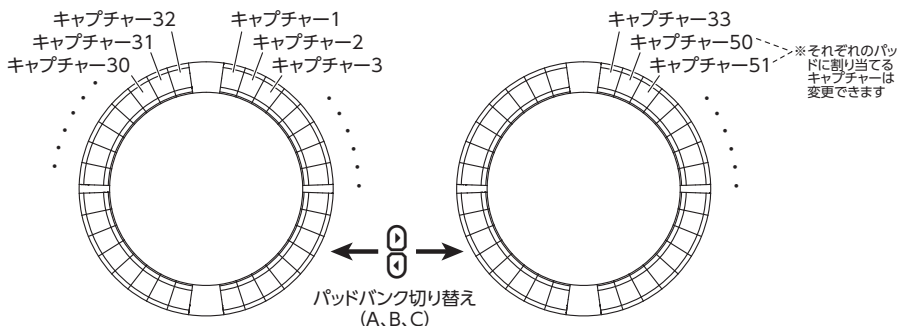
LOOPER モード

LOOPER モードの概要

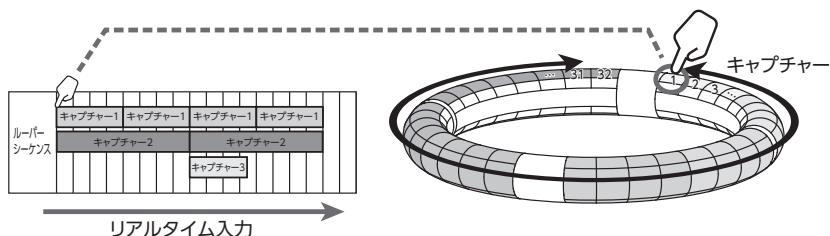
LOOPER モードでは、作成済みのパターンやソング、INPUT 端子からの入力、WAV ファイルなどのキャプチャー素材を組み合わせ、ルーパーシーケンスとしてひとつの曲にまとめることができます。



リングコントローラーのパッドには 32 のキャプチャーを割り当てられます。パッドに割り当てるキャプチャーは変更することが可能です。また、トップリング、サイドリング、ボトムリングにはそれぞれ同じキャプチャーが割り当てられます。LOOPER モードには A、B、C のパッドバンクが用意されており、バンクを切り替えることで異なる 32 のキャプチャーをリングコントローラーに割り当てることができます。



準備ができたらリアルタイム入力を開始して、再生するキャプチャーのパッドを叩きます。最大で 16 のモノラルキャプチャーを同時に再生することができます。

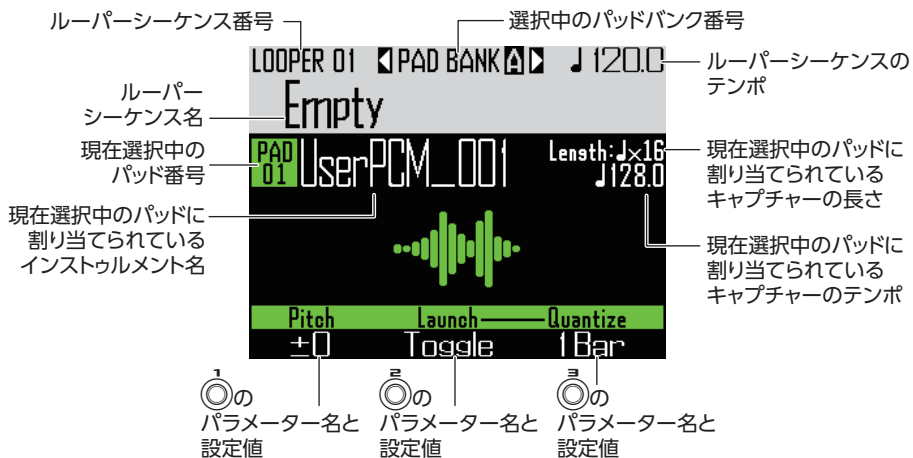


HINT

キャプチャーの作成方法についてはキャプチャー (→ P.61) を参照してください。

LOOPER モードの概要のつづき

画面の説明



操作の流れ

LOOPERモードに入る

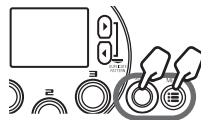
LOOPERを押して、LOOPERモードに入ります。



ルーパーシーケンスを選ぶ

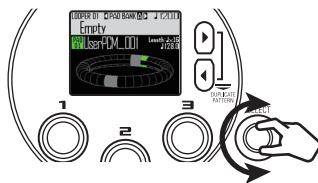
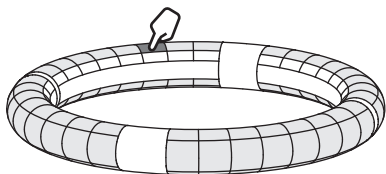
MENUを押して、SELECTでLooper Sequence Listを選択します。

ルーパーシーケンスリストからSELECTとSELECTでルーパーシーケンスを選びます。



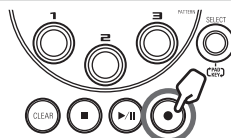
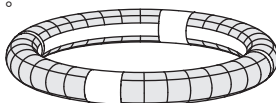
再生するキャプチャーを選ぶ

必要に応じて、PUSHを押してパッドバンクを切り替えます。



入力を開始する

STARTを押すとリアルタイム入力が始まります。

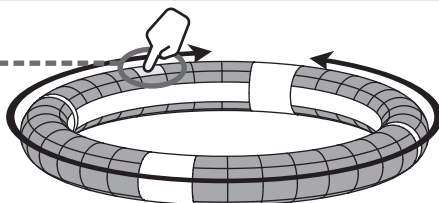


ルーパーシーケンス作成

再生するキャプチャーのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。

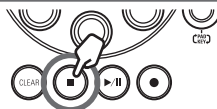
リアルタイムで登録

ルーパー シーケンス	キャプチャー-1	キャプチャー-1	キャプチャー-1	キャプチャー-1
	キャプチャー-2		キャプチャー-2	
			キャプチャー-3	



入力を終了する

STOPを押すとルーパーシーケンスの入力が終了します。



WAV ファイルをキャプチャーとしてパッドに割り当てる

SD カードに保存された WAV ファイルをパッドに割り当てることができます。

1. SDカードの“AR-96”フォルダ内の“Capture”フォルダに、登録する WAV ファイルを保存する

HINT

以下の条件を満たすファイルが登録可能です。

- ・サンプリング周波数 44.1kHz、16bit もしくは 24bit の WAV ファイル
- ・再生時間が 6 分以内（モノラルの場合 12 分以内）
- ・ファイル名は英数字のみ

WAV ファイルに Logic 形式のテンポ情報が含まれる場合は、その情報を読み込むことができます。

2. SD カードをベースステーションにセットして、電源を ON にする

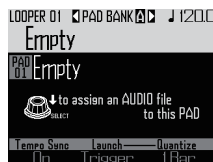
3. **LOOPER** を押す

4. パッドを叩くか **SELECT** で、消灯しているパッドを選択する

NOTE

キャプチャーが割り当てられていないパッドは消灯しています。また、すでにキャプチャーが割り当てられているパッドは設定された色で点灯しています。

選択されたパッドは白く点灯し、次のような画面が表示されます。



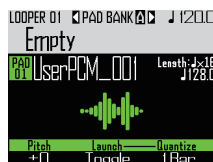
5. **SELECT** を押す

SD カードの AR-96 フォルダ内の Capture フォルダにある WAV ファイル一覧が表示されます。



6. **SELECT** で割り当てるファイルを選択して、**SELECT** を押す

パッドに WAV ファイルが割り当てられます。



ルーパーシーケンスの作成

キャプチャーの再生をルーパーシーケンスとしてリアルタイムに記録する

■パッドバンクを切り替える


それぞれのパッドバンクに異なる 32 のキャプチャーを割り当てることができます。

1. を押す

パッドバンクが切り替わり、そのパッドバンクが持つ 32 のキャプチャーがリングコントローラーに割り当てられます。




2. 点灯しているパッドを叩くか、

 でキャプチャーを選択する

選択したキャプチャー名が LCD 画面に表示され、キャプチャーが再生されます。キャプチャーが割り当てられていない場合はキャプチャーの登録を行います。(→ P.61)



HINT

- ・リングコントローラーのパッドを叩くと、パッドの選択と試聴を同時に行えます。
- ・**LOOPER** キーを押しながらパッドを叩くと、キャプチャーを再生させずにパッドを選択することができます。
- ・パッドを選択した状態で  を押すと、そのキャプチャーの設定画面を表示できます(→ P.65)

3. を押す

プリカウントが始まり、ルーパーシーケンスの記録が開始されます。

4. CONTROLLER キャプチャーが割り当てられたパッドを叩く

叩いたパッドは、キャプチャーのアニメーションタイプの設定 (→ P.77) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、叩いたパッドは明るく点灯します。
- ・アニメーションが 1 つでも設定されている場合、叩いたパッドはアニメーション表示されるか、キャプチャーの色で点灯します。
- ・キャプチャーは同時に 16 個 (モノラルの場合) まで再生できます。
- ・キャプチャーの再生モードの設定 (→ P.77) によって、キャプチャー再生後の動作が異なります。

5. CONTROLLER 続けてパッドを叩き、キャプチャーを再生する

HINT

キャプチャーの再生が始まるタイミングは、キャプチャーのクオンタイズ設定 (→ P.77) によって異なります。

6. すべてのキャプチャーの再生が終わったら、 を押す

ルーパーシーケンスの記録が終了します。

ルーパーシーケンスの再生

1. を押す

ルーパーシーケンスの再生が開始されます。


再生中のパッドは、パターンアニメーションタイプの設定 (→ P.77) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、再生中のパッドは明るく点灯します。
- ・アニメーションが1つでも設定されている場合、再生中のパッドはアニメーション表示されるか、キャプチャーの色で点灯します。

2. 一時停止するには、を押す

が点滅します。

再開するには、再度 を押します。

3. 再生を終了するには、を押す

再生が終了し、再生位置が先頭に戻ります。

ルーパーシーケンスの消去

1. を押す

LCD画面に確認メッセージが表示され、

が点灯します。

2. でYesを選択して、を押す

ルーパーシーケンスが消去されます。

ルーパーの設定

キャプチャーの設定

■キャプチャー再生方法の設定

キャプチャー再生後の動作を設定できます。

1. キャプチャーを選択する



2. で再生方法を変更する

One Shot : 1 回だけキャプチャーを再生し、停止します。

Toggle : パッドを叩くたびにキャプチャーの再生・停止を交互に行います。

Gate : パッドを押している間だけキャプチャーがループ再生され、離すと再生が停止します。

■キャプチャーのピッチの設定

1. キャプチャーを選択する

2. でピッチを変更する

■キャプチャーのクオンタイズ設定

キャプチャーを再生するときのタイミングを設定します。

1. キャプチャーを選択する

2. でクオンタイズを変更する

HINT

クオンタイズは以下の場合にかかります。

- ・キャプチャーの再生を開始したとき
- ・Gate、Toggle を停止したとき

キャプチャーの詳細設定

キャプチャーの詳細設定は EDIT 画面で行います。

■キャプチャーの同期設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■同期に必要なキャプチャーのテンポの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■同期に必要なキャプチャーの長さの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■キャプチャーレベルの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.96)

■センドエフェクトの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.96)

■キャプチャーのパッドカラーの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■LED アニメーションタイプの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■LED アニメーションタイミングの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.95)

■パッドに割り当てるキャプチャーの変更

EDIT 画面で設定します。(→ P.97)

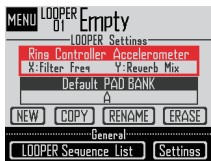
リングコントローラーの加速度センサーの設定

リングコントローラーの加速度センサーを使用して、エフェクトのパラメーターをコントロールすることができます。リングコントローラーを傾ける操作にあわせてパラメーターが変化します。

■パラメーターの割り当て

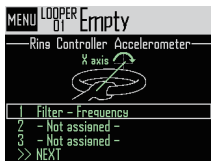
1.  を押す



選択中のルーパーシーケンスに関する設定が表示されます。





2.  で Ring Controller Accelerometer を選択して、 を押す


X 軸に割り当てるパラメーターの設定画面が表示されます。




3.  で X 軸に割り当てるパラメーター 1～3 を選択して、 を押す

4.  で割り当てるパラメーターを選択して、 を押す

5. X 軸に割り当てるパラメーターを設定する

6. NEXT を選択して、 を押す
Y 軸に割り当てるパラメーターの設定画面が表示されます。

7. X 軸と同様に、Y 軸に割り当てるパラメーターを設定したら FINISH を選択して、 を押す。

リングコントローラーを使用してコントロールするパラメーターの設定が終了します。



■最初に選択されるパッドバンクの設定

ルーパーモードに移動したときや、ルーパーシーケンスを読み込んだ時に最初に選択されるパッドバンクを選択します。

1.  を押す

2.  で Default PAD BANK を選択して、 を押す

ルーパーの設定のつづき

3.  でパッドバンクを選択して、
 を押す

A～Cの中から選択できます。

HINT

リングコントローラーの加速度センサーの設定や最初に選択されるパッドバンクの設定は、選択中のルーパーシーケンスの設定として保存されます。

ミキシング

1.  を押す

ミキサー画面が表示されます。

INPUT 端子から入力された音声のSEND エフェクトおよび STEREO/MONO が設定できます。



HINT

ミキサー (→ P.100)

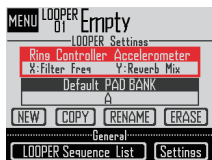
ルーパーシーケンスの管理

ルーパーシーケンスの管理



1.  を押す

2.  で実行したい内容を選択して、
 を押す

NEW、COPY、RENAME、ERASE が
選択できます。




■ルーパーシーケンスの新規作成 (New)

-  で NEW を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。

HINT







文字入力画面の操作 (→P.21)

- シーケンス名を編集してから [Enter] を選
択して、 を押す
編集した名前での新しいルーパーシーケンス
が作成されます。
新規作成後は作成したルーパーシーケンス
が選択されます。



NOTE

ルーパーシーケンスは空いているルーパー
シーケンス番号のうち一番小さい番号に作成
されます。
空のルーパーシーケンスがない場合、新規作
成を行うことはできません。

■ルーパーシーケンスのコピー (Copy)


-  で COPY を選択して、 を押す
コピー先のルーパーシーケンスを選択する
画面が表示されます。
-  でコピー先のルーパーシーケンスを選
択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したルーパーシーケンスの内容を、
後で選択したルーパーシーケンスに上書き
コピーします。
コピー後はコピーしたルーパーシーケンス
が選択されます。

■ルーパーシーケンス名の変更 (Rename)





-  で RENAME を選択して、 を押す
文字入力画面が表示されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→P.21)

- ルーパーシーケンス名を編集してから
[Enter] を選択して、 を押す。
ルーパーシーケンス名が変更されます。

■ルーパーシーケンスの消去 (Erase)

-  で ERASE を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
ルーパーシーケンスを消去します

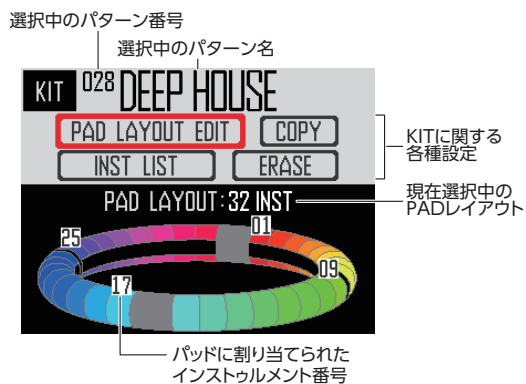
KIT (音色セット)

KIT の概要

1つのパターンには、最大で33のインストゥルメントを使用することができます。このインストゥルメントの集まりをKITといいます。

1つのパターンで作成したKITは、他のパターンにコピーが可能です。

画面の説明



PAD レイアウトの設定

PAD レイアウトを選択しているときは、リングコントローラーに割り当てるインストールメントの数を変更することができます。

初期状態では 32 のインストールメントを演奏できますが、インストールメントの数を少なくして、リングコントローラーを手に持ってタンバリンのように演奏することもできます。

1. を押す

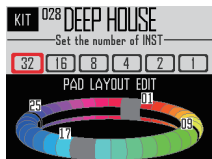
KIT 画面が表示されます。



2. で PAD LAYOUT EDIT を選択して、 を押す

リングコントローラーに割り当てるインストールメント数の選択画面が表示されます。

 を押すと直前の画面に戻ります。



3. で割り当てるインストールメントの数を選擇する

32、16、8、4、2、1 の中から選擇できます。

HINT

32 以外を選擇した場合、インストールメント番号 1 から、選擇した数までのインストールメントがパッドに割り当てられます。

例えば 4 を選擇した場合、インストールメント番号 1 から 4 ままでがパッドに割り当てられます。

パッドに割り当てるインストールメントの内容を変更したい場合は、SWAP 機能を利用してインストールメントを入れ替えてください (→ P.83)。

インストゥルメントの管理

インストゥルメントをコピーしたり、位置を入れ替えたりすることができます。

1. を押す

KIT 画面が表示されます。



2. で INST LIST を選択して、 を押す

選択中のパターンで使用しているインストゥルメント一覧が表示されます。



HINT

PAD レイアウトが 32 以外の場合、リングコントローラーに割り当てられているインストゥルメントにはチェックマークが表示されます。



3. で管理するインストゥルメントを選択して、 を押す

 を押すとインストゥルメント一覧に戻ります。







■ インストゥルメントのコピー (Copy)

インストゥルメントを別のパッドにコピーします。同じ音色でピッチなどのパラメーターが違うものを使いたいときに便利です。







-  で COPY を選択して、 を押す
コピー先のインストゥルメントを選択する画面が表示されます。



-  でコピー先のインストゥルメントを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したインストゥルメントの内容を、後で選択したインストゥルメントに上書きコピーします。
コピーされたインストゥルメントの番号は変更されません。

■ インストゥルメントのスワップ (Swap)





2つのインストゥルメントの、パッド上での位置を入れ替えることができます。

-  で SWAP を選択して、 を押す
入れ替えるインストゥルメントの選択画面が表示されます。
-  で入れ替え先のインストゥルメントを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したインストゥルメントの位置と、後で選択したインストゥルメントの位置が入れ替わります。

NOTE

インストゥルメントの番号は変更されません。

■インストゥルメントの消去 (Erase)

-  で ERASE を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
インストゥルメントのオシレーターは OFF となり、すべてのパラメータが初期状態になります。

KIT の管理

1つのパターンで作成したKITを他のパターンにコピーしたり、KIT内のすべてのインストゥルメントを消去することができます。

1. を押す

KIT 画面が表示されます。





2. で実行したい内容を選択して、 を押す



COPY、ERASE が選択できます。



■KITのコピー (Copy)

現在のKITを別のパターンにコピーします。

-  で COPY を選択して、 を押す
コピー先のパターンを選択する画面が表示されます。







-  でコピー先のパターンを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。

-  で Yes を選択して、 を押す
現在のKITが選択されたパターンにコピーされます。

■KITの消去 (Erase)

現在のKITに含まれるインストゥルメントをすべて消去します。


-  で ERASE を選択して、 を押す
確認画面が表示されます
-  で Yes を選択して、 を押す
すべてのインストゥルメントのオシレーターが OFF になり、パラメーターは初期状態になります。

EDIT (音色の編集)

EDIT の概要

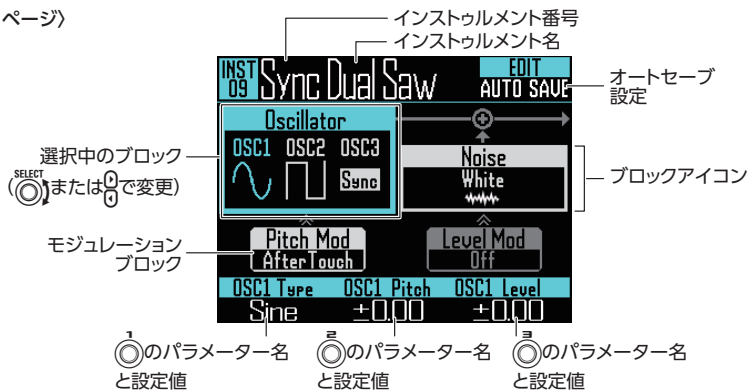
音色を編集する場合は、EDIT 画面を使用します。
音色編集は、STEP モードまたは INST モードの選択時に行えます。

HINT

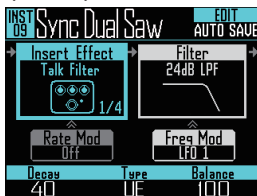
- ・ SONG モードおよび LOOPER モードの EDIT 画面ではモードに応じた設定が行えます。(→ P.94)
- ・ インストゥルメント番号 33 の音色を編集する場合は、STEP モードでインストゥルメント番号 33 を選択してから  を押してください。

画面の説明

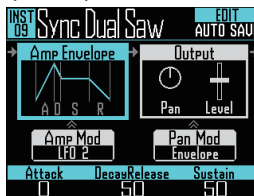
(1ページ)



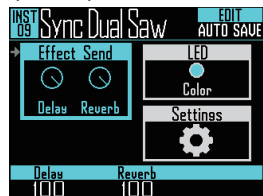
(2ページ)



(3ページ)

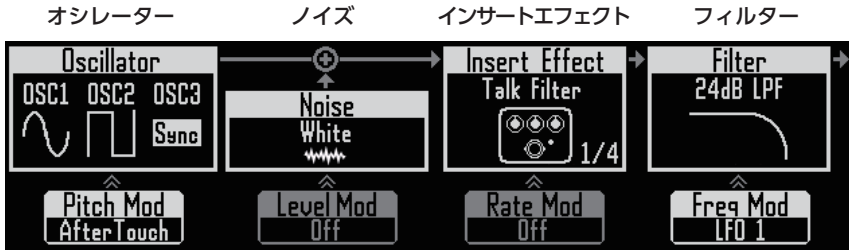


(4ページ)



ブロック構成

EDIT 画面では次のようなブロック構成で音色を編集します。



インストゥルメントの音色を選択します。内蔵音源やキャプチャーした音声、SD カードから読み込んだ WAV ファイルが選択できます。各音色のパラメーターについてはオシレーター一覧 (→ P.133) を参照してください。

音色にノイズを付け加えることができます。

エフェクトで音色を加えることができます。KIT 内で使用できるエフェクトは最大 4 つです。

フィルターで音色を加えることができます。

(下段) オシレーターピッチのモジュレーション
オシレーターのピッチをエンベロープや LFO で変化させます。

(下段) ノイズレベルのモジュレーション
ノイズのレベルをエンベロープや LFO で変化させます。

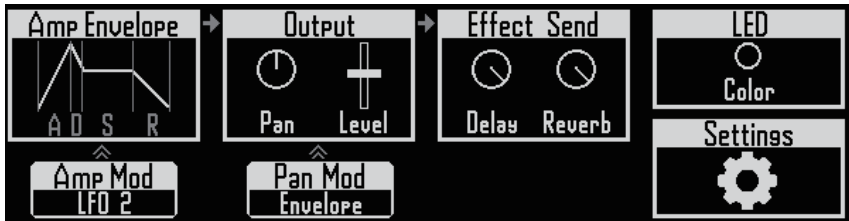
(下段) インサートエフェクトのモジュレーション
インサートエフェクトのパラメータをエンベロープや LFO で変化させます。一部のエフェクトでは使用できません。

(下段) フィルターがかかる周波数のモジュレーション
フィルターがかかる周波数をエンベロープや LFO で変化させます。

アンプエンベロープ

アウトプット

エフェクトSEND



パッドを叩いたときの音の立ち上がりの速さ、パッドを押さえているときの音のレベル、パッドを離れたときの音の減衰スピードを設定します。

パン (音の定位) やレベルを設定します。

エフェクトのディレイやリバーブに送る量を設定します。




LED
パッドの発光色や光り方を設定します。


(下段) アンプのモジュレーション
音量をエンベロープや LFO で変化させます。

(下段) Pan のモジュレーション
パンをエンベロープや LFO で変化させます。

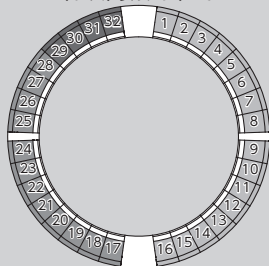
セッティング
MIDI チャンネルやクイックアクセス機能を設定します。

EDIT の開始


1.  でパターンを選択し、 で音色を編集するインストゥルメントを選択して、 を押す
EDIT 画面が表示されます。

 **CONTROLLER** INST モードの場合、編集中にパッドを叩くことで、編集対象のインストゥルメントを切り替えることができます。

インストゥルメントNo.








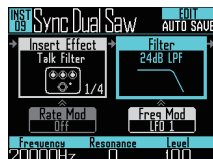
HINT

 を押しながらパッドを叩くと、発音させずにインストゥルメントを切り替えることができます。




各ブロックに共通の操作

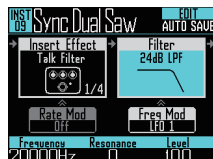
■設定項目とパラメーターの変更

1.  または  で設定を変更するブロックを選択する
画面下のパラメーター名と値が変化し、, ,  で編集できる内容が変わります。



2. , ,  でパラメーターを選択/変更する

フィルター、ノイズブロックなどのようにサブメニューがある場合には、 を押して表示します。 で設定値を選択/変更し、 を押して決定します。



HINT

ブロックメニューの詳細については、付録「EDIT メニュー・パラメーター一覧」を参照してください。(→P.133)


オシレーターブロックの設定



インストゥルメントの音色を選択します。

■内蔵音源の選択

ドラムセット、パーカッション、シンセサイザーなどの内蔵音源を選択します。


1.  を押す



2.  でオシレーターブロックを選択して、 を押す

オシレーターリストが表示されます。
 を押すと一つ上のカテゴリに移動します。
 一番上のカテゴリで  を押すと EDIT 画面に戻ります。



HINT



- ・現在選択中のオシレーターにはチェックマークが表示されます。
- ・カテゴリの移動は  キーでも行うことができます。



3.  でオシレーターを選択して、 を押す
 オシレーターが選択されます。

■キャプチャーした音声や WAV ファイル (オーディオファイル) の選択

SD カードの AR-96 フォルダ内の Capture フォルダにある WAV ファイルを選択できます。



1.  を押す

2.  でオシレーターブロックを選択して、 を押す

3.  を数回押して一番上のカテゴリを表示させて、 で Audio File を選択する

選択可能な WAV ファイルが表示されます。



4.  でファイルを選択して、 を押す

オシレーターとしてファイルが選択されます。

NOTE

オシレーターとしてオーディオファイルを選択すると、フィルターなどのパラメーターは初期値にリセットされます。

■オーディオファイルの再生

オシレーターとして使用できるオーディオファイルの合計再生時間は最大でステレオ6分、モノラル12分です。

オシレーターには以下の条件を満たすファイルが登録可能です。

- ・サンプリング周波数 44.1kHz、16bit もしくは 24bit の WAV ファイル
- ・再生時間が 6 分以内（モノラルの場合 12 分以内）
- ・ファイル名は英数字のみ

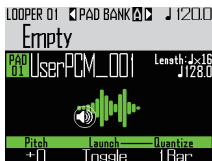
オーディオファイルはルーパーモードのように再生する方法が設定できます。

One Shot：1 回だけキャプチャーを再生し、停止します。

Toggle：パッドを叩くたびにキャプチャーの再生・停止を交互に行います。


Gate：パッドを押している間だけキャプチャーがループ再生され、離すと再生が停止します。

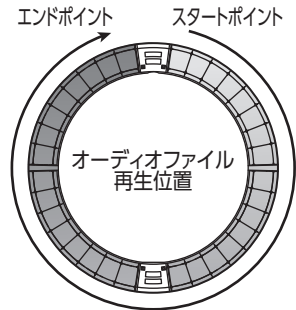
Toggle でオーディオファイルを再生しているときは次の画面になり、再生中を示すマークが表示されます。




もう一度パッドを叩くと再生を停止します。

□ で停止することも可能です。

再生方法を Toggle にした状態で  を押すと、リングコントローラーは次の図のような WAVE レイアウトに切り替わり、リングコントローラーの 1 周がオーディオファイルのスタートポイントからエンドポイントに対応します。



- ・  を押すと、オーディオファイルをループ再生します。
- ・再生中にパッドを叩くと、叩かれた位置からループ再生を行います
- ・停止中にパッドを叩くと、叩かれた位置に割り当てられている範囲のみを再生します。



NOTE

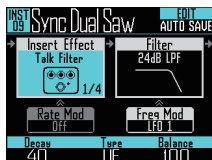
再生中に WAVE レイアウトに変更することはできません。また、WAVE レイアウト中に再生や録音を行うことはできません。



インサートエフェクトブロックの設定

インサートエフェクトを4つまで同時に使用することができます。

1.  を押す

2.  でインサートエフェクトブロックを選択して、 を押す
ブロックの内側が選択されます。



3.  でエフェクトタイプを選択して、 を押す
ブロックの外側が選択されます。

HINT

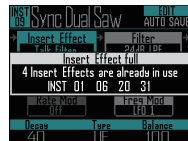
インサートエフェクトの詳細については、付録「エフェクト一覧」を参照してください。
(→P.141)

NOTE

エフェクトアイコンの右下には使用中のインサートエフェクトの数が表示されます。4つのインサートエフェクトを使用中の場合、エフェクトはそれ以上選択できません。





その場合、表示されるメッセージでエフェクト使用中のインストールメントを確認し、不要なものをOFFにしてから操作をやり直してください。

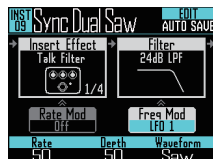


モジュレーションブロックの設定

モジュレーションブロックでは、オシレーターやフィルターなどのブロックのパラメータをエンベロープやLFOで変化させることができます。

1.  を押す

2.  でモジュレーションブロックを選択して、 を押す
ブロックの内側が選択されます。



3. でモジュレーションタイプを選択する

OFF, エンベロープ, LFO1, LFO2, アフタータッチから選択できます。

4. , , でパラメータを設定する

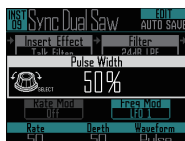
モジュレーションタイプに応じたパラメーターが設定できます。

5. 設定が終了したら、 を押す ブロックの外側が選択されます。

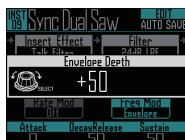
NOTE

以下の設定の場合、追加の設定が表示されます。

- ・LFOのWaveformでPulseを選んだ場合
次の画面が表示されて、パルス幅を1%から99%まで変更できます。



- ・エンベロープを選んだ場合
次の画面が表示されて、エンベロープのかけ具合を-100から+100まで変更できます。

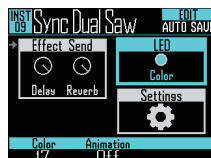


LEDブロックの設定

LCD画面やリングコントローラーのLED表示に使用する色や、パッドを叩いた時の光り方を設定することができます。

1. を押す

2. でLEDブロックを選択する



3. で色を変更する

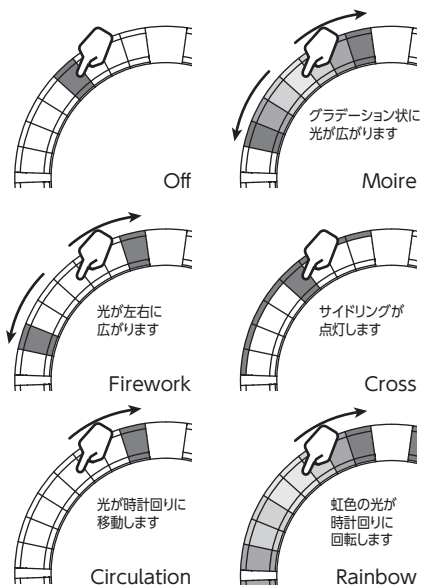
32色の中から選択できます。OFFを選択すると、LEDは点灯しません。

HINT

オシレーターを変更すると、LEDの色は自動的にオシレーターに応じた色に設定されます。

4. で使用するアニメーションを選択する

Off, Moire, Firework, Cross, Circulation, Rainbowから選択できます。



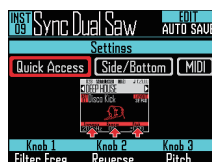
セッティングブロックの設定

クイックアクセスや MIDI の設定を行います。

1. を押す

2. でセッティングブロックを選択して、 を押す

セッティングメニューが表示されます。
 で設定する項目を選択します。

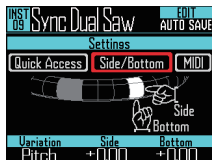


■クイックアクセス機能の設定 (Quick Access)

- で Quick Access を選択する
INST モードで 、、 に割り当てられている機能が表示されます。
- 、、 で割り当てる機能を選択する
選択された機能が INST モードで編集できるようになります。

■ リングコントローラーのサイド、ボトムリングで音色を使い分ける (Side / Bottom)

INST モードでリングコントローラーのサイド、ボトムリングを叩いた時にトップリングと異なるパラメータを割り当てることができます。叩く位置を変えることで演奏にバリエーションを持たせることができます。



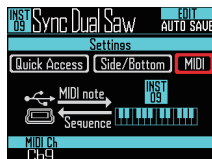
- ①、②、③ で使い分けるパラメータ、変更する量を設定する
① で選択したパラメータに対して、②、③ で設定した値だけ、サイド、ボトムリングを叩いた時に音色が変化します。

■ 選択されているパッドのMIDIチャンネルを設定する

現在選択中のパッドのMIDIチャンネルを設定します。

ここで設定したチャンネルのMIDIメッセージをUSBから受信すると、受け取ったノートナンバーに応じたピッチで、パッドに割り当てられているインストゥルメントが発音されます。

また、選択されているパッドにシーケンスが記録されている場合、パターン再生時に、設定されたMIDIチャンネルでノートナンバーを出力します。



- ① で MIDI チャンネルを設定する
OFF、1～16の範囲で設定できます。
AR-96が発音できるノートナンバーは0～108までです。

NOTE

USBから受信したMIDIメッセージを**AR-96**のシーケンスとして記録することはできません。

SONG モードの EDIT 画面

SONG モードの EDIT 画面では以下の設定を行います。

LED の設定

LCD 画面やリングコントローラーの LED 表示に使用する色や、パッドを叩いた時の光り方を設定することができます。

■パターンのパッドカラーの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

選択中のパターンの LED セットアップが表示されます。



3. でカラーを変更する

■ LED アニメーションタイプの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

3. でアニメーションタイプを変更する

Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow から選択できます。(→ P.92)

■ LED アニメーションタイミングの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

3. でアニメーションの再生タイミングを変更する

再生するテンポを基準として、アニメーションを繰り返すタイミングを指定します。1/8、1/4、1/2、1、2 から選択できます。

LOOPER モードの EDIT 画面

LOOPER モードの EDIT 画面では以下の設定を行えます。

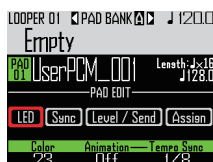
LED の設定 (LED)

LCD 画面やリングコントローラーの LED 表示に使用する色や、パッドを叩いた時の光方設定することができます。

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択中のパターンキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。



3. で LED を選択する

4. でカラーを選択する

5. でアニメーションタイプを選択する

Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow から選択できます。(→ P.92)

6. でアニメーションの再生タイミングを変更する

再生するテンポを基準として、アニメーションを繰り返すタイミングを指定します。1/8、1/4、1/2、1、2 から選択できます。

キャプチャーの同期設定 (Sync)

キャプチャーの再生をルーパーシーケンスのテンポに同期させることができます。

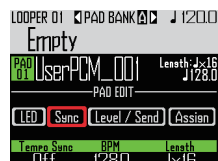
1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択中のパターンキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. で Sync を選択する

同期に関する設定が表示されます。



4. で同期を行うかどうかを選択する (Tempo Sync)

On にすると、キャプチャーはルーパーシーケンスのテンポに同期して再生を行います。また、ループ再生もテンポに同期して行われます。

NOTE

Tempo Sync を On にするには、BPM と Length パラメーターが設定されている必要があります。設定されていない場合、On にすることはできません。

5. でキャプチャーのテンポを設定する (BPM)

キャプチャー本来のテンポを設定します。

40.0 ~ 250.0 の範囲で設定できます。

6. でキャプチャーの長さを選択する (Length)

キャプチャーの長さを 4 分音符単位、もしくは小節単位で設定します。

NOTE

正しく同期するためには BPM、Length の値を正しく設定しておく必要があります。テンポシンクが Off の場合、キャプチャーは本来の再生スピードで再生を行います。ループ再生する場合はテンポに同期せず、ファイルのスタート・エンドポイント間をループ再生します。

レベル、センドの設定 (Level / Send)

キャプチャーの再生レベルや、エフェクトのディレイ、リバーブに送る量を設定することができます。

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択中のパターンキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. で Level / Send を選択する

4. でキャプチャーの再生レベルを選択する

0 ~ 100 の範囲で設定できます。

5. でエフェクトのディレイに送る量を選択する

0 ~ 100 の範囲で設定できます。

6. でエフェクトのリバーブに送る量を選択する

0 ~ 100 の範囲で設定できます。

割り当てるキャプチャーの変更 (Assign)

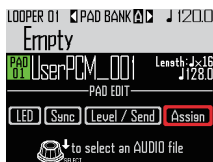
選択中のパッドに割り当てるキャプチャーを変更することができます。

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択中のパターンキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. で Assign を選択する



4. を押す

SD カードの AR-96 フォルダ内の Capture フォルダにある割り当て可能なファイルが表示されます。



5. でファイルを選択し、 を押す

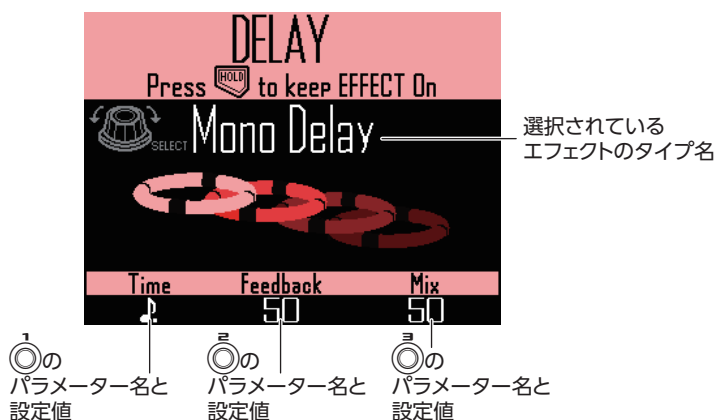
選択したファイルが新たにパッドに割り当てられます。

エフェクト

エフェクトの概要

パターン、ソング、ルーパーシーケンスの再生時に、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトをかけることができます。

画面の説明



エフェクトの種類

FILTER

グローバルフィルターを有効にします。

DELAY

ディレイを有効にします。

REVERB

リバーブを有効にします。

MASTER FX

出力全体にかけるマスターエフェクトを、各種エフェクトの中から1種類を選んで設定できます。

設定可能なパラメーターはエフェクトの種類によって異なります。

HINT

それぞれのパラメーターの詳細については、付録「エフェクト一覧」を参照してください。(→ P.141)

エフェクトの使用

エフェクトの ON/OFF

1. パターン、ソング、ルーパーシーケンスの再生中に、使用したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、

MASTER FX を押し続ける

これらのキーを押している間だけ、エフェクトが ON になります。

CONTROLLER 使用したいエフェクトのキーを押します。リングコントローラーの場合、キーは一度押すだけでホールドされます。

HINT

- ・複数のエフェクトを同時に ON にすることも可能です。その場合、LCD 画面には最後に押したエフェクトの内容が表示されます。
- ・エフェクトを ON にすると、リングコントローラーのエフェクトキーの LED が点灯します。

2. エフェクトをホールドする場合は、**FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押しながら **HOLD** を押す

エフェクトのキーから指を離しても、ON のままになります。

HINT

複数のエフェクトを同時にホールドすることも可能です。

3. ホールドを解除するには、解除したい **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押しながら **HOLD** を押す

CONTROLLER 解除したいエフェクトのキーを押します。

エフェクトタイプの変更

1. タイプを変更したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押す

LCD 画面に、選択したエフェクトのタイプが表示されます。



2. **SELECT** で変更するエフェクトタイプを選択する

パラメーターの変更

1. 変更したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押す

LCD 画面に、選択したエフェクトのパラメーターが表示されます。

HINT

複数のエフェクトをホールドしている場合は、変更したいエフェクトのボタンを押します。

2. 変更したいパラメーターの **1**、**2**、**3** を回す

ミキサー

ミキサーの概要

外部入力の音声を調整することが可能です。また、INST モード、STEP モードでは各インストゥルメントのミキシングを調節することもできます。

画面の説明




リングコントローラーの操作



リングの各パッドは 32 のインストゥルメントに対応しています。LCD 画面でミュートまたはソロを選択後、パッドを叩くことで、ミュートまたはソロの ON/OFF を切り替えることができます。

ミキシングの開始

1. ミキシングを設定するパターンの
選択・再生中に  を押す
MIXER 画面が表示されます。

HINT

SONG モードと LOOPER モードでは、INPUT 端子から入力した音声のセンドエフェクトおよびステレオ/モノラルの設定ができます。


ミキサーの使用

ミュート

選択したインストゥルメントだけをミュート
できます。

1.  で MUTE を選択する




2.  CONTROLLER ミュートするイン
ストゥルメントに対応したパッド
を叩く

叩いたパッドのインストゥルメントが
ミュートされます。

HINT

ミュート中のインストゥルメントはパッドが
消灯します。

3.  CONTROLLER 解除するには、
ミュートしているパッドをもう一
度叩く


叩いたパッドのインストゥルメントの
ミュートが解除されます。

ソロ

選択したインストゥルメントだけを再生 (ソ
ロ) できます。

1.  で SOLO を選択する




2.  CONTROLLER ソロ再生するイン
ストゥルメントに対応したパッド
を叩く

叩いたパッドのインストゥルメントだ
けが再生されます。

HINT

ソロを設定するとソロ再生中のパッドのみが
点灯します。

3.  CONTROLLER 解除するには、ソ
ロ再生しているパッドをもう一度
叩く

叩いたパッドのインストゥルメントの
ソロ再生が解除されます。

グループミキサー

複数のインストゥルメントをグループ化し、その音量をまとめて調整することができます。

■グループミキサーの設定

1. で MIX を選択する



HINT

リングコントローラーのトップリングは、それぞれのインストゥルメントのグループ色で点灯します。

グループ1：赤

グループ2：緑

グループ3：青

グループなし：消灯

LCD画面に表示されているパッド：点滅(グループなしの場合、白で点滅)

2. ミキサーグループ

を設定するインストゥルメントに対応したパッドを叩く

LCD画面に、叩いたパッドのインストゥルメント名やグループ番号が表示されます。同じパッドを何回か叩くことでグループを選択します。

3. ミキサーグループの音量を調節する場合は、、、 を回す ミキサーグループの音量が調節されま す。



HINT

- ・ミキサーグループの音量の最大値は、各インストゥルメントで設定されている音量になります。
- ・グループなしに設定したインストゥルメントの音量は調整されません。

INPUT のセンドエフェクト

1.  で AUDIO INPUT を選択する



2. ,  で各エフェクトへのセンド量を調節する

0 ~ 100 の範囲で調節できます。

外部入力 of ステレオ / モノラル 設定

外部入力にモノラル出力の音源を使用する場合は、次の設定を行います。

1. モノラルケーブルを、INPUT 端子の L チャンネルに接続する

2.  を押す

3.  で AUDIO INPUT を選択する

4.  で外部入力の種類を選択する

Stereo : L/R チャンネルへの入力をステレオ音声として扱う



Mono(Lch) : L チャンネルへの入力をモノラル音声として扱う

システムの設定



各種設定の変更

操作環境などの各種設定を行います。

1.  を押す




2.  で Settings を選択して、 を押す

各種設定画面が表示されます。


3.  で SETTING を選択して、 を押す

設定画面が表示されます。



4.  でメニュー項目を選択して、 で決定する
 を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■インナーリングの表示を設定する (Inner Ring LED)

-  でリングコントローラーのインナーリング表示を選択する

Instruments (インストゥルメント表示)、Guideline (ガイドライン) から選択できます。

■クロックモードを設定する (Clock Mode)


他の MIDI 機器と USB 接続した場合に、内蔵クロックと外部クロックのどちらを使用するか選択します。

-  でクロックモードを選択する
Internal、External USB から選択できます。


NOTE

External USB を選択した場合、ソングおよびブルーパーシーケンスの記録はできません。


■LCD画面の明るさを設定する (LCD Backlight)

-  でベースステーションの LCD 画面の明るさを設定する
Low、Mid、High から選択できます。

■ソフトウェアのバージョンを表示する (Software version)

-  でソフトウェアのバージョンを表示する

■出荷時の設定に戻す (Factory Reset)

-  を押して、**AR-96** ベースステーション
を出荷時の設定に戻す
確認のメッセージが表示され、工場出荷時
の設定にリセットされます。

NOTE

出荷時の設定に戻すと、自分で作成したパターンやソングなどは消去されます。残しておきたい場合はあらかじめSDカードに保存してください。



データのバックアップ (→ P.110)



MIDI メッセージの設定

ベースステーションから MIDI メッセージを出力する (USB MIDI Output)

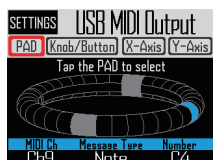
リングコントローラーのパッドや、ベースステーションのノブ、ボタンを操作したときに、ベースステーションの USB 端子から MIDI メッセージを出力します。ここでは出力する MIDI メッセージを編集することができます。**AR-96** がどのモードであっても、設定した MIDI メッセージは変化しません。この MIDI メッセージを利用して DAW ソフトなどを制御することができます。

1.  を押す

2.  で Settings を選択して、 を押す
各種設定画面が表示されます。

3.  で SETTING を選択して、 を押す
設定画面が表示されます。

4.  で USB MIDI Output を選択して、 を押す



■リングコントローラーのパッドを叩いた時に出力される MIDI メッセージ

リングコントローラーの 32 のパッドに、それぞれ異なる MIDI メッセージを割り当てることができます。

•  で PAD を選択する

• 編集したいパッドを叩く

叩かれたパッドが青く点灯し、LCD 画面の下部に設定が表示されます。

• 、、 で MIDI メッセージを編集する
それぞれ以下の設定値から選択できます。

MIDI Ch	Message Type	Number
1-16	Off	-
	Note	0-127
	CC (コントロールチェンジ)	0-127
	Prg Chg (プログラムチェンジ)	0-127
	Ch Press (アフタータッチのみを MIDI チャンネル全体の共通値として出力)	-
	PolyPress (パッドごとにアフタータッチのみを出力)	0-127 (Note Number)

HINT

Message Type を CC にした場合、“Number” で設定した CC 番号にパッドを叩いた時の強さ (ベロシティ) が送信されます。パッドを離れたときには“0”が送信されます。


NOTE

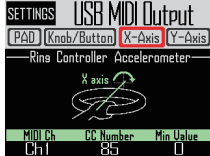
AR-96 に記録されたシーケンスは、パッドを押したときの MIDI メッセージとは独立して出力されます。(→ P.93)

MIDI メッセージの設定のつづき

■ リングコントローラーを動かしたときに出力される MIDI メッセージ

リングコントローラーを X 軸、Y 軸に沿って動かしたときに送信される MIDI メッセージを編集することができます。

-  で X-Axis または Y-Axis を選択する



- 、、 で MIDI メッセージを編集する
それぞれ以下の設定値から選択できます。

MIDI Ch	CC Number	Min Value
1-16	OFF	-
	0-127	0-127

HINT





送信される値は、 で設定した Min Value から 127 までの範囲になります。

■ ベースステーションのノブやボタンを操作したときに出力される MIDI メッセージ

、、、 や 、 等の操作時に送信する MIDI メッセージを編集することができます。

-  で Knob/Button を選択し、 を押す



-  で編集したノブやボタンを選択する
選択されたノブやボタンが LCD 画面に設定が表示され、設定値が画面の下部に表示されます。
- 、、 で MIDI メッセージを編集する
それぞれ次ページの設定値から選択できます。

MIDI メッセージの設定のつづき



ページ 1		ページ 2		ページ 3
CC Number	Type	Minimum / Dec Number	Maximum / Inc Number	MIDI Ch
0-127	Off	-	-	1-16
	Absolute(ノブの回転位置を絶対値として送信)	0-127 (Mimumum)	0-127 (Maximum)	
	Relative(ノブが回転したとき、左回り(Dec)と右周り(Inc)で異なる値を送信)	0-127 (Dec Number)	0-127 (Inc Number)	

HINT

- Type を Absolute にすると、現在のノブの回転位置に応じて Minimum, Maximum の範囲内でノブの値を出力します。値が Minimum のときに左に回したり、Maximum の時に右に回してもメッセージは出力されません。多くの DAW ソフトで使用可能ですが、コントロールしているパラメータを DAW ソフト側で編集すると、**AR-96** から送られる値と相違が出てまいりますのでご注意ください。
- Type を Relative にすると、ノブを左に回したときに Dec Number で設定した値が、ノブを右に回したときに Inc Number で設定した値が送信されます。DAW ソフト側でパラメータを編集しても、その値から相対的に増減させることができますが、DAW ソフトに応じて Dec Number と Inc Number を正しく設定する必要があります。



MIDI Ch	Message Type	Number
1-16	Off	-
	Note	0-127
	CC (コントロールチェンジ)	0-127
	Prg Chg (プログラムチェンジ)	0-127

HINT

Message Type が Note のとき、キーを押すとベロシティ 127 が、キーを離すとベロシティ 0 が “Number” で設定したノートに送信されます。

Message Type が CC のとき、キーを押すと “127” が、キーを離すと “0” が “Number” で設定した CC 番号に送信されます。

システムリアルタイムメッセージ

システム設定のクロックモードが Internal のとき、**AR-96** の USB 端子からは常に MIDI クロックが出力されます。

また、この時 **AR-96** を再生するとスタートメッセージが、停止するとストップメッセージが送信されます。

さらに一時停止状態から再び再生するとコンティニューメッセージが送信されます。

ソングシーケンスやルーパーシーケンスがない状態など、**AR-96** が再生を行わないときはスタート、ストップ、コンティニューメッセージは出力されません。

データのバックアップ・オーディオファイルの管理



データユーティリティ

SD カード内にあるオーディオファイルを管理したり、作成したパターン、ソングシーケンス、ルーパーシーケンスのデータを一括して SD カードにバックアップすることができます。

また、データを復元する場合には、すべてのデータを読み込むか、一部のデータだけを読み込むかを選ぶことができます。

なお、パターンに関しては、一つだけを指定してのバックアップや復元も可能です。

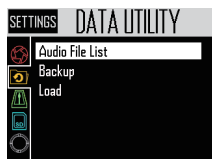
1.  を押す



2.  で Settings を選択して、 を押す


各種設定画面が表示されます。

3.  で DATA UTILITY を選択して、 を押す

データユーティリティ画面が表示されます。





4.  でメニュー項目を選択して、 で決定する

 を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■すべてのデータの書き出し (Backup All Data)



すべてのパターンデータ、ソングシーケンス、ルーパーシーケンスをバックアップします。

-  で Backup を選択して、 を押す
バックアップ対象の選択画面が表示されます。

All Data：すべてのデータをバックアップします。


Pattern & Kit：一つのパターンをバックアップします。



-  で All Data を選択して、 を押す
バックアップファイル名の入力画面が表示されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→ P.21)

- データ名を入力してから [Enter] を選択して、 を押す
すべてのデータがバックアップされます。

NOTE

キャプチャーで使用する WAV 形式の音声ファイルはバックアップされません。

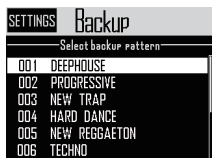
HINT



- 初期設定では、バックアップファイル名は "DATAxxxx.ARD" (xxxx は 4 桁の連番) になります。
- バックアップデータは SD カードの AR-96 フォルダの中の Data フォルダ内に保存されます。

■ 選択したパターンの書き出し (Backup Pattern & Kit)

選択したパターンのみをバックアップします。パターンに含まれるシーケンスデータやKITデータがバックアップされます。


-  で Backup を選択して、 を押す
バックアップ対象の選択画面が表示されます。
-  で Pattern & Kit を選択して、 を押す
パターンリストが表示されます。



-  でバックアップするパターンを選択して、 を押す
バックアップファイル名の入力画面が表示されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→ P.21)



- データ名を入力してから [Enter] を選択して、 を押す
選択されたパターンがバックアップされます。

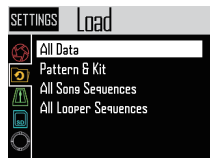
HINT



初期設定では、バックアップファイル名は“パターン名.PAT”になります。

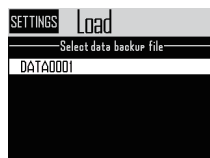
■ すべてのデータの読み込み (Load All Data)





すべてのパターンデータ、ソングシーケンス、ルーパーシーケンスを読み込みます。

-  で Load を選択して、 を押す
読み込み対象の選択画面が表示されます。



-  で All Data を選択して、 を押す
SD カード内のバックアップデータの一覧画面が表示されます。







-  でバックアップデータを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
SD カードからデータが読み込まれます。

NOTE

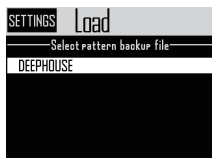
データの読み込みを行うと、**AR-96** に保存されている内容は上書きされます。



■パターンの読出し (Load Pattern & Kit)

選択したパターンデータのみを読み込みます。

-  で Load を選択して、 を押す
読み込み対象の選択画面が表示されます。
-  で Pattern & Kit を選択して、 を押す





SD カード内のバックアップデータの一覧画面が表示されます。



-  でバックアップデータを選択して、 を押す

パターンリストが表示されます。



-  で読み込み先のパターンを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
SD カードからデータを読み込みます。





NOTE

読み込んだパターンでオーディオファイルをインストールメントのオシレーターとして使用している場合、そのオーディオファイルがSDカードの AR-96 フォルダ内の Capture フォルダに保存されている必要があります。

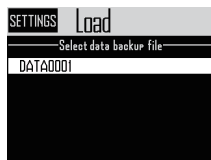
■ソングシーケンス、ルーパシーケンスの読み込み (Load All Song Sequences, Load All Looper Sequences)





ソングシーケンス、ルーパシーケンスを読み込みます。

これらのデータを読み込むためには、すべてのデータをバックアップしておく必要があります。

-  で Load を選択して、 を押す
読み込み対象の選択画面が表示されます。
-  で All Song Sequences または All Looper Sequences を選択して、 を押す

SD カード内のバックアップデータの一覧画面が表示されます。



-  でバックアップデータを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
SD カードからデータを読み込みます。

NOTE

- ソングシーケンスで使用しているパターンデータは読み込まれません。パターンデータの内容がバックアップしたときと異なっている場合、使用しているパターンデータも読み込んでください。
- ルーパーシーケンスで使用するオーディオファイルは、SDカードの AR-96 フォルダ内の Capture フォルダに保存されている必要があります。

■オーディオファイルリスト



インストゥルメントのオシレーターやルーパーモードで使用するオーディオファイルを管理します。

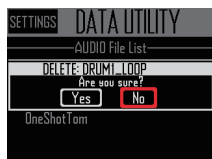
-  で Audio File List を選択して、 を押す



SD カード内のオーディオファイルが一覧で表示されます。

インストゥルメントのオシレーターやルーパーモードで使用されているオーディオファイルにはチェックマークがつきます。



- ファイルを削除する場合は、 でファイルを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。



-  で Yes を選択して、 を押す
オーディオファイルが削除されます。



NOTE

インストゥルメントのオシレーターやルーパーモードで使用しているオーディオファイルを削除すると、パッドに割り当てられた音は再生されなくなりますのでご注意ください。



SD カードの管理

SD カードの空き容量確認

1.  を押す

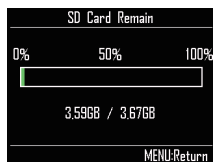
2.  で Settings を選択して、 を押す

各種設定画面が表示されます。

3.  で SD CARD を選択して、 を押す



4.  で SD Card Remain を選択して、 を押す

SD カードの使用量・空き容量が表示されます。







SD カードの初期化

1.  を押す

2.  で Settings を選択して、 を押す



各種設定画面が表示されます。

3.  で SD CARD を選択して、 を押す

4.  で Format を選択して、 を押す

確認のメッセージが表示されます。



5.  で Yes を選択して、 を押す

SD カードが初期化されます。

NOTE

- ・市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **AR-96** で初期化する必要があります。
- ・SD カードを初期化すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

SD カードの性能テスト

SD カードが **AR-96** で使用可能かテストします。短時間で行う簡易テストと、SD カードの全領域を検査するフルテストがあります。

■簡易テスト

- 1.**  を押す

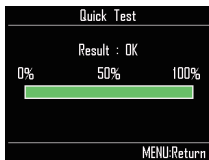
- 2.**  で Settings を選択して、 を押す
各種設定画面が表示されます。

- 3.**  で SD CARD を選択して、 を押す

- 4.**  で Performance Test を選択して、 を押す

- 5.**  で Quick Test を選択して、 を押す
SD カードの簡易テストが実行されます。

- 6.** テストが終了する
判定結果が表示されます。



■フルテスト

- 1.**  を押す

- 2.**  で Settings を選択して、 を押す
各種設定画面が表示されます。

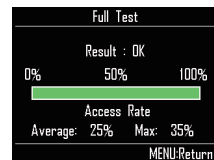
- 3.**  で SD CARD を選択して、 を押す

- 4.**  で Performance Test を選択して、 を押す

- 5.**  で Full Test を選択して、 を押す
所要時間と確認のメッセージが表示されます。

- 6.**  で Yes を選択して、 を押す
SD カードのフルテストが実行されます。

- 7.** テストが終了する
判定結果が表示されます。



NOTE



性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きない事を保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。


■パソコンとデータをやり取りする (SD Card Reader)



パソコンと接続して、**AR-96** にセットされた SD カード内のデータの確認やコピーができません。

■接続する

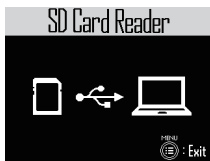
1.  を押す

2.  で Settings を選択して、 を押す

3.  で SD CARD を選択して、 を押す

4.  で SD Card Reader を選択して、 を押す

5. **AR-96** とパソコンを USB ケーブルで接続する



NOTE

・対応している動作環境は以下のとおりです。

Windows の場合：Windows 7 以降

Mac OS の場合：Mac OS X (10.8 以降)

・**AR-96** は USB バスパワーでは動作しません。電源供給には AC アダプターを使用してください。

■取り外す

1. パソコン側で接続を解除する

Windows の場合：

“ハードウェアの安全な取り外し” で

AR-96 を選択する

Mac OS の場合：

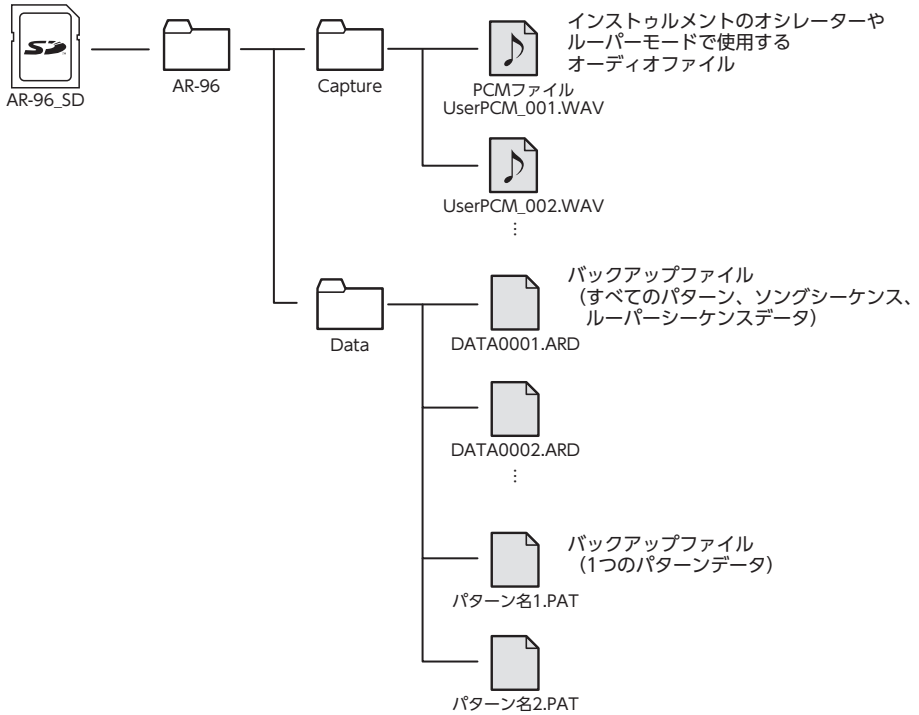
AR-96 のアイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップする

NOTE

USB ケーブルを抜く前に、必ず解除操作を行ってください。

2. パソコンと **AR-96** から USB ケーブルを抜き、 を押す

SD カードのフォルダ階層



リングコントローラーの設定

リングコントローラーと ベースステーションの接続・解除



リングコントローラーとベースステーションは、Bluetooth LE を使用した無線通信で接続されます。

購入時のセットと異なる組み合わせで使用する場合などには、接続の設定を行う必要があります。

■接続する

1.  を押す

2.  で CONTROLLER を選択して、
 を押す



3.  で Device List を選択して、
 を押す

接続可能なリングコントローラーの一覧が表示されます。



HINT

アンテナアイコンの本数は、電波の強度を表しています。


4.  で接続するリングコントローラーを選択して、
 を押す

選択したリングコントローラーが接続され、リングコントローラー全体のLEDが青く点滅します。

■接続を解除する



1.  を押す

2.  で CONTROLLER を選択して、
 を押す

3.  で Device List を選択して、
 を押す

リングコントローラーの一覧が表示されます。接続中のリングコントローラーには白い四角が表示されます。



4.  で接続中のリングコントローラーを選択して、
 を押す

リングコントローラーの接続が解除され、リングコントローラー全体のLEDが赤く点滅します。

リングコントローラーの設定のつづき

グリップエリアの設定

1. を押す

リングコントローラーのすべてのLEDが青く点灯します。

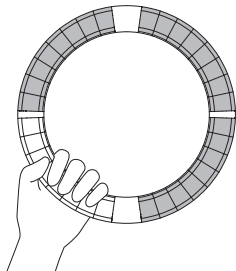
HINT

グリップの自動設定 (→ P.120) を ON にすると、リングコントローラーを持ち上げたときに自動的に同じ状態になります。

2. グリップエリアに

設定する範囲を握る

握った範囲のパッドが白く点滅します。トップリング、ボトムリングの同位置のパッドも対象となります。




HINT

30 秒間グリップが検出されない場合、自動的にキャンセルされます。

3. を押す

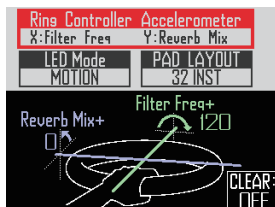
リングコントローラーのLED表示が元の状態に戻りますが、グリップエリアだけはLEDが消え、操作に反応しない状態になります。

HINT

- ・グリップが検出されて1秒経過すると、自動的に設定状態になります。
- ・グリップエリアが設定されている場合、 のLEDが点灯します。

グリップエリア設定中の動作


STEP モードまたは INST モードの選択時にグリップエリアが設定されると LCD 画面が切り替わり、リングコントローラーに関する設定や現在の X 軸・Y 軸の値が表示されます。



■ リングコントローラーの加速度センサーを使って変更するパラメーターの設定

- ・  で Ring Controller Accelerometer を選択する
変更するパラメーターを設定します。(→ P.78)




■ リングコントローラーの光り方の設定

- ・  で LED Mode を選択する
NORMAL (通常の光り方)、MOTION (加速度センサーに応じた光り方)、PAD 1 (パッド1の発音タイミングに応じた光り方) から選択できます。MOTION や PAD 1 を選択した場合でも、パッドを叩くと通常通り発音できます。

■ PAD レイアウトの変更

PAD レイアウト時に演奏できるインストールメントの数を変更できます。(→ P.82)

NOTE

 を押すと通常の LCD 画面表示に戻ります。また、グリップエリアの設定が解除されると通常の LCD 画面表示に戻ります。この画面で  を押すとリングコントローラーによるパラメーターのコントロールをやめることができます。もう一度  を押すと、再びリングコントローラーでパラメーターをコントロールします。

リングコントローラーの設定のつづき

■グリップエリアの設定を解除する

1. を押す

リングコントローラーのすべてのLEDが青く点灯します。

2. リングコントローラーをベースステーションに置く

3. を押す

グリップエリアの設定が解除され、すべてのパッドが操作可能な状態になります。

HINT

グリップの自動設定 (→ P.120) を ON にした場合、リングコントローラーをベースステーションに置くと自動的にグリップエリアが解除されます。

リングコントローラーの機能設定

ここではベースステーションと接続して使用する場合の設定項目について説明します。

HINT

MIDI コントローラーとして使用する (→ P.125)

1. を押す


2. で CONTROLLER を選択して、 を押す

3. で Setting を選択して、 を押す

コントローラー設定画面が表示されます。


4. でメニュー項目を選択して、 で決定する を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■LEDの明るさ (LED Brightness)

-  で LED の明るさを選択する
Low、High から選択できます。

■グリップの自動設定 (Auto Grip)


グリップの自動設定の ON/OFF を設定します。

-  で自動設定を選択する
Off、On から選択できます。

■ベロシティー

(For AR-96>Velocity Curve)


パッドの感度を設定します。

-  でパッドの感度を選択する
Low：低感度（叩く強さの変化に反応しにくい）
Mid：標準
High：高感度（叩く強さの変化に反応しやすい）
Max：叩く強さにかかわらず最大ベロシティーになる

■アフタータッチ

(For AR-96>After Touch)


アフタータッチの ON/OFF を設定します。

-  でアフタータッチを選択する
Off、On から選択できます。

■アフタータッチスレッシュホールド


(For AR-96>After Touch Threshold)

アフタータッチの状態への遷移しやすさを設定します。

-  でアフタータッチスレッシュホールドを選択する
Low：遷移しやすい
Mid：標準
High：遷移しにくい

■加速度センサー感度 (For AR-96>Accelerometer Sensitivity)

加速度センサーの感度を設定します。

-  で加速度センサーの感度を選択する
Low：低感度（角度の変化に反応しにくい）
Mid：標準
High：高感度（微細な角度変化にも反応）

リングコントローラーの設定のつづき

■リングコントローラーで機能設定を行う

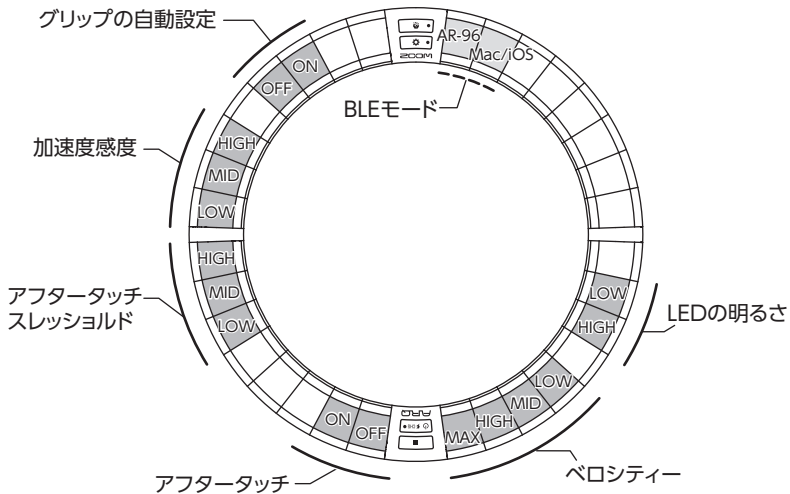
リングコントローラー上でパッドを使用して機能設定を行うこともできます。

- **CONTROLLER**  を押す

リングコントローラーが設定モードに切り替わり、各パッドが設定キーとして機能します。

HINT

- ・BLEモード：MIDI コントローラーとして使用する場合、Mac/iOS を選択します。
- ・ベースステーションと接続中は、BLEモードを切り替えることはできません。ベースステーションの電源をOFFにするか、ベースステーションとの接続を解除（→P.118）してください。



リングコントローラーの設定のつづき

リングコントローラーの電池交換

電池の消耗が早くなったり、充電ができなくなった場合には、電池を交換してください。

NOTE

充電式電池は必ず ZOOM BT-04 を使用してください。

■電池残量の確認

1. リングコントローラーの を押す

を押す

LCD 画面に、リングコントローラーの電池残量が表示されます。

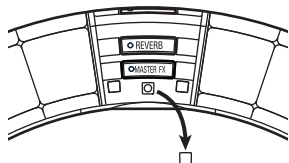
■電池を取り外す

1. リングコントローラー裏面にある

キャップを取り外す

キャップは  の下にあります。

リングコントローラー裏面

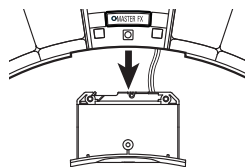


2. キャップ穴内側のネジを外す

ネジはプラスドライバーで外してください。

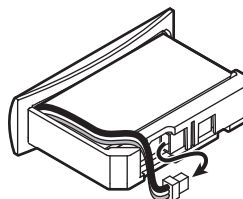


3. 電池ボックスを引き出す



4. 電池と電池ボックスを接続する

ケーブルのコネクターを外す

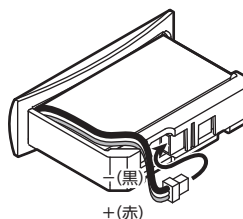


5. 電池ボックスから電池を取り外す

■電池の取り付け

1. 電池ボックスに電池を入れる

2. 電池と電池ボックスをケーブルで接続する



3. 電池ボックスを本体に入れる

4. ネジを締め、キャップを元通りに取り付ける



ファームウェアのアップデート

製品のファームウェアを、最新のものにアップデートできます。

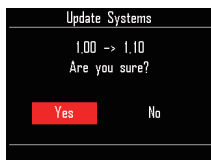
最新のアップデート用ファイルは ZOOM の Web サイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。



ベースステーションのアップデート

1. アップデート用ファイルを SD カードのルートディレクトリにコピーする

2. SD カードをカードスロットにセットして、 を押しながらか  を長押しする


アップデートの確認画面が表示されます。

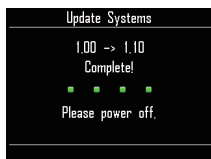


3.  で Yes を選択して、 を押す

NOTE

アップデート中に電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。AR-96 が起動しなくなるおそれがあります。

4. アップデートが完了したら、 を長押しして OFF にする




リングコントローラーのアップデート

ファームウェアが古い状態のリングコントローラーをベースステーションに接続すると、LCD 画面にアップデート通知が表示されます。その場合は次の手順でリングコントローラーをアップデートしてください。



1.  **CONTROLLER**  を押しながらか  を押す

リングコントローラーがアップデートモードで起動し、ベースステーションにアップデート画面が表示されます。

NOTE

 横のパッドの LED が青く点灯していることを確認してください。

LED が紫の場合は、リングコントローラーとベースステーションを接続してください。(→ P.118)

2.  で Yes を選択して、 を押す
ベースステーションにアップデートの進捗画面が表示されます。

3.  **CONTROLLER** アップデートが完了したら、 を長押しして OFF にする

NOTE

 横のパッドの LED 色でアップデートの結果が確認できます。

- ・正常にアップデート完了…緑色
- ・アップデート失敗…赤色

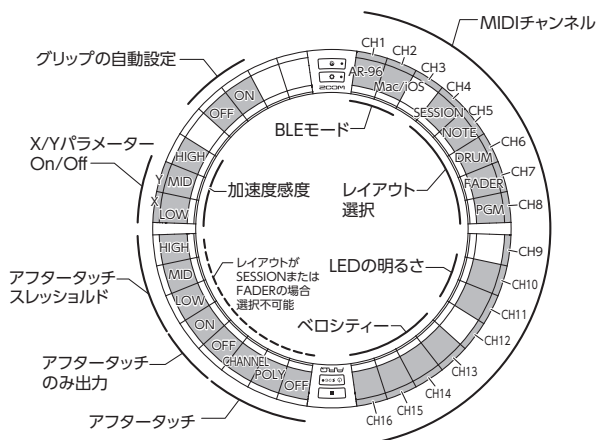
アップデートに失敗した場合は、手順 1 からやり直してください。

MIDI コントローラー

MIDI コントローラーとして使用する

AR-96 のリングコントローラーは、単独で Mac/iOS 機器と接続し、MIDI コントローラーとして使用することができます。

MIDI コントローラーの設定



■BLE モード

リングコントローラーの接続先を選択します。

AR-96：通常の使用モードです。AR-96のベースステーションに接続します。(→P.118)

Mac/iOS：直接 Mac または iOS 機器に接続し、MIDI コントローラーとして使用します。

■レイアウト選択

リングコントローラーのMIDIメッセージのレイアウトを設定します。

各レイアウトの詳細については「MIDI コントローラーのレイアウト」(→P.127)を参照してください。

■MIDI チャンネル

リングコントローラーが使用するMIDIチャンネルの組み合わせを設定します。CH1～11(12～16はセッションレイアウト固定)

■X/Yパラメーター On/Off

X軸、Y軸の加速度センサー値を出力するかどうかが設定します。

■アフタータッチ

アフタータッチの種類を設定します。

OFF：アフタータッチなし

POLY：複数のパッドを押したときにそれぞれが独立して反応


CHANNEL：MIDIチャンネル全体の共通値として出力

MIDI コントローラーとして使用するのつづき

■アフタータッチのみ出力

アフタータッチの MIDI メッセージだけを出力します。

HINT

- これらの設定は、ベースステーションの  を押し、CONTROLLER>Setting>For Mac/iOS の各項目から行うこともできます。
- ペロシティー設定など、**AR-96** と共通の項目については、「リングコントローラーの設定」(→P.118) を参照してください。

Mac/iOS 機器との接続


Bluetooth LE を使用して、リングコントローラーを直接 Mac や iOS 機器に接続し、MIDI コントローラーとして使用することができます。

NOTE

この機能を使用するには、ベースステーションの電源を OFF にするか、ベースステーションとの接続を解除 (→P.118) してください。

■リングコントローラーのモードを切り替える

1.  **CONTROLLER**  を押す
リングコントローラーが設定モードに切り替わります。

2.  **CONTROLLER** BLE モードの Mac/iOS に対応したパッドを叩く
リングコントローラーが Mac/iOS モードになります。

■Mac と接続する

1. Mac 上で「Audio MIDI 設定」アプリケーションを起動する

2. メニューバーから「ウインドウ」→「MIDI スタジオを表示」を選択する

MIDI スタジオ画面が表示されます。

3. Bluetooth アイコンをダブルクリックする

Bluetooth コンフィグレーション画面が表示されます。

4. 一覧に表示されたリングコントローラーの「接続」をクリックする

接続に成功すると、リングコントローラーのすべての LED が青く点滅します。

NOTE

接続に失敗した場合、システム環境設定内の Bluetooth のデバイス一覧で、リングコントローラーの項目の × をクリックしてからやり直してください。

■iOS 機器と接続する

1. iOS デバイス上で、MIDI over BLE 対応のアプリを起動する

2. アプリの設定画面で、Bluetooth の接続操作を行う

接続に成功すると、リングコントローラーのすべての LED が青く点滅します。

HINT

アプリ側の設定方法の詳細については、各アプリのマニュアルを参照してください。

MIDI コントローラーのレイアウト

MIDI コントローラーとして使用する場合、パッドのレイアウトを5種類の中から選択できます。


レイアウトの種類

■SESSION レイアウト

Ableton Live のセッションビューを操作するためのレイアウトです。クリップやシーンの再生、ボリューム、パン、センドのコントロールなどが可能です。

■NOTE レイアウト


ピアノ鍵盤の配列をパッド上に展開するレイアウトです。

 を押すことで、オクターブを変更できます。

■DRUM レイアウト

DAW ソフトの Drum Rack に対応したレイアウトです。

各リングの 1/4 周分のパッドが、Drum Rack の 1 区画分に対応します。

 を押すことで、ノートナンバーの組を高い方・低い方へ移動できます。

■FADER レイアウト

リングコントローラーをフェーダーとして使用するレイアウトです。

各リングの 1/2 周分のパッドが、1 つのフェーダーとして機能します。




■PROGRAMMER モード

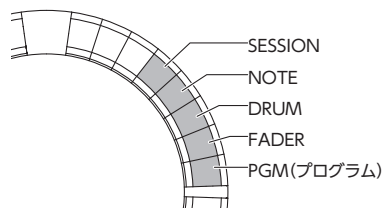
各パッドと、その LED 表示を自由にプログラムできるモードです。

HINT

各モードで送受信される MIDI メッセージについては、「リングコントローラーの MIDI メッセージ」(→P.145) を参照してください。

レイアウトの選択

1.   を押す
リングコントローラーが設定モードに切り替わります。
2.  いずれかのレイアウトに対応したパッドを叩く



リングコントローラーのレイアウトが切り替わります。

3.   を押す
設定モードを終了します。

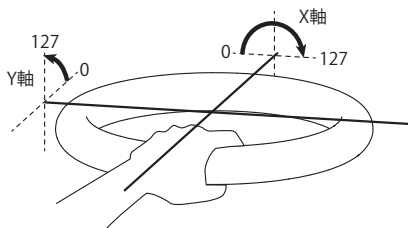
その他の機能

加速度センサー

リングコントローラーの加速度センサーを使用して MIDI メッセージを送信することができます。

NOTE

- ・リングコントローラーのグリップエリアを設定した場合に使用できます。(→ P.119)
- ・X 軸・Y 軸の方向は、グリップエリアの位置によって決まります。



送信される MIDI メッセージ

X 軸 : Control Change 85、0 ~ 127

水平 (0°) から上下反転 (180°) の範囲で変化します。

Y 軸 : Control Change 86、0 ~ 127

水平 (0°) から垂直 (90°) の範囲で変化します。

■加速度センサーの ON/OFF

1. **CONTROLLER** **MASTERFX** を押す

MASTERFX の LED が点灯し、加速度センサーが ON になります。

2. **CONTROLLER** 加速度センサーを OFF にする場合は、再度 **MASTERFX** を押す

MASTERFX の LED が消灯し、加速度センサーが OFF になります。

出荷時の設定に戻す

1. **CONTROLLER** **設定** を押しながらリングコントローラーの電源を入れる
ファクトリーリセットモードになります。

2. **CONTROLLER** LED が点滅しているパッドを叩く

リングコントローラーの設定が出荷時の状態に戻り、自動的に電源が切れます。

■ベースステーションから出荷時の設定に戻す

ベースステーションを操作してリングコントローラーを工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. **MENU** を押す

2. **SELECT** で **CONTROLLER** を選択して、**SELECT** を押す

3. **SELECT** で **Setting** を選択して、**SELECT** を押す

4. **SELECT** で **Factory Reset** を選択して、**SELECT** を押す
確認の画面が表示されます。

5. **SELECT** で **Yes** を選択して、**SELECT** を押す
リングコントローラーが工場出荷時の設定に戻ります。

故障かな？と思う前に

AR-96の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。


■音が出ない、非常に小さい

- ・電源が ON になっていることを確認してください。
- ・接続を確認してください。
- ・各インストゥルメントのレベルを調節してください。
- ・ミキサーグループレベルを調節してください。
- ・ミュート状態になっていないことを確認してください。
- ・ヘッドフォンボリュームまたは OUTPUT ボリュームのレベルを確認してください。

■ノイズが多い

- ・シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- ・ZOOM 純正の AC アダプターを使用してください。

■エフェクトがかからない

- ・インストゥルメントにエフェクトが正しくアサインされていることを確認してください。
- ・エフェクトはそれぞれのキーを押している間しか有効になりません。キーを放した後もエフェクトをかけ続けるには、 を使用してください。

■リングコントローラーがうまく動作しない

- ・電源が ON になっていることを確認してください。
- ・ベースステーションとの接続を確認してください。
- ・パッドの感度を調節してください。
- ・グリップ設定を確認してください。
- ・MIDI コントローラーとして使用している場合は、Mac 及び iOS 機器の設定を確認してください。

製品仕様

ベースステーション

入力	INPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		入力ゲイン	+10 ~ -65 dB
		入力インピーダンス	50 k Ω
出力	OUTPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		出力インピーダンス	200 Ω
	PHONES	仕様 (コネクタ形状)	標準ステレオフォンジャック 20 mWx2(32 Ω負荷時)
		出力インピーダンス	10 Ω
ダイナミックレンジ			ANALOG IN / AD : 92 dB typ (IHF-A) PHONE OUT / DA : 102 dB typ (IHF-A) MAIN OUT / DA : 106 dB typ (IHF-A)
記録メディア			SD カード 16 M ~ 2 GB SDHC 規格対応カード 4 G ~ 32 GB SDXC 規格対応カード 64 ~ 128 GB
MIDI IN/OUT			USB MIDI or MIDI over Bluetooth LE
電源			5 V 1 A AC アダプタ
消費電力			ベースステーション本体 : 最大 1.25 W リングコントローラー給電時 : 最大 4.5 W ※充電時の電力を含む
外形寸法			260.0 mm(D) x 260.0 mm(W) x 64.0 mm(H)
質量 (本体のみ)			990 g
表示器			LCD 2.0" フルカラーLCD(320x240)
インターフェイス	USB 2.0 (標準 USB MIDI)	対応 OS	Windows 7 (SP1) 以降、Windows 8 (8.1 含む) 以降、Windows 10 Mac OS X 10.8 以降
		要求スペック	USB2.0 が標準搭載されたチップセット、CPU Intel Core i3 以上
	MIDI over BLE	転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対リングコントローラー)	5 ~ 12.5 ms

リングコントローラー

MIDI IN/OUT		MIDI over Bluetooth LE	
センサ		PAD 用感圧センサ、3 軸加速度センサ	
電源		リチウムポリマー充電電池(最大電圧 DC4.2 V、公称電圧 3.7 V、容量 450 mAh - 3.7 V)、ベースステーションから直接給電	
消費電力		電池動作時 : 最大 2 W	
充電時間		約 2.5 時間	
電池寿命		LED の明るさが Low の場合、約 4.5 時間 LED の明るさが High の場合、約 2.5 時間 (使用状況によって異なります)	
外形寸法		280.5 mm(D) x 280.5 mm(W) x 33.5 mm(H)	
質量 (本体のみ)		540 g	
トリガーパッド		パッド数 96 個 ペロシティーカーブ 4 タイプ	
インターフェイス	MIDI over BLE	対応 iOS 機器	iOS8.0 以降の iPad シリーズ
		対応 Mac	Mac OS X 10.10.5 Yosemite 以降の BLE 通信ができる MacBook シリーズ、iMac シリーズ、Mac pro シリーズ
		転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対ベースステーション)	5 ~ 12.5 ms
		レイテンシー (iOS・Mac OS)	16.25 ~ 20 ms

付 録

EDIT メニュー・パラメーター一覧

■オシレーターブロック

オシレーター一覧

Category	Instruments name	LOOP
	2Step Kick	○
	BigBeat Kick	○
	Blubber Kick	○
	BreakBeat Kick	×
	Breaks Kick	×
	Classic Kick	○
	Cyber Kick	○
	DeepDark Kick	×
	DeepHouse Kick	○
	Disco Kick	×
	D&B Kick	×
	Dubstep Kick	×
	EDM Kick	○
	Electro Kick	○
	EuroBeat Kick	○
	EuroDance Kick	○
	EuroTrance Kick	○
	FrenchHouse Kick	○
	Funk Kick	×
	Hardcore Kick	×
	HardHouse Kick	○
	HardTechno Kick	×
	HipHop Kick 1	○
	HipHop Kick 2	○
	Oldschool Kick	○
	HR&HM Kick	×
	Jazz Kick	×
	Jungle Kick	×
	Kicker Kick	○
	Berlin Kick	○
	D Kick	○
	Muted Kick	○
	Lounge Kick	×
	MainRoom Kick	×
	Minimal Kick	○
	NuDisco Kick	×
	ProgHouse Kick	○
	R&B Kick	○
	Reggae Kick	○
	Reggaeton Kick	×
	Rock Kick	×
	Sub Kick	○
	Synth Kick	○
	Techno Kick	○
	TechHouse Kick	○
	Kit707 Kick	×
	Kit808 Kick	○
	Kit909 Kick	○
	Trap Kick	○
	TrapMe Kick	○
	TribalHouse Kick	○
	2Step RS	
	2Step Snare	
	BigBeat RS	
	BigBeat Snare	
	Breaks RS	
	Breaks Snare	
	Chicago Snare	
	DeepHouse Snare	
	DeepHouse RS	
	D&B RS	
	D&B Snare	
	Dubstep RS	
	Dubstep Snare 1	
	Dubstep Snare 2	

Kick
インストールメントカラー：1




Snare
インストールメントカラー：31








Category	Instruments name	LOOP
	EDM Snare	
	EDM RS	
	Electro RS	
	Electro Snare	
	EuroBeat RS	
	EuroBeat Snare	
	EuroDance RS	
	EuroDance Snare	
	EuroTrance RS	
	EuroTranceSnare	
	FlashBulb Snare	
	Future Snare	
	Garage Snare	
	Hardcore RS	
	Hardcore Snare	
	HardHouse RS	
	HardHouse Snare	
	HardTechnoRS	
	HardTechnoSnares	
	HH Snare	
	HipHop RS	
	HipHop Snare	
	HR&HM RS	
	HR&HM Snare	
	Jazz RS	
	Jazz Snare	
	Jazz Brush	
	Jungle RS	
	Jungle Snare	
	MainRoom Snare	×
	Minimal RS	
	Minimal Snare	
	NuDisco RS	
	NuDisco Snare	
	ProgHouse RS	
	ProgHouse Snare	
	R&B RS	
	R&B Snare	
	Reggae RS	
	Reggae Snare	
	Reggaeton RS	
	Reggaeton Snare	
	Rock RS	
	Rock Snare	
	Gangsta Snare	
	South Snare	
	TechHouse RS	
	TechHouse Snare	
	Kit707 Snare	
	Kit808 Snare	
	Kit808 RS	
	Kit909 Snare	
	Kit909 RS	
	Trap RS	
	Trap Snare	
	TribalHouse RS	
	TribalHouseSnare	
	UK Snare	
	Vintage Snare	

Snare
インストールメントカラー：31



EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Instruments name	LOOP
Clap インストゥルメントカラー : 31 	Building Clap	×
	ClasRave Clap	
	Dance Clap	
	Disco Clap	
	D&B Clap	
	Breaks Clap	
	Electro Clap	
	Techno Clap 1	
	HipHop Clap	
	House Clap 1	
	Minimal Clap	
	House Clap 2	
	NY Clap	
	Reggae Clap	
	Short Clap	
	SlapVerb Clap	
	Step Clap	
	Techno Clap 2	
	Thug Clap	
	Kit707 Clap	
	Kit808 Clap	
	Kit909 Clap	
	Trance Clap	
	Trap Clap	
	HiHat インストゥルメントカラー : 30 	
Berlin OpenHH		
Chicago Hi-Hat		
ComputerNoise		
DeadLeaser Hat		
Disco CloseHH		
Disco OpenHH		
Dance CloseHH		
Dance OpenHH		
D&B CloseHH		
D&B OpenHH		
Breaks CloseHH		
Breaks OpenHH		
Electro CloseHH		
Electro OpenHH		
Techno CloseHH		
Techno OpenHH		
Feedback Hat		
Garage Hat		
GlitchTick Hat		
HardHouse Hat		
Standard OpenHH		
HipHop CloseHH		
HipHop OpenHH		
House CloseHH		
House OpenHH		
Minimal CloseHH		
Minimal OpenHH		
HR&HM CloseHH		
HR&HM OpenHH		
Jazz CloseHH		
Jazz OpenHH		
London Hat		
Milano Hat		
NY Hat		
Paris Hat		
R&B CloseHH		
R&B OpenHH		
Reggae CloseHH		
Reggae OpenHH		
Rock CloseHH		
Rock OpenHH		

Category	Instruments name	LOOP
HiHat インストゥルメントカラー : 30 	Short Hi-Hat	×
	Kit707 CloseHH	
	Kit707 OpenHH	
	Kit808 CloseHH	
	Kit808 OpenHH	
	Kit909 CloseHH	
	Kit909 OpenHH	
	Trance CloseHH 1	
	Trance OpenHH 1	
	Trance CloseHH 2	
Trance OpenHH 2		
Cymbal インストゥルメントカラー : 30 	Short Crash	×
	Long Crash	
	Splash Cymbal	
	Disco Crash	
	Disco Ride	
	Dance Crash	
	Dance Ride	
	D&B Crash	
	D&B Ride	
	Breaks Crash	
	Breaks Ride	
	Electro Crash	
	Electro Ride	
	Techno Crash	
	Techno Ride	
	HipHop Crash	
	HipHop Ride	
	House Crash	
	House Ride	
	Minimal Crash	
Minimal Ride		
HR&HM Crash		
HR&HM Ride		
Jazz Crash		
Jazz Ride		
R&B Crash		
R&B Ride		
Reggae Crash		
Reggae Ride		
Standard Ride		
Rock Crash		
Rock Ride		
Kit707 Crash		
Kit707 Ride		
Kit808 Crash		
Kit909 Crash		
Kit909 Ride		
Trance Crash		
Trance Ride		
Tom インストゥルメントカラー : 2 	80's Tom	×
	Acoustic Tom 1	×
	Acoustic Tom 2	×
	DoubleElectroTom	○
	FrenchHouseTom	×
	Ind. Tribe Tom	×
	Industry Tom	×
	Long Tom	×
	NewWave Tom	×
	Noise Tom	×
Synth Tom	○	
Kit707 Tom	×	
Kit808 Tom	×	
Kit909 Tom	×	
Vintage Tom	×	

EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Instruments name	LOOP
	BellTree	×
	Bottle	×
	BrightData	×
	Cabasa Hit	×
	Cabasa Shake	×
	Castanets	×
	CementClick	×
	Clave	×
	Conga Open	×
	Conga Close	×
	Conga Slap	×
	Cowbell	×
	Darbuka	×
	Davul Chember	×
	Davul Dum	×
	Davul Kasnak	×
	Davul Tek	×
	Djembe	×
	Droplet	×
	GlitchClave	×
	Hi-Bongo	×
	Hi-Timbales	×
	Hi-Agogo	×
	IDM Prec.	×
	Lo-Bongo	×
	Lo-Timbales	×
	LongGuiro	×
	LongWhistle	○
	Lo-Agogo	×
	Maracas	×
	MouthPop	×
	MuteCuica	×
	MuteSurdo	×
	MuteTriangle	×
	OpenCuica	×
	OpenSurdo	×
	OpenTriangle	×
	OrganicPrec.	×
	Lo-Pop	○
	PlasticLid	×
	Hi-Pop	×
	Quijada	×
	Quijada Hit	×
	RimPercussion	×
	Riq Doum	×
	Riq Pa	×
	Riq Tak	×
	Shaker 1	×
	Shaker 2	×
	Shaker Hit	×
	ShortData	×
	ShortGuiro	×
	ShortPercussion	×
	ShortWhistle	×
	Snap	×
	SquishyZap	×
	Sticks	×
	SynthPercussion	○
	Tabla Ge	×
	Tabla Ke	×
	Tabla Na	×
	Tabla Te	×
	Jingle	×
	Tambourine	×
	Timpani	×
	Kit808 Cowbell	○
	Vibraslap	○
	WindChime	×
	WoodBlock	×

Percussion
インストールメントカラー：2



Category	Instruments name	LOOP
	Ai-Low House	
	Hey Trap	
	Female Oh	
	Male Oh	
	Oh Garage	
	Technologic Vox	
	U DeepHouse	
	VocalStab	
	Yah Dubstep	
	Male Ahaa	
	Male Ahaaw	
	AncientWisdom	
	Male Baaa	
	Male Che	
	Male ComeOn	
	Male Doh	
	Male Doo	
	Female Aan	×
	Female Ah	
	Female Am	
	Female Haa	
	Female Ho	
	Female On	
	Female So	
	Female Yo	
	Female Your	
	Ghostly	
	Male Haa	
	Male Hey 1	
	Male Hey 2	
	Male Nahh	
	Male Ohooo	
	Male Paa	
	Male Wao	
	Male Whoo	
	Saw	
	Square	
	Pulse	
	Sine	
	Triangle	
	Saw + Square	
	Saw + Pulse	
	Saw + Sine	
	Saw + Triangle	
	Sine + Triangle	
	Saw Harmony	
	Square Harmony	
	Pulse Harmony	
	Sine Harmony	
	Tri Harmony	
	Dual Saw	
	Dual Square	
	Dual Pulse	
	Dual Sine	
	Dual Triangle	
	Triple Saw	
	Triple Square	
	Triple Pulse	
	Triple Sine	
	Triple Triangle	
	Oct Saw	
	Oct Square	
	Oct Pulse	
	Oct Sine	
	Oct Triangle	
	Ring Saw	
	Ring Square	
	Ring Pulse	
	Ring Sine	
	Ring Triangle	


Voice
インストールメントカラー：14



Synth Basic
インストールメントカラー：14



EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Instruments name	LOOP
Synth Basic インストールメントカラー : 14 	Ring Dual Saw	
	Ring Dual Square	
	Ring Dual Pulse	
	Ring Dual Sine	
	Ring Dual Tri	
	Ring Oct Saw	
	Ring Oct Square	
	Ring Oct Pulse	
	Ring Oct Sine	
	Ring Oct Tri	
	FM Saw	
	FM Square	
	FM Pulse	
	FM Sine	
	FM Triangle	
	FM Dual Saw	
	FM Dual Square	
	FM Dual Pulse	
	FM Dual Sine	
	FM Dual Triangle	
	FM Oct Saw	
	FM Oct Square	
	FM Oct Pulse	
	FM Oct Sine	
	FM Oct Triangle	
	Sync Saw	
	Sync Square	
	Sync Pulse	
	Sync Sine	
	Sync Triangle	
	Sync Dual Saw	
	Sync Dual Square	
Sync Dual Pulse		
Sync Dual Sine		
Sync Dual Tri		
AngerBass	○	
DeepBass	○	
DubstepDirtBass	×	
FlatRicBass	×	
GarageFatBass	×	
ParisBass	○	
PulseButtomBass	×	
SubspenseBass	○	
VoiceBass	×	
WarmSawBass	○	
AirCloud	○	
Alarm	○	
AlienWarning	×	
Arpness	×	
BeatBang	×	
BlackStar	×	
BottleVox	×	
Closer	×	
CompBlip	○	
DangerZone	×	
ElectricSwipe	×	
EpicAir	×	
ForcedAir	×	
Lazer 1	×	
Lazer 2	×	
Lazer 3	×	
LazerGun	×	
MarsInvaders	×	
MazG	×	
NoiseFloor	×	
Revange	×	

Category	Instruments name	LOOP
Synth Fx インストールメントカラー : 14 	SawDown	×
	SHreakback	×
	SirenFX	×
	Spacer	○
	StarGate	×
	TrapBounce	×
	TunyPluck	×
	Twister	×
	U Tone	○
	WideFive	○
	X Scape	×
	1980sAnalog5ths	○
	ClubChord	×
	DecadeChord	×
DubstepStab	×	
EdgeOfStab	○	
EDM MinorChord	×	
EDM Stab	×	
FadeChord	×	
FatMash	○	
FatPad	×	
FluteSpaceLead	×	
FutureSax	×	
LeadChord	×	
LeadChordRave	×	
LeadDirt	×	
LeadDrop	×	
LegacyChord	×	
LowTech	○	
MetalicPad	○	
PartyChord	×	
PlasticTube	○	
PumpChord	×	
RaggaTone	○	
RaveLead	○	
RaveStabLead	×	
SimpleChord	×	
StringBreath	×	
SubyChord	×	
SyncLift	×	
TechChord	×	
TightAnalog5ths	○	
AltoSax	○	
AcousticBass	○	
AcousticGuitar	○	
Bell	×	
BrassEnsemble	×	
Clav	○	
ElectricPiano	○	
E.Bass Finger	○	
E.Bass Pick	○	
E.Bass Slap	○	
ElectricGuitar	○	
DistGuitar	○	
GuitarFeedback	×	
Kalimba	×	
MajorPartials	×	
MetalBell	×	
MinorPartials	○	
MutedStab	×	
OldMovieMinor	×	
Organ 1	○	
Organ 2	○	
Piano	○	
StringsEnsemble	×	
TenorSax	○	


Synth Hit
インストールメントカラー : 14



Instrument Basic
インストールメントカラー : 14



EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Instruments name	LOOP
Instrument Hit インストールメントカラー : 14 	Brass Hit 1	×
	Brass Hit 2	
	Cluster	
	E.Guitar 1	
	E.Guitar 2	
	Hammond	
	Orchestra Hit	
	Piano Hit	
	PianoJazz Hit	
	Pulse	
	SlideOrgan	
	Strings Hit	

Category	Instruments name	LOOP
Audio File インストールメントカラー : 23 	オーディオファイル名 (先頭の 16 文字)	×

パラメーター

■ Synth Basic, Audio File 以外のオシレーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Pitch ● -24.00 ~ +24.00	Reverse Off, On	- -

■ Synth Basic

OSC1

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
OSC1 Type Saw, Square, Pilse, Sine, Triangle	OSC1 Pitch ● -24.00 ~ +24.00	OSC1 Level 0 ~ 100

OSC2

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
OSC2 Type Saw, Square, Pilse, Sine, Triangle	OSC2 Pitch ● -24.00 ~ +24.00	OSC2 Level 0 ~ 100

OSC3

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
OSC3 Type Saw, Square, Pilse, Sine, Triangle, Ring Src, FM Src, Sync Src	OSC3 Pitch ● -24.00 ~ +24.00	OSC3 Level 0 ~ 100

※ Ring Src, FM Src, Sync Src を選択すると、OSC3 は OSC1 と 2 を変調するソースとして機能します。

■ Pulse Width

Pulse Width
1 ~ 99

※ OSC Type で Pulse を選択すると設定可能です。

■ Audio File

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Pitch ● -24.00 ~ +24.00	Reverse Off, On	Launch One Shot, Toggle, Gate

※ ●印のついたパラメーターは Pitch Mod ブロックで制御することができます。

■Mod ブロック (各 Mod ブロック共通)



選択タイプ

セレクトノブ選択
Off、LFO1、LFO2、Envelope、AfterTouch

パラメーター

■ LFO1、LFO2

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Rate	Depth	Waveform
1 ~ 100、♪ (Type1)	-100 ~ +100	Saw、Square、Pulse、Sin、Tri、Random

※ ♪ の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。(→ P.142)

■ Envelope

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Attack	Decay/Release	Sustain
0 ~ 100	0 ~ 100	0 ~ 100

Depth

Envelope Depth
-100 ~ +100

■ AfterTouch

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Depth	-	-
-100 ~ +100	-	-

■ノイズブロック



選択タイプ

セレクトノブ選択
Off、White、Pink

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Level ●	-	-
0 ~ 100	-	-

※ ●印のついたパラメーターは Level Mod ブロックで制御することができます。

■インサートエフェクトブロック

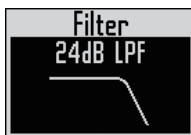


エフェクト一覧

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
BitCrush	Bit	SMPL ●	Balance
	4 ~ 16	0 ~ 50	0 ~ 100
Distortion	Gain ●	Tone	Level
	0 ~ 100	0 ~ 100	0 ~ 100
Chorus	Depth	Rate ●	Mix
	0 ~ 100	1 ~ 50	0 ~ 100
Phaser	Rate ●	Color	Mix
	1 ~ 50、♪ (Type1)	4STG、8STG、inv 4、inv 8	0 ~ 100
Flanger	Depth	Rate ●	Mix
	0 ~ 100	0 ~ 50、♪ (Type1)	0 ~ 100
Ring Modulator	Frequency ●	Tone	Balance
	1 ~ 50	0 ~ 10	0 ~ 100
3Band EQ	Low	Mid	Hi
	-12 ~ +12	-12 ~ +12	-12 ~ +12
Talk Filter	Decay ●	Type	Balance
	0 ~ 100	iA、UE、UA、oA	0 ~ 100
Sub Bass	Frequency	Mix	-
	30 ~ 250	0 ~ 100	-
Pumper	Depth	Rate	-
	0 ~ 100	♪ (Type3)	-
Compressor	Sense	Attack	Tone
	0 ~ 10	Slow、Fast	0 ~ 10

※●印のついたパラメーターは Effect Mod ブロックで制御することができます。

■フィルターブロック



選択タイプ

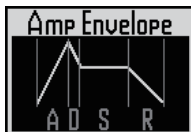
セレクトノブ選択
LPF[-12dB]、LPF[-24dB]、BPF[-12dB]、BPF[-24dB]、HPF[-12dB]、HPF[-24dB]、Peaking Filter、Of

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Frequency ●	Resonance	Level
20Hz ~ 20000Hz	0 ~ 100	0 ~ 100

※●印のついたパラメーターは Freq Mod ブロックで制御することができます。

■アンプエンベロープブロック

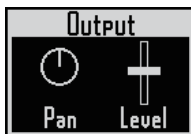


パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Attack	Decay/Release	Sustain
0 ~ 100	0 ~ 100	0 ~ 100

※ Amp Mod ブロックでレベルを制御することができます

■アウトプットブロック



パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Pan ●	Level	-
L100 ~ Center ~ R100	0 ~ 100	-

※●印のついたパラメーターは Pan Mod ブロックで制御することができます。

■センドエフェクトブロック



パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Delay	Reverb	-
0 ~ 100	0 ~ 100	-

エフェクト一覧

■ディレイ

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
Mono Delay	Time	Feedback	Mix
	1 ~ 2000, ♪ (Type2)	0 ~ 100	0 ~ 100
Stereo Delay	Time	Feedback	Mix
	1 ~ 2000, ♪ (Type2)	0 ~ 100	0 ~ 100
Reverse Delay	Time	Feedback	Mix
	10 ~ 2000, ♪ (Type2)	0 ~ 100	0 ~ 100

■リバーブ

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
Hall, Room, Plate	Decay	Tone	Mix
	1 ~ 30	-12 ~ +6	0 ~ 100

※ ♪ の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。(→P.142)

エフェクト一覧のつづき

■マスターエフェクト

カテゴリ	タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
		パラメーター名 / 設定値	パラメーター名 / 設定値	パラメーター名 / 設定値
歪み系	BitCrush	Bit 4 ~ 16	SMPL 0 ~ 50	Balance 0 ~ 100
	Distortion	Gain 0 ~ 100	Tone 0 ~ 100	Level 0 ~ 100
モジュレーション系	Chorus	Depth 0 ~ 100	Rate 1 ~ 50	Mix 0 ~ 100
	Phaser	Rate 1 ~ 50, ♪ (Type1)	Color 4STG、8STG、inv 4、inv 8	Mix 0 ~ 100
	Flanger	Depth 0 ~ 100	Rate 0 ~ 50, ♪ (Type1)	Mix 0 ~ 100
	Ring Modulator	Frequency 1 ~ 50	Tone 0 ~ 10	Balance 0 ~ 100
	Wah	Frequency 1 ~ 50	-	-
	AutoPan	Rate 0 ~ 50, ♪ (Type1)	Width 0 ~ 10	Clip 0 ~ 10
	フィルタ系	Isolator	Low 0 ~ 100	Mid 0 ~ 100
3Band EQ		Low -12 ~ +12	Mid -12 ~ +12	Hi -12 ~ +12
遅延系	Reverse Delay	Time 10 ~ 2000, ♪ (Type2)	Feedback 0 ~ 100	Hi Damp 0 ~ 10
ダイナミクス系	Limiter	Threshold 0 ~ -24	Ratio 1 ~ 54, ∞	Release 0 ~ 10
	Compressor	Threshold 0 ~ -24	Ratio 1 ~ 26	Attack 0 ~ 10
時間操作系	Glitter	Type 1 ~ 8	Complex 0 ~ 100	Mix 0 ~ 100

※マスターエフェクトは、全体で1つだけ使用できます。

※♪の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。

■テンポシンクパラメーター

パラメーターやエフェクトの表中の♪は、テンポに連動して設定値が変わるパラメーターです。

Type1	Type2	Type3
32分音符	16分音符	32分音符
16分音符	4分3連符	16分音符
4分3連符	付点16分音符	4分3連符
付点16分音符	8分音符	付点16分音符
8分音符	2分3連符	8分音符
2分3連符	付点8分音符	2分3連符
付点8分音符	4分音符	付点8分音符
4分音符	付点4分音符	4分音符
付点4分音符	2分音符	付点4分音符
2分音符	4分音符×3	2分音符
4分音符×3	4分音符×4	4分音符×3
4分音符×4	⋮	4分音符×4
⋮	4分音符×8	
4分音符×19		
4分音符×20		

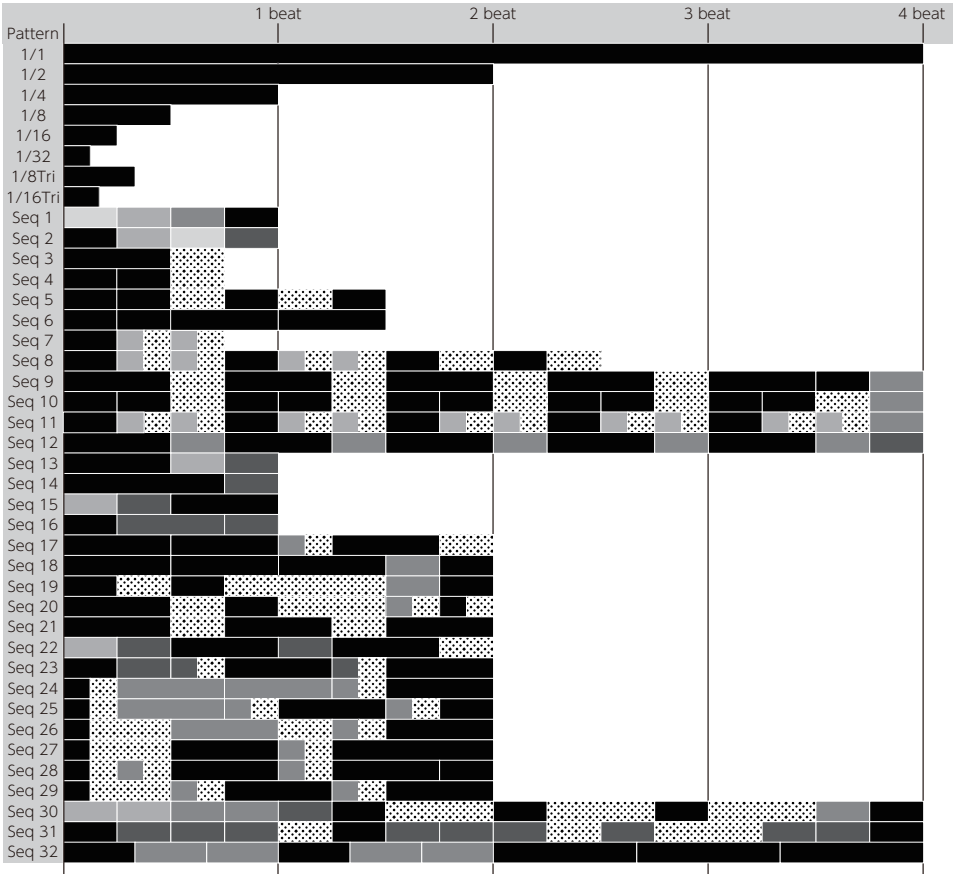
アルペジエーター・パラメーター一覧

■Number of note

Number of note	Pad の音階	+5th	+1 Oct	+1 Oct +5th	+2 Oct	+2 Oct +5th	+3 Oct	+3 Oct +5th
1	●							
2 Up								
2 Down	●	●						
2 UpDown								
2 Random								
3 Up								
3 Down	●	●	●					
3 UpDown								
3 Random								
4 Up								
4 Down	●	●	●	●				
4 UpDown								
4 Random								
5 Up								
5 Down	●	●	●	●	●			
5 UpDown								
5 Random								
6 Up								
6 Down	●	●	●	●	●	●		
6 UpDown								
6 Random								
7 Up								
7 Down	●	●	●	●	●	●	●	
7 UpDown								
7 Random								
8 Up								
8 Down	●	●	●	●	●	●	●	●
8 UpDown								
8 Random								

アルペジエーター・パラメーター一覧のつづき

■Pattern



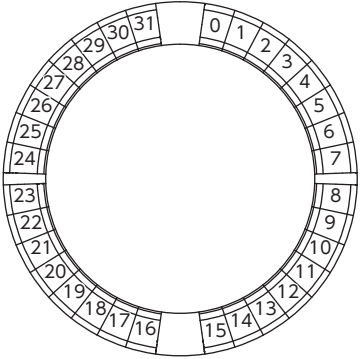
:ノート(色が濃いほど音量が大きいことを示します)
 :休符

リングコントローラーのMIDI メッセージ

■リングコントローラーのキーナンバー

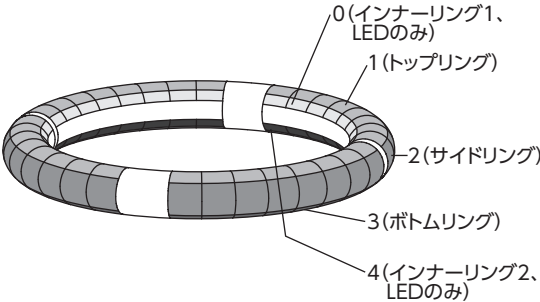
リングコントローラーのパッドには、それぞれ異なるキーナンバーが割り当てられています。キーナンバーは Column と Row の組み合わせで表現されます。

リング方向(Column)

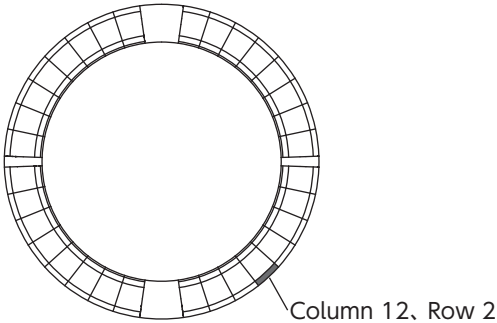


※表面 (ARQロゴ印刷面) から見た場合

直径方向(Row)



例：12x2

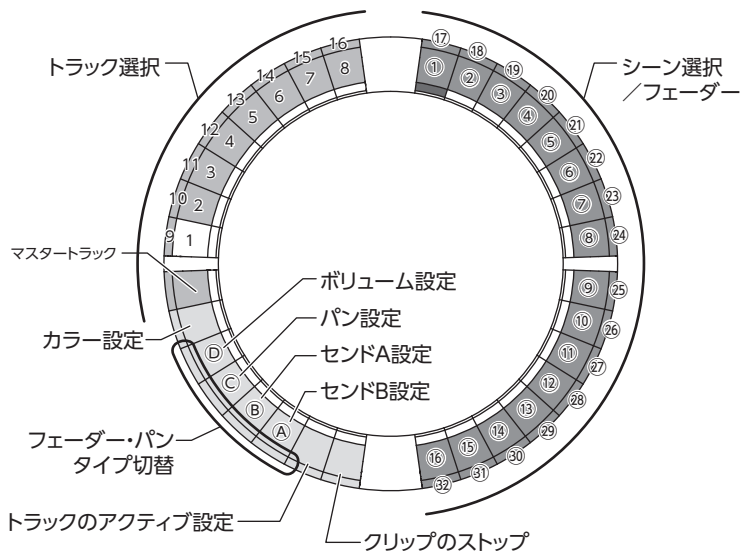


リングコントローラーのMIDIメッセージのつづき

■Session レイアウト

Ableton Live のセッションビューを操作するためのレイアウトです。

クリップやシーンの再生、ボリューム、パン、センドのコントロールなどをリングコントローラーを使用して行うことができます。



トラック選択

トラック 1～16、マスタートラックから選択します。選択中のトラックは白く点灯します。

カラー設定

リングコントローラーのLED色を設定します。

- 1、サイドリングのパッドを押してトップリングのLED色を変えます。
- 2、トップリングのパッドを押しながらトラック、シーン、ボリュームなどのパッドを押して、色を変更します。

ボリューム、パン、センドA、センドB設定

選択したトラックのボリューム、パン、センドを設定します。(次表①～④)

フェーダー・パンタイプ切替

ボリューム、パン、センドA、センドB設定のそれぞれについて、リングコントローラー右側の操作方法をフェーダータイプ、パンタイプから選択します。

フェーダータイプは緑色、パンタイプはオレンジに点灯します。

トラックのアクティブ設定

選択したトラックのアクティブ/ミュートを切り換えます。アクティブ時には明るく、ミュート時には暗く点灯します。

クリップのストップ

選択したトラックの再生中のクリップを停止します。

シーン選択/フェーダー・パン

ボリューム、パン、センドA、センドB設定を押している間は、全体がフェーダーまたはパンとして機能します。それ以外の時は、シーン番号を選択します。(次表①～⑩)

HINT

上記の機能は設定の一例です。

リングコントローラーのMIDIメッセージのつづき






Track Number	Track Select/Stop/Active		Clip Launch		Fader/Pan Control	
	MIDI Channel	Note Number (Select, Stop, Active)	MIDI Channel	Note Number (①~⑳)	MIDI Channel	Control Change Number (A, B, C, D)
1	12	0, 17, 18	16	0~31	16	3, 9, 14, 15
2	12	1, 19, 20	16	32~63	16	20, 27, 28, 29
3	12	2, 21, 22	16	64~95	16	30, 31, 35, 41
4	12	3, 23, 24	16	96~127	16	46, 47, 52, 53
5	12	4, 25, 26	15	0~31	15	3, 9, 14, 15
6	12	5, 27, 28	15	32~63	15	20, 27, 28, 29
7	12	6, 29, 30	15	64~95	15	30, 31, 35, 41
8	12	7, 31, 32	15	96~127	15	46, 47, 52, 53
9	12	8, 33, 34	14	0~31	14	3, 9, 14, 15
10	12	9, 35, 36	14	32~63	14	20, 27, 28, 29
11	12	10, 37, 38	14	64~95	14	30, 31, 35, 41
12	12	11, 39, 40	14	96~127	14	46, 47, 52, 53
13	12	12, 41, 42	13	0~31	13	3, 9, 14, 15
14	12	13, 43, 44	13	32~63	13	20, 27, 28, 29
15	12	14, 45, 46	13	64~95	13	30, 31, 35, 41
16	12	15, 47, 48	13	96~127	13	46, 47, 52, 53
master	12	16, 49, 50	12	96~127	12	3, 9, 14, 15

リングコントローラーのMIDI メッセージのつづき

■NOTE レイアウト

ピアノ鍵盤の配列がパッド上に展開されるレイアウトです。

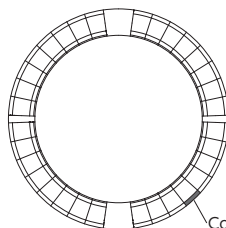
 を押し、オクターブを変更することができます。

		Row						
		1/2/3 (共通)						
0		 × 2 回	 × 1 回	起動時	 × 1 回	 × 2 回	 × 3 回	4
Column	0	20	32	44	56	68	80	
	1	21	33	45	57	69	81	
	2	22	34	46	58	70	82	
	3	23	35	47	59	71	83	
	4	24	36	48	60	72	84	
	5	25	37	49	61	73	85	
	6	26	38	50	62	74	86	
	7	27	39	51	63	75	87	
	8	28	40	52	64	76	88	
	9	29	41	53	65	77	89	
	10	30	42	54	66	78	90	
	11	31	43	55	67	79	91	
	12	32	44	56	68	80	92	
	13	33	45	57	69	81	93	
	14	34	46	58	70	82	94	
	15	35	47	59	71	83	95	
	16	36	48	60	72	84	96	
	17	37	49	61	73	85	97	
	18	38	50	62	74	86	98	
	19	39	51	63	75	87	99	
	20	40	52	64	76	88	100	
	21	41	53	65	77	89	101	
	22	42	54	66	78	90	102	
	23	43	55	67	79	91	103	
	24	44	56	68	80	92	104	
	25	45	57	69	81	93	105	
	26	46	58	70	82	94	106	
	27	47	59	71	83	95	107	
	28	48	60	72	84	96	108	
	29	49	61	73	85	97	109	
	30	50	62	74	86	98	110	
	31	51	63	75	87	99	111	

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合（MIDI チャンネル 1 を選択した場合）

ノートナンバーは 56（38h）、MIDI チャンネルは 1（00h）

- このパッドを叩いた場合は "90h [Note on/MIDI ch] "、"38h [Note Number] "、ベロシティが送信されます。また、パッドを叩いたときに LED が黄色く光ります。
- "90h [Note on/MIDI ch] "、"38h [Note Number] "、ベロシティをリングコントローラーに送信した場合、このパッドの LED が黄色く光ります。




Column 12, Row 2

リングコントローラーのMIDI メッセージのつづき

■DRUM レイアウト

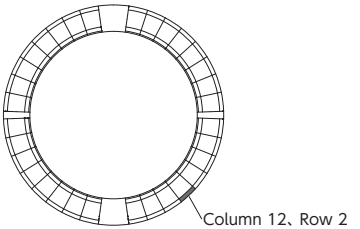
DAW ソフトの Drum Rack に対応したレイアウトです。各リングの 1/4 周分のパッドが、Drum Rack の 1 区画分に対応します。

 を押しと、Column 方向にノートナンバーの組を移動させることができます。

		Row													
		0	1/3 (共通)		2		1/3 (共通)		2		1/3 (共通)		2		4
			◀ × 2 回		▶ × 1 回		起動時		▶ × 1 回						
Column	0	52	56	36	40	20	24	4	8						
	1	53	57	37	41	21	25	5	9						
	2	54	58	38	42	22	26	6	10						
	3	55	59	39	43	23	27	7	11						
	4	60	64	44	48	28	32	12	16						
	5	61	65	45	49	29	33	13	17						
	6	62	66	46	50	30	34	14	18						
	7	63	67	47	51	31	35	15	19						
	8	68	72	52	56	36	40	20	24						
	9	69	73	53	57	37	41	21	25						
	10	70	74	54	58	38	42	22	26						
	11	71	75	55	59	39	43	23	27						
	12	76	80	60	64	44	48	28	32						
	13	77	81	61	65	45	49	29	33						
	14	78	82	62	66	46	50	30	34						
	15	79	83	63	67	47	51	31	35						
	16	84	88	68	72	52	56	36	40						
	17	85	89	69	73	53	57	37	41						
	18	86	90	70	74	54	58	38	42						
	19	87	91	71	75	55	59	39	43						
	20	92	96	76	80	60	64	44	48						
	21	93	97	77	81	61	65	45	49						
	22	94	98	78	82	62	66	46	50						
	23	95	99	79	83	63	67	47	51						
	24	100	104	84	88	68	72	52	56						
	25	101	105	85	89	69	73	53	57						
	26	102	106	86	90	70	74	54	58						
	27	103	107	87	91	71	75	55	59						
	28	108	112	92	96	76	80	60	64						
	29	109	113	93	97	77	81	61	65						
	30	110	114	94	98	78	82	62	66						
	31	111	115	95	99	79	83	63	67						

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合 (MIDI チャンネル 1 を選択した場合)
 ノートナンバーは 64 (40h)、MIDI チャンネルは 1 (00h)

- このパッドを叩いた場合は "90h [Note on/MIDI ch] ", "40h [Note Number] ", ベロシティーが送信されます。また、パッドを叩いたときに LED が黄色く光ります。
- "90h [Note on/MIDI ch] ", "40h [Note Number] ", ベロシティーをリングコントローラーに送信した場合、このパッドの LED が黄色く光ります。



リングコントローラーのMIDI メッセージのつづき

■FADER レイアウト

リングコントローラーをフェーダーとして操作するレイアウトです。各リングの 1/2 周分のパッドが、1つのフェーダーを構成します。

送信される MIDI メッセージはコントロールチェンジ（番号と指定値）で、パッドを押したときのベロシティに応じて指定値に達するまでの時間が変化します。

Control Change 番号

		Row				
		0	1	2	3	4
Column	0					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7		24	25	26	
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24		23	22	21	
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					

値

		Row		
		0	1~3 (共通)	4
Column	0		127	
	1		123	
	2		114	
	3		105	
	4		96	
	5		87	
	6		78	
	7		69	
	8		59	
	9		50	
	10		41	
	11		32	
	12		23	
	13		14	
	14		5	
	15		0	
	16		0	
	17		5	
	18		14	
	19		23	
	20		32	
	21		41	
	22		50	
	23		59	
	24		69	
	25		78	
	26		87	
	27		96	
	28		105	
	29		114	
	30		123	
	31		127	

HINT

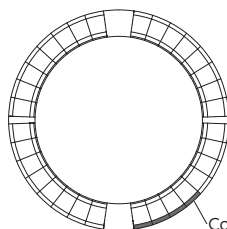
ベロシティ 127 の場合：20 ミリ秒で指定値に達します。

ベロシティ 1 の場合：2 秒で指定値に達します。

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合（MIDI チャンネル 1&2 を選択した場合）

Control Change 番号は 25 (19h)、MIDI チャンネルは 1 (00h)

- このパッドをベロシティ 1（弱）で叩いた場合は "b0h [Control Change/MIDI ch] ", "19h [Control Change Number] ", "値" が送信され始めます。2 秒間、値が変化しながら断続的にこのメッセージを送信し、値が 23 に達したところで送信が終わりです。また、Row 2 の Column 15 ~ 12 のパッドの LED がピンクに光ります。
- "b0h [Control Change/MIDI ch] ", "19h [Control Change Number] ", "17h" をリングコントローラーに送信した場合、Row 2 の Column 15 ~ 12 のパッドの LED がピンクに光ります。



リングコントローラーのMIDI メッセージのつづき

■PROGRAMMER モード

各パッドの LED 表示を自由にプログラムできるモードです。

		Row				
		0	1	2	3	4
Column	0	0	0	32	64	32
	1	1	1	33	65	33
	2	2	2	34	66	34
	3	3	3	35	67	35
	4	4	4	36	68	36
	5	5	5	37	69	37
	6	6	6	38	70	38
	7	7	7	39	71	39
	8	8	8	40	72	40
	9	9	9	41	73	41
	10	10	10	42	74	42
	11	11	11	43	75	43
	12	12	12	44	76	44
	13	13	13	45	77	45
	14	14	14	46	78	46
	15	15	15	47	79	47
	16	16	16	48	80	48
	17	17	17	49	81	49
	18	18	18	50	82	50
	19	19	19	51	83	51
	20	20	20	52	84	52
	21	21	21	53	85	53
	22	22	22	54	86	54
	23	23	23	55	87	55
	24	24	24	56	88	56
	25	25	25	57	89	57
	26	26	26	58	90	58
	27	27	27	59	91	59
	28	28	28	60	92	60
	29	29	29	61	93	61
	30	30	30	62	94	62
	31	31	31	63	95	63
		2	1	1	1	2
		MIDI Channel				

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合 (MIDI チャンネル 1&2 を選択した場合)

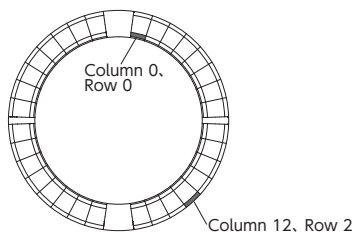
ノートナンバーは 44 (2ch)、MIDI チャンネルは 1 (00h)

- このパッドを叩いた場合は “90h [Note on/MIDI ch]”、“2ch [Note Number]”、ベロシティーが送信されます。

- “90h [Note on/MIDI ch]”、“2ch [Note Number]”、ベロシティーをリングコントローラーに送信した場合、このパッドの LED がベロシティーに対応した色に光ります。

トップ・ボトムの内側リングの LED は、MIDI チャンネル 2 に対応します。

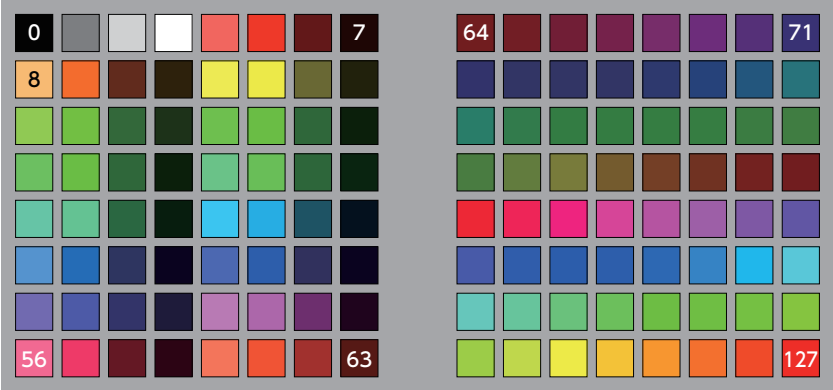
- “91h [Note on/MIDI ch]”、“00h [Note Number]”、ベロシティーをリングコントローラーに送信した場合、Column 0、Row 0 のパッドの LED がベロシティーに対応した色に光ります。



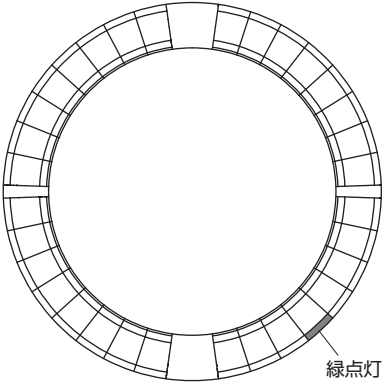
リングコントローラーのMIDI メッセージのつづき

■LED カラーの指定

パッドのLED カラーは、ベロシティー値を送信することで変更できます。



例：PROGRAMMER モードでリングコントローラーに "90h"（ノートオン /MIDI チャンネル）、"2ch"（ノートナンバー）、"88"（ベロシティー）を送信すると、図の位置のLED が緑（カラー 88 番）に点灯します。



■LED の制御

リングコントローラーの LED を MIDI メッセージで操作できます。

- ・パレットモード：カラーパレットから色を選びます。
- ・RGB モード：R (Red 0～127)、G (Green 0～127)、B (Blue 0～127)、の数値を指定することで色を選びます。
- ・LED を消灯するには、ベロシティー "0" またはノートオフを送信します。

指定位置の LED を点灯 (キーナンバー指定、パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Ah <row> <column> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
column : Column number (0-31)
color : Color palette number (0-127)

指定位置の LED を点灯 (キーナンバー指定、RGB モード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Bh <row> <column> <Red> <Green> <Blue> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
column : Column number (0-31)
Red,Green,Blue : 0 - 127

各リングの同じ位置のパッドを点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Ch <column> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
column : Column number (0-31)
color : Color palette number (0-127)

1つのリング全体の LED を点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Dh <row> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
color : Color palette number (0-127)

すべての LED を点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Eh <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
color : Color palette number (0-127)

リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■ファンクションキー

ファンクションキーにはコントロールチェンジが割り当てられています。

キー	番号
UP	68h
DOWN	69h
DELAY	6ah
FILTER	6bh
STOP	6dh
PLAY	6eh
REC	6fh
REVERB	70h
MASTER FX	71h

- ・ DELAY、FILTER、STOP、PLAY、REC、REVERB キーにはリングコントローラー上で特殊な機能が割り当てられていません。DAWソフトのコントロールにはこれらのキーをお使いください。
- ・ DAW ソフトからコントロールチェンジのメッセージが送られてきた場合、対応するキーの LED が点灯します。

MIDI インプリメンテーションチャート

■ベースステーション

[Aero RhythmTrak]
 Model :AR-96 Base Station
 MIDI Implementation Chart

Date : 28.March.2017
 Version :2.00

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 *1 *2 1 - 16 *1 *2	1 - 16 1 - 16	
Mode Default Messages Altered	x x *****	x x	
Note Number True voice	0 - 127 *1 *2 *****	0 - 108 0 - 108	
Velocity Note ON Note OFF	o *1 *2 o *1 *2	o o	
After Touch Key's Ch's	o *2 o *2	o x	
Pitch Bend	x	x	
Control Change 0 - 127	o *2	x	
Prog Change True#	o *2 0 - 127	x	
System Exclusive	X	x	
System Common Songpos Song Sel Tune	x x x	x x x	
System Clock Realtime Command	o *3 o *3	o *4 o *4	
Aux Messages Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	o *2 o *2 x x	x x x x	
Notes	*1 Transmitted by Internal Note. *2 Numbers via USB MIDI Output route can be changed in "USB MIDI Output Setting". *3 Enabled when Clock Mode is "Internal". *4 Enabled when Clock Mode is "External".		

Mode 1 : OMNI ON, POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
 Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
 x : No

MIDI インプリメンテーションチャートのつづき

■リングコントローラー

[Aero RhythmTrak]

Date : 9.June.2016

Model: AR-96 Ring Controller

MIDI Implementation Chart

Version :1.00

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1, 2 1-16	1, 2 1-16	
Mode Default Messages Altered	x x *****	x x x	
Note Number True voice	0-127 *****	0-127 *****	
Velocity Note ON Note OFF	o 9n, V=1-127 o 8n, V=0	o 9n, V=1-127 o 8n, V=0	
After Key's Touch Ch's	o an, V=1-127 o dn, V=1-127	x x	
Pitch Bend	x	x	
Control Change	o 85, 86, 102 - 113	o x 102 - 113	Accelerometer Key LED
Prog Change True #	x *****	x x	
System Exclusive	o	o	
System Song Pos Common Song Sel Tune	x x x	x x x	
System Clock Real Time Commands	x x	x x	
Aux Local ON/OFF Messages All Notes OFF Active Sense Reset	x x x x	x x x x	
Notes			

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>